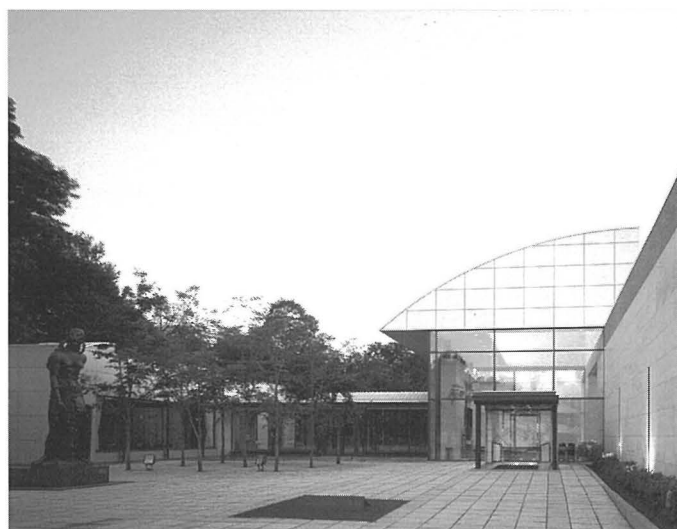


北海道立帯広美術館年報
平成27年－28年度

北海道立帯広美術館年報
平成27年－28年度



目 次

目次	3
展覧会事業	
コレクション・ギャラリー一覧	4
水の情景	5
花・彩る	6
羊、羊、牛、牛	7
時間のかたち	9
身体力！	11
北の造形セレクション	12
森に憩う／山を謳う	13
特別展一覧	14
はじめて・あーと	16
勅使河原蒼風の眼と美の潮流	20
猫まみれ展	25
思考するアート	34
篠山紀信展	39
歌麿とその時代	46
帯広美術館物語	51
国立美術館・煌めく名作たち	56
グラフィック・デザインの100年	61
教育普及事業	
美術講演会／アーティスト・トーク等	66
特別展セミナー	67
ギャラリー・ツアー	68
ミュージアム・カレッジ	69
トーク&ワーク	69
ミュージアム・ミステリー	70
キッズ・ツアー	71
キッズ・ミュージアム	72
ワークショップ等	73
映写室	74
コンサート	74
芸術週間	75
おびひろ氷まつり協賛事業	76
団体オリエンテーション	78
セルフガイド（クイズ）	79
教員研修プログラム	80
出張アート教室	81
学校教育との連携	82
他団体との連携	83
その他	85
美術作品の収集	
平成27年度作品収集状況	86
受贈・受託	86
平成28年度作品収集状況	87
受贈・受託	87
図版目録	88
美術作品の貸出	93
特別観覧	95
貸館事業	95
名簿	96
館内案内図	97
建築概要	98
設備概要	98
沿革	99
観覧者数一覧	100

コレクション・ギャラリー一覧

平成27年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	井田照一展 接点としての版画	4月1日(水)～4月15日(水)	13	平成26年度より継続
2	水の情景 ～満ちる色・たゆたう形～	4月24日(金)～6月21日(日)	51	
3	花・彩る	7月4日(土)～9月6日(日)	56	
4	羊、羊、牛、牛	9月13日(日)～11月23日(月・祝)	63	
5	時間のかたち	12月3日(木)～3月16日(水)	84	

平成28年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	備 考
1	身体力！	4月16日(土)～6月26日(日)	62	
2	北の造形セレクション	7月6日(水)～10月13日(木)	78	
3	森に憩う／山を謳う	10月22日(土)～3月23日(木)	117	

水の情景 ～満ちる色・たゆたう形～

会期＝平成27年 4月24日(金)－ 6月21日(日) 51日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

古くから、水を表現した美術作品は数多い。ゆたかな生命を
育み、また定まった色や形を有しない水は、私たち人間をはる
かな創造の世界へと導いてくれる、尽きせぬイマジネーション
の源でもあると言えるだろう。本展では、海や湖のほとりの光
景、揺らめく水面に映る像、紋様化された波の描写など、色と
形に託された水をめぐる表現を、当館コレクションのなかから
展示した。分野も技法材質も作風もさまざまな出品作品一点一
点と来場者がじっくり向き合えるよう、展示にあたっては作品
間の間隔を広めにとるよう心がけるとともに、作品鑑賞と理解
への糸口となるよう300字ほどの紹介文を各作品に添えた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	小林満枝	水辺	1977 (昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
2	長尾栄三	緑樹池畔	1985 (昭和60)	油彩、キャンバス	162.2×130.6
3	ジュール・デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
4	マックス・ボンティ	バケ船舶旅行会社	1929	リトグラフ、紙	99.9×72.0
5	ホセ・モレル	レバンテの海岸	1940頃	リトグラフ、紙	95.9×61.4
6	ルネ・グリュオー (レナート・デ・ザヴァリ・リッカルデッリ)	くつろぎ	1950	リトグラフ、紙	80.0×60.0
7	ロナルド・ランピット	コーンウォール	1936	リトグラフ、紙	100.0×123.5
8	作者不詳	ルガノ、グランド・パレス・ホテル	1910	リトグラフ、紙	69.3×98.0
9	梅津恒見	地球、水の精。	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.9
10	ジェームズ・ローゼンクイスト	『水の惑星によこそ』 楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレス ト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	246.4×214.6
11	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	各103.2×72.6(8点組)
12	ロイ・リクテンスタイン	睡蓮と雲	1992	シルクスクリーン、ステンレス	67.6×114.3
13	戸張良彦	143.617869, 42.699296 ㄴ 322°	2013 (平成25)	デジタルCプリント	100.0×150.0
14	奥野稔和	98V-0515X	1998 (平成10)	インクジェットプリント、ポリフィルム	80.2×222.0

* 寸法は縦×横。
* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

花・彩る

会期＝平成27年7月4日(土)－9月6日(日) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2015サマー

「フラワーストーリー～3こま絵本をつくろう!～」

日時＝8月9日(日) ①午前10時30分～11時30分

②午後2時～3時

*「よりどりみどりがおかフェスタ!」連携事業としても実施。

会場＝当館コレクション・ギャラリー(小学生参加無料、応募制)



会場風景

花は、古くから多くの美術家によって描かれてきた。時に凜として咲き誇り、時に儚く風に揺られるその姿は、数々の芸術家たちにインスピレーションを与えてきたのである。身近にあるささやかなモチーフとして、象徴的な意味を示すものとして、彩りを与えるものとして、様々な花の姿を見ることができる。

本展では、花に託されたイメージの多様性に着目しながら、油彩画や日本画、写真、国内外で制作された20世紀のポスターや版画など18点の作品を紹介した。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	多賀 新	秋草と鶴図	1998 (平成10)	エッチング、紙	36.5×24.0
2	栗谷川健一	麦わら帽子	1968 (昭和43)	オフセット、紙	103.1×73.1
3	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
4	ヴァルター・マラー	ジュネーヴ、スイス	1950	リトグラフ、紙	98.5×63.5
5	ジョルジュ・ロシュグロス	国際自動車・自転車・スポーツ見本市ーグラン・パレ	1901	リトグラフ、紙	129.0×93.5
6	ユッカ・ベイスター	黄色い花、葬列	1970	オフセット、紙	103.0×68.4
7	ミシェル・カレズ	花市場	1990	オフセット、紙	143.0×99.0
8	松樹路人	女	1998 (平成10)	油彩、キャンバス	128.0×100.5
9	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》時の扉・黄金の時	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレス スト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	247.7×304.8
10	岡本和行	Art Nouveau	2009 (平成21)	インクジェットプリント、紙	各103.0×72.8 (4点組)
11	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980 (昭和55)	油彩、キャンバス	130.7×162.1
12	小林満枝	叢原	1985 (昭和60)	紙本彩色	112.0×145.4
13	小林満枝	春夕焼 II	1991 (平成3)	紙本彩色	116.7×80.3
14	能勢真美	はまなす	1953 (昭和28)	水彩、紙	51.8×51.4
15	繁野三郎	千島風物	1944 (昭和19) 頃	水彩、インク、紙	18.7×26.9
16	一原有徳	木の葉 (檜)	1970 (昭和45) 頃	木の葉版、紙	18.5×32.0
17	一原有徳	木の葉 (辛夷)	1970 (昭和45) 頃	木の葉版、紙	14.5×27.6
18	一原有徳	木の葉 (柏)	1970 (昭和45) 頃	木の葉版、紙	18.6×12.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No.14は帯広市寄託)。

メエ 羊、羊、モ一 モー 牛、牛

会期＝平成27年9月13日(日)－11月23日(月・祝) 63日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

開館記念日(9月22日)、芸術週間(11月1日～11月7
日)は観覧無料

()内は10人以上の団体の割引料金

広大な大地を背景に酪農王国といわれる十勝地方をはじめとした北海道の美術には、羊や牛をモチーフとした絵画やポスターが多く制作されてきた。それはこの地域の特徴のひとつといえるだろう。また、19世紀にフランスで活躍したバルビゾン派の画家たちは、バルビゾンの森で牛や羊などの動物たちとともに暮らす情景を写實的に描いた。

本展は、当館の所蔵品により、神田日勝の表現主義的な油彩画や矢柳剛のポップ調の版画作品、栗谷川健一や梅津恒見のポスター作品、そして豊かな自然とともに生きる人々を描いたバルビゾン派の画家たちの油彩画など、羊や牛をさまざまな視点から描いた作品を紹介した。群れをなして歩いていた、のんびり草を食んでいた、眠っていたりなど、羊や牛のそれぞれの場面をとらえ、さまざまに表現された作品28点により、その愛らしい姿や表情を楽しんでいただいた。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現われた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
2	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
3	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩、キャンバス	75.0×150.4
4	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い	1860	エッチング、紙	18.4×34.3
5	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	エッチング、紙	19.8×30.7
6	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9
7	シャルル＝エミール・ジャック	水飲み場	19世紀後半	エッチング、紙	14.5×21.0
8	シャルル＝エミール・ジャック	豚飼いの少年	19世紀後半	エッチング、紙	11.5×17.7
9	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、キャンバス	40.0×68.0
10	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、キャンバス	65.4×100.4
11	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼	1872	油彩、キャンバス	69.1×99.8
12	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
13	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0
14	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
15	シャルル・ファマン	雌牛	1874頃	鶏卵紙プリント	10.4×17.2
16	アシーユ・キネ	自然の習作 牛	1868頃	鶏卵紙プリント	18.3×24.8
17	アシーユ・キネ	自然の習作 羊	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8
18	シャルル・ファマン	羊の群れ	1874頃	鶏卵紙プリント	11.4×16.4
19	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	ポスターカラー、紙	102.7×72.5
24	栗谷川健一	赤いヘイレーキ	1961 (昭和36)	ポスターカラー、紙	103.0×72.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
20	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	オフセット、紙	103.2×73.0
21	栗谷川健一	サイロの夏	1956 (昭和31)	オフセット、紙	105.5×74.4
22	栗谷川健一	風車	1959 (昭和34)	オフセット、紙	103.1×72.8
23	栗谷川健一	緑に歌う	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.3×73.2
25	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	102.8×72.7
26	矢柳 剛	愛の動物誌 (J)	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	49.0×73.5
27	矢柳 剛	太陽に向かって走れ	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	27.0×89.8
28	神田日勝	人と牛 B	1968 (昭和43)	油彩、板	183.5×182.5

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (Nos. 2, 13, 14, 28は帯広市寄託)。

とき 時間のかたち

会期＝平成27年12月3日(木)－平成28年3月16日(水) 84日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

()内は10名以上の団体の割引料金

ひとつの瞬間を封じ込めたように静止している美術作品にも、
幾年月をめぐる記憶や思索の過程といったゆたかな“時間”が
内包されている。この展覧会では、同時開催の特別展「思考す
るアート」と併せて現代の美術作品に焦点をあて、当館コレク
ションのなかから7作家による20作品を紹介。刻まれた日付や
時間をめぐる表現に込められた作家たちの思いを探るとともに、
“時間”という切り口を通じて所蔵作品の新たな側面にふれて
もらう機会とした。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	太田三郎	Seed Project ナナカマド 1992年12月30日 北海道小樽市幸	1992 (平成4)	種子、和紙	20.4×11.5
2	太田三郎	Seed Project イヌムギ 1993年6月12日 東京都練馬区北町	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.7
3	太田三郎	Seed Project センダングサ 1993年12月11日 東京都練馬区高松	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.7
4	太田三郎	Seed Project チカラシバ 1994年10月14日 岡山県津山市山北	1994 (平成6)	種子、和紙	20.7×11.6
5	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム 1995年7月26日 山形県山形市霞城公園	1995 (平成7)	種子、和紙	20.8×11.8
6	池田 緑	My Own Specimen (1943年4月3日に生まれて)	1999 (平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	205.5×59.9× 厚み9.8
7	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
8	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990 (平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0
9	池田良二	Deposition of memories (記憶の沈殿)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、 ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	69.0×58.0
10	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13～普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994 (平成6)	土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙	169.0×225.0× 厚み4.0
11	岡部昌生	Stroke-on the road at Hiroshimacho in Sapporo, September 7-November 15, 1987	1987 (昭和62)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各300.0×152.0 (3点組)
12	岡部昌生	フロッタージュ・ファクス・レター・プロジェ クト「島から…」1991年7月22日－8月24日	1991 (平成3)	フロッタージュ、紙、ファクス・レター	35.3×25.0他 (88点組)
13	野田哲也	日記 1987年9月22日 柏市亀甲台	1987 (昭和62)	木版、シルクスクリーン、紙	57.0×110.0
14	太田三郎	Stamp map of Hokkaido “December 29, 1993”	1993 (平成5)	切手、消印	290.0×360.0 (展示寸法)
15	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ 1992年8月6日 香川県小豆島寒霞溪	1992 (平成4)	種子、和紙	20.4×11.7
16	太田三郎	Seed Project クジャクソウ 1993年6月4日 東京都中央区築地	1993 (平成5)	種子、和紙	20.7×11.7

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
17	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ 1993年11月3日 東京都練馬区北町	1993 (平成5)	種子、和紙	20.5×11.8
18	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ 1994年4月24日 岡山県津山市北園町	1994 (平成6)	種子、和紙	20.9×11.7
19	太田三郎	Seed Project ツワブキ 1995年1月3日 岡山県津山市北園町	1995 (平成7)	種子、和紙	20.8×11.7
20	デイヴィッド・ホックニー	京都 1993年4月24日	1993	カラー・レーザー・プリント、紙	43.2×160.2

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (Nos. 7, 11は帯広市寄託)。

身体力！

会期＝平成28年 4月16日(土)－ 6月26日(日) 62日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日、こどもの日(5月5日)は無料
()内は10名以上の団体の割引料金

人間の身体は、美術作品に登場する最も身近なモチーフの一つである。その中で、身体はしばしば誇張して表現されてきた。肉付きを強調した作品は、まるで実際に人間がそこにいるかのような臨場感を持ち、抽象的に表現した作品は、見慣れた身体とは形が違うからこそ、私たちの想像を強くかき立てるのである。作品に描かれる人間は、時に生身の人間以上の存在感を放つとも言えるだろう。

本展では、作品における身体の表現手法に注目して、絵画や版画、ポスターや立体作品など14点を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	松樹路人	女	1998 (平成10)	油彩、キャンバス	128.0×100.5
2	バル (ジャン・ド・パレオローグ)	雑誌「自由」 ラ・リベレ	1895頃	リトグラフ、紙	158.0×114.0
3	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ、紙	130.0×90.0
4	ルイ・リュシアン・フォル	ザンドウ筋肉増強器	1899	リトグラフ、紙	139.5×99.5
5	ミシュ (ミシェル・リエボー)	自転車「ロワイヤル＝ファブリク」	1920頃	リトグラフ、紙	150.2×113.5
6	ジョルジュ・ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ、紙	110.5×74.2
7	中江紀洋	HAHA (祈り)	1994 (平成6)	木 (スプリース)、金属	107.0×91.5×156.0
8	渋谷栄一	楽園の調べ C	1981 (昭和56)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	49.8×36.5
9	渋谷栄一	人形の館 B	1980 (昭和55)	エッチング、シュガーアクアチント、ド ライポイント (ルーレット)、紙	49.7×36.5
10	渋谷栄一	カーニバル B	1971 (昭和46)	エッチング、シュガーアクアチント、紙	49.5×36.5
11	渋谷栄一	サーカスと白い馬	1977 (昭和52)	エッチング、シュガーアクアチント、ド ライポイント (ルーレット、ナイフ)、紙	44.7×33.0
12	数嘸	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2点組)
13	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
14	森村泰昌	野菜涅槃 (若冲)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	185.3×100.1

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

北の造形セクション

会期＝平成28年 7 月 6 日(水)－10月13日(木) 78日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円
中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は、毎週土曜日は無料
開館記念日(9月22日)は観覧無料
()内は10人以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2016サマー

「ビジュツの世界でフシギ発見！」

日時＝8月7日(日) ①午前10時30分～11時30分

②午後2時～3時

*「よりどりみどりがおかフェスタ！」連携事業として
も実施。

会場＝当館コレクション・ギャラリー(小学生参加無料、応募
制)

戦後日本の美術は、同時代の世界の美術の潮流と軌を一にし
て展開し、現在はその再評価が進められている。油彩画、日本
画、版画、彫刻、立体造形などの各分野において、既成概念に
とらわれない多様な表現が次々と生み出されていったのもこの
時期の大きな特徴といえる。北海道、また十勝地方においても
こうした動向をみることができる。

戦後の抽象画家として北海道画壇を牽引した寺島春雄(1911



会場風景

～66)や、帯広市に生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)
で日本画を学び、中央画壇で活躍した日本画家の六郎田天鈴
(1913～2007)、帯広市出身で、国際的に注目を集めている現代
美術家・矢柳剛(1933～)、中札内村出身で十勝を拠点に活躍し
た異色の版画家・佐藤克教(1948～2003)、幕別町出身で、つく
ば市を拠点に活躍している現代美術家・國安孝昌(1957～)、音
更町に彫刻工房を設立した高橋英双(1948～2006)、清水町生ま
れで、京都で彫刻を学んだ抽象彫刻家・富谷道信(1935～84)。
本展は、こうした十勝にゆかりある美術家7人の秀作15点によ
って構成し、それぞれの時代を反映した十勝の美術の一断面を検
証した。

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
1	寺島春雄	北の碑	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス	130.7×162.4
2	寺島春雄	柵と人	1957 (昭和32)	油彩、キャンバス	162.1×130.7
3	寺島春雄	無題	1965 (昭和40)	油彩、キャンバス	100.0×72.5
4	矢柳 剛	原始時代	1958 (昭和33)	油彩、水彩、クレヨン、紙	64.9×50.0
5	矢柳 剛	宇宙と人間D	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	161.7×112.1
6	矢柳 剛	心の太陽	1962 (昭和37)	油彩、水彩、クレヨン、紙	65.2×50.2
7	矢柳 剛	蓼食う虫	1974 (昭和49)	油彩、アクリル絵具、キャンバス	162.3×130.3
8	矢柳 剛	生命のバランス	1983 (昭和58)	油彩、アクリル絵具、キャンバス	162.0×130.5
9	六郎田天鈴	春暁崇座献「エベレスト 鈴湖生誕寿舞曲」	1988 (昭和63)	紙本彩色	180.0×510.0
10	佐藤克教	夜の箱	1993 (平成5)	木版、紙	182.0×150.0
11	佐藤克教	愚者の船 (一)	1995 (平成7)	木版、紙	166.0×128.0
12	佐藤克教	土色の午後	2002 (平成14)	木版、紙	158.9×158.1
13	國安孝昌	Wind Field Project	1994 (平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2 (15点組)
14	高橋英双	proto plast (原形体)	1988 (昭和63)	木	92.0×15.3×45.3
15	富谷道信	雲は切れて晴れるかも知れない	1973 (昭和48)	ブロンズ	45.0×13.5×43.0

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行き×高さ。
* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (No. 9は帯広市寄託)。

森に憩う／山を謳う

会期＝平成28年10月22日(土)－平成29年 3月23日(木) 117日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般260(210)円、高大生150(110)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日は無料

芸術週間(11月1日～11月7日)は観覧無料

()内は10名以上の団体の割引料金

私たちを取り囲む自然は、芸術家たちの鋭い感性によって捉えられ、これまで数々の作品の中に描かれてきた。

19世紀のヨーロッパにおいて、草木が生い茂る森は目新しい題材であり、素朴でのどかな暮らしを営む場として描き出されてきた。登山や旅を好む画家にとって雄大な山々は、創作の源泉にもなり、感動や強い関心をもって表現された。そして時に、豊かな自然は、現代の文明社会と対峙する“理想郷”の姿を託されて描かれてきた。

本展では、バルビゾン派の絵画や写真をはじめ、自然を題材とした近現代の作品によって、森や山をめぐる様々な表現を紹介した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
1	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
2	アレクサンドル・ドゥブオー	森の中での休息	1871	油彩、キャンバス	98.0×131.0
3	ジュール・デュプレ	水飲み場	19世紀後半	パステル、紙	80.0×98.8
4	ポール・ユエ	フォンテーヌブロー付近	1866	エッチング、紙	19.3×28.0
5	テオドール・ルソー	樞の木と岩	1861	エッチング、紙	12.7×17.2
6	フランソワ＝ルイ・フランセ	沼辺の犬	19世紀中頃	リトグラフ、紙	15.6×24.7
7	オーギュスト・アロンジュ	森の中	19世紀後半	水彩、紙	53.5×75.7
8	シャルル・ファマン	樹木	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5
9	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×23.5
10	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0
11	アシーユ・キネ	自然の習作 水辺の樹木	1868頃	鶏卵紙プリント	19.3×24.7
12	アシーユ・キネ	フォンテーヌブローの森	1868頃	鶏卵紙プリント	24.9×19.3
13	竹山義雄	山湖（レイクルイズ）	1979（昭和54）	油彩、キャンバス	130.3×162.1
14	竹山義雄	早春山野	1978（昭和53）	油彩、キャンバス	130.6×162.0
15	熊代弘法	ウベベサンケ山	1969（昭和44）	油彩、キャンバス	130.7×145.7
16	六郎田天鈴	朝霧はるるキリマンジャロ	1992（平成4）	紙本彩色	65.3×90.9
17	六郎田天鈴	アンナブルナ南峰の朝霧はれて	1990（平成2）	紙本彩色	90.9×65.3
18	一原有徳	Mt. Muridake	1987（昭和62）	金属版、紙	14.0×26.0
19	一原有徳	Hidaka 1839m	1974（昭和49）	金属版、紙	10.8×21.0
20	一原有徳	Mt. Satsunidake	1968（昭和43）	金属版、紙	11.0×18.8
21	一原有徳	Mt. Obokodake	1969（昭和44）	金属版、紙	22.0×19.5
22	一原有徳	Mt. Petegari	不詳	金属版、紙	25.7×36.0
23	一原有徳	Mt. Tarumae and Fuppushidake	1970（昭和45）	金属版、紙	11.0×18.0
24	一原有徳	Mt. Rishiri	不詳	金属版、紙	19.8×27.0
25	小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D一	2008（平成20）	木口木版、紙	100.0×257.5

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵（Nos. 1、13、14は帯広市寄託）。

特別展一覧

平成27年度

No.	展覧会名	会期	開催日数	主催・後援ほか	備考
1	バルビゾン－19世紀の絵画と写真	4月1日(水) ～4月15日(水)	13	主催／北海道立帯広美術館 協賛／斉藤道俊法律事務所	平成26年度 より継続
2	みんなのための はじめて・あーと	4月24日(金) ～6月21日(日)	51	主催／北海道立帯広美術館	
3	草月流秘蔵コレクション展 勅使河原蒼風の眼と美の潮流	7月4日(土) ～9月6日(日)	56	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、草月流秘蔵コレクション展実行委員会 企画協力／一般財団法人草月会	
4	招き猫亭コレクション 猫まみれ展 アートになった猫たち－浮世絵から現代美術まで	9月13日(日) ～11月23日(月・祝)	63	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」 特別協賛／帯広大谷短期大学 協賛／帯広信用金庫 協力／招き猫亭 企画協力／アートシード	
5	思考するアート コトバノカタチ	12月3日(木) ～3月16日(水)	84	主催／北海道立帯広美術館 協賛／帯広信用金庫、斉藤道俊法律事務所 学校連携／帯広市立南町中学校、音更町立下音更中学校、帯広大谷短期大学	

平成28年度

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主催・後援ほか	備 考
1	篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN	4月16日(土) ～6月26日(日)	62	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO十勝文化会議、篠山紀信展実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会 後援／十勝町村会、十勝管内各教育委員会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ振興財団、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、HTB帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協賛／ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜 帯広展協賛／医療法人千樹会帯広整形外科、帯広信用金庫、キクミ、札幌新聞輸送、竹川会計事務所、東京機械製作所、中井会計事務所、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ、北海道拓殖バス 協力／松竹(株) 企画協力／後藤繁雄事務所+G/P gallery	
2	開館25周年記念 歌麿とその時代 黄金期の浮世絵 美人画と役者絵	7月6日(水) ～8月21日(日)	41	主催／北海道立帯広美術館 協力／帯広美術館振興会 協賛／帯広信用金庫、(株)北洋防災工業所 監修／中右瑛（国際浮世絵学会常任理事） 企画協力／E.M.I.ネットワーク	
3	開館25周年記念 名品でたどる25年 帯広美術館物語	9月1日(木) ～10月13日(木)	37	主催／北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」 特別協賛／帯広大谷短期大学 協賛／北海道クリーン・システム(株)、FLOWMOTION cafe and gallery	
4	北海道立帯広美術館開館25周年記念・国立美術館巡回展 国立美術館・煌めく名作たち	10月22日(土) ～11月27日(日)	33	主催／北海道立帯広美術館、京都国立近代美術館 協力／帯広美術館振興会 協賛／帯広信用金庫、(株)北洋防災工業所、北海道クリーン・システム(株)	
5	帯広美術館ポスターコレクション選 グラフィック・デザインの100年	12月10日(土) ～3月23日(木)	84	主催／北海道立帯広美術館	

みんなのための はじめて・あーと

会期＝平成27年 4月24日(金)－ 6月21日(日) 51日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般510(410)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

キッズ・ミュージアム「作って飛ばそう！紙ひこうき」

日時＝5月9日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝5月16日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝5月30日(土)、6月13日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

関連記事

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信」釧路新聞／5月18日(月)

山本孝人「とかちフォトギャラリー 色や形 気軽に体感」北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／5月21日(木)

美術作品は色や制作技法、モチーフや形といったさまざまな観点から多角的、重層的に鑑賞することで、理解をより深めたり、新たな発見を得ることが出来る。

本展は、当館の所蔵品の中から、「カタチの色」、「カタチの中身」、「カタチの形」という3つのテーマに沿って油彩画、版画、彫刻など様々な作品を紹介。今回は特に、子どもから大人まで作品に親しむことが出来るよう、子ども用と大人用の原稿を2種掲載した作品解説パネルを展示室内に設置したほか、子どもが楽しめるよう、ぬりえやパズル、スケッチ用ワークシートを各所に用意し、遊び感覚を取り入れた。結果、親子連れの来館が目立ち、小さな子どもが美術に親しむ機会となった。来場者数は2,800人。



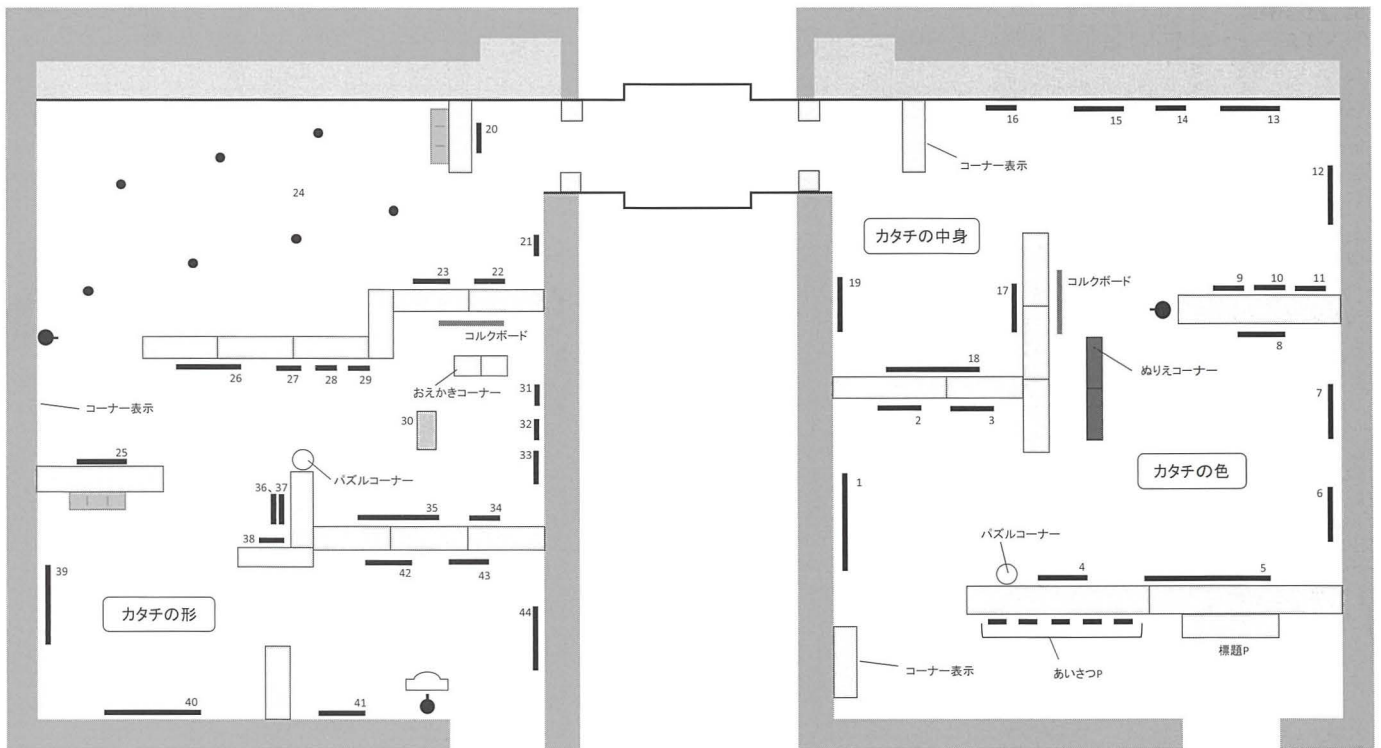
ポスター



会場風景



会場風景



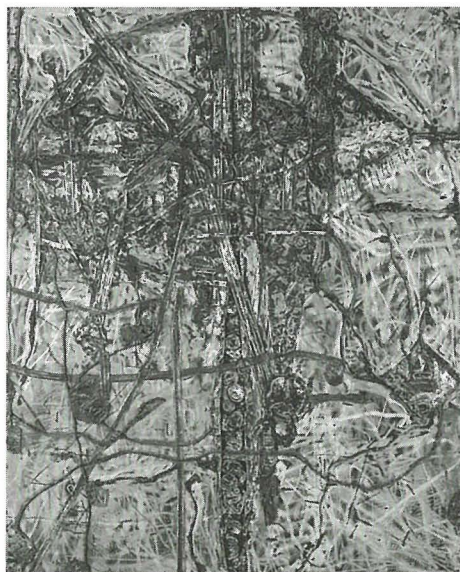
展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
カタチの色					
1	襲嘯	オープニング或いは再び田園	1992 (平成4)	シルクスクリーン、紙	各105.0×157.0 (2点組)
2	渋谷栄一	5-A	1993 (平成5)	カラーコピー、紙	27.9×142.6
3	渋谷栄一	5-B	1993 (平成5)	カラーコピー、紙	27.7×135.8
4	森 健二	光年の導へ「心象」	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	112.0×145.6
5	森 健二	光年の導へ	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	各194.5×130.5 (3点組)
6	神田日勝	画室 D	1967 (昭和42)	油彩、板	163.3×183.0
7	神田日勝	画室 E	1967 (昭和42)	油彩、板	163.0×183.0
8	望月正男	落日	1977 (昭和52)	油彩、キャンバス	112.1×145.5
9	市成太煌	鴉の詩 3	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
10	市成太煌	鴉の詩 2	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
11	市成太煌	鴉の詩 1	1978 (昭和53)	紙本彩色	160.0×95.0
12	寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3
13	寺島春雄	黒の凶地	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	130.9×194.2
14	寺島春雄	凍土	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	117.0×91.1
15	寺島春雄	深淵の声	1961 (昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5
16	檜原武正	日の出	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	165.0×132.5
カタチの中身					
17	檜原武正	黒の惑星17-1-7	1981 (昭和56)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	129.5×162.5
18	檜原武正	黒の惑星 '90-17	1990 (平成2)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	154.5×302.0
19	檜原武正	黒の惑星 '85-3	1985 (昭和60)	塗料、空き缶、釘、針金、トタン板	227.0×182.0
20	一原有徳	A, mi, SON2	1986 (昭和61)	インク、アクリルミラー	63.4×100.5
21	関根伸夫	氷壁	1988 (昭和63)	鳥の子紙、金箔	46.0×38.2
22	島 州一	CONSTRUCTION OF FINGER PRINTS No. 38	1982-85 (昭和57-60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガー プリント、ステレンボード、アクリルボッ クス	90.0×98.0×11.3
23	島 州一	ジーンズ	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、布	94.5×103.3



6 神田日勝「画室 D」



19 檜原武正「黒の惑星 '85-3」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
24	半谷 学	銀座の森 すくいとりたいたもの	2003 (平成15)	海藻 (ホソジュズモ) 紙、原麻、顔料、再生素材 (花びら、葉、切り枝、パンフレット、チラシ、紙ナプキン、箸袋、シュレッダー紙)	150.0×150.0×250.0 ほか (7点組)
カタチの形					
25	森 弘志	それ、普通	1994-95 (平成6-7)	油彩、キャンバス	162.4×162.2
26	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992 (平成4)	スキナグラフィ (NECO)、麻紙	153.5×212.5
27	多賀 新	魚 No. 17 (シーラカンス)	1979 (昭和54)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
28	多賀 新	バイオリニスト I	1992 (平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5
29	多賀 新	太古の夢 (ユニコーン)	1993 (平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
30	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木 (イチイ)	115.0×30.0×50.0
31	マリア・サッシ	イタリア航路、南アメリカ	1950	リトグラフ、紙	96.4×59.5
32	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
33	ラウール・マルトン	自転車「オートモト」	1930	リトグラフ、紙	77.0×116.9
34	小林敬生	蘇生の刻 一緑の星一	1990 (平成2)	木口木版、紙	85.6×80.0
35	小林敬生	陽はまた昇る 一緑の星・08D一	2008 (平成20)	木口木版、紙	100.0×257.5
36	矢柳 剛	子供の夢	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	26.8×89.8
37	矢柳 剛	太陽に向かって走れ	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	27.0×89.8
38	矢柳 剛	あなたのハートがであうとき	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙	60.0×53.0
39	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》スペース・ダスト	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	168.9×267.3
40	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	138.4×304.2
41	ジョージ・シーガル	前向ききの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
42	佐藤克教	土色の午後	2002 (平成14)	木版、紙	158.9×158.1
43	佐藤克教	愚者の船 (一)	1995 (平成7)	木版、紙	166.0×128.0
44	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991 (平成3)	フロタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4 (10点組)

*寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行×高さ。

*作品は全て北海道立帯広美術館蔵 (No.7は帯広市寄託)。



25 森弘志「それ、普通」



31 マリア・サッシ「イタリア航路、南アメリカ」

草月流秘蔵コレクション展 勅使河原蒼風の眼と美の潮流

会期＝平成27年7月4日(土)－9月6日(日) 56日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、草月流秘蔵コレクション展実行委員会

企画協力＝一般財団法人草月会

観覧料＝一般1,100(900)円、高大生600(400)円、
中学生300(200)円、小学生以下無料
中・高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は10人以上の前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

トーク&デモンストレーション

「いけばなの歴史と草月」

講師＝トーク：平井敏明氏(草月会北海道支部長)

デモンストレーション：鈴木泉晶氏(草月会北海道支部十勝会代表)

日時＝7月5日(日) 午後2時～(約40分)

会場＝当館講堂(聴講無料)

美術講演会

「勅使河原蒼風 伝統に生き、現代をひらく」

講師＝薬科英也氏(千葉市美術館学芸課長代理)

日時＝7月11日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

オビビ・キッズ・アートフェスタ

「アレンジフラワー」

日時＝8月8日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、応募制)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ワークショップ

「え！土と卵でゼンエイ？」

講師＝白濱雅也氏(アーティスト)

日時＝8月11日(火)、12日(水)

各日とも午前10時～12時30分

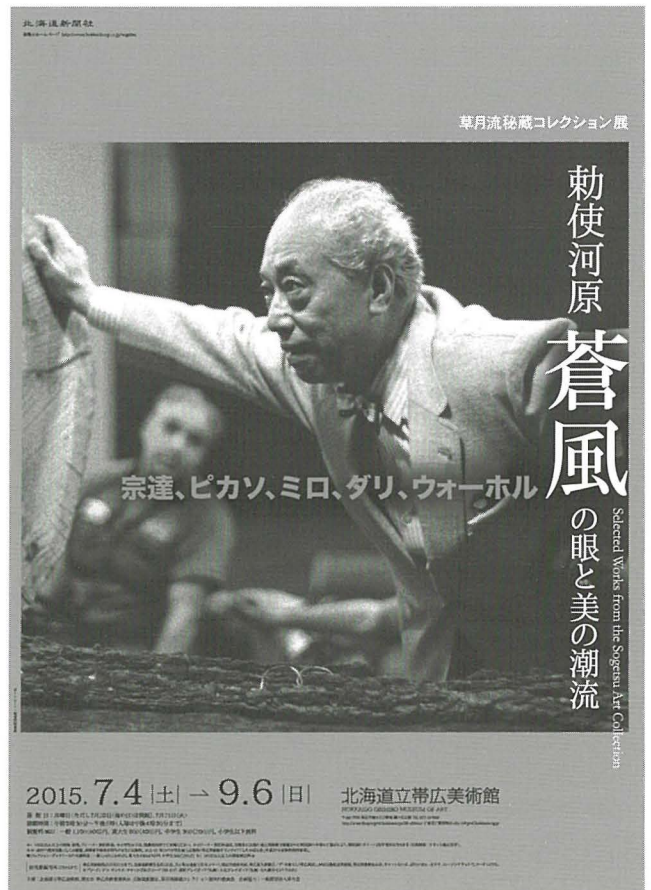
会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

学芸員による見どころ解説

講師＝五十嵐聡美(当館学芸課長)

日時＝7月18日(土)、8月1日(土)

各日とも午後2時～(約40分)



ポスター

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝7月25日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(小学生以下無料、中学生以上要観覧券)

ワークショップ

「おいしい、たのしい！ お花でスイーツ！」

講師＝志村みづえ氏(いけばな作家・食花研究家)

日時＝7月25日(土) 午前10時30分～(約70分)

会場＝当館講堂(参加料500円、応募制)

主催＝道新ぶんぶんクラブ

ランチ&トーク

「夏の花からの贈り物」

講師＝志村みづえ氏(いけばな作家・食花研究家)

日時＝7月26日(日) 午前11時～午後2時

会場＝とかちプラザ、当館主展示室(参加料2,000円、応募制)

主催＝道新ぶんぶんクラブ

キッズ・ミュージアム

「葉っぱでハンガを作ろう！」

日時＝9月5日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

関連記事

天野一夫「戦後美術の嵐の渦中から」北海道新聞／6月25日(木)

五十嵐聡美「おびひろミュージアム通信『藤蔓で表現、巨大アート』」釧路新聞／7月6日(月)

「立体造形や絵画 厳選の作品70点 草月流秘蔵展開幕」北海道新聞／7月4日(土)

折田智之「家元の才能 観客興奮」北海道新聞／7月5日(日)

村田壮一郎「草月流創始者の感性紹介」十勝毎日新聞／7月5日(日)

稲塚寛子「とかちフォトギャラリー 大胆、繊細 生け花に反映」北海道新聞／7月16日(木)

黒田悟「『瞬間の芸術』 蒼風作品を解説」十勝毎日新聞／7月30日(火)

山本武史「花の香り漂うスイーツ完成」北海道新聞／7月30日(木)

五十嵐聡美「創造の原点から 1～8」北海道新聞／7月22日(木)、23日(木)、24日(金)、28日(火)、29日(水)、30日(木)、31日(金)、8月1日(土)

久才秀樹「いけばなの粋超え美追求」北海道新聞／8月25日(火)

いけばな草月流の創始者で、その天才的な造形力から『タイム』誌に「花のピカソ」と称された勅使河原蒼風(1900～79)。蒼風は、華道家・勅使河原久次の長男として大阪府堺市に生まれ、父のもとで華道を学ぶ。しかし、父に対しての疑問と反発から1927年に独立し、青山で草月流を創始。華道を芸事という狭い枠から解放し、その概念をくつがえす独創的な仕事で戦後の日本に前衛いけばなブームを巻き起こし、いけばなを国際的な芸術表現にまで高めたことでも知られている。さらに絵画、彫刻、書、オブジェへと表現世界を拡大し、異色の表現者として活躍した。また蒼風ならではの審美眼と感性で、東西の古代美術から日本の古美術、さらには20世紀の巨匠たちの絵画や工芸作品、現代美術の優品の数々を収集し、それらは現在「草月流アートコレクション」として注目を集めている。

本展では、勅使河原蒼風はじめ、蒼風の長女で第二代家元の勅使河原霞(1932～80)、蒼風の長男で映画監督として活躍した第三代家元・勅使河原宏(1927～2001)の作品とともに、蒼風から歴代家元へと受け継がれた「草月流アートコレクション」のなかから、俵屋宗達、岡本太郎、ピカソ、ミロ、ダリ、ウォーホルなど、多彩なコレクション69点を厳選して展観した。



会場風景



会場風景

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質（形状）	寸法（cm）	所蔵先
22	アンディ・ウォーホル	勅使河原霞	1976年	シルクスクリーン、アクリル絵具・キャンバス	101.5×101.5	一般財団法人草月会
第2章 草月コレクションにみる美の潮流						
1 蒼風の原風景 ―原始の力、伝統と前衛						
23	（ペルー）	顔絵壺	15世紀（インカ）	陶	18.5×17.0×17.5	一般財団法人草月会
24	（アフリカ）	舌出し精霊		木	31.0×20.5×17.5	一般財団法人草月会
25		縄文広口壺	縄文時代	土	29.0×39.5×35.5	一般財団法人草月会
26		弥生式土器壺	弥生時代	土	43.9×30.3×30.3	一般財団法人草月会
27		信楽埴垣文大壺	室町時代	陶	37.0×35.0×35.0	一般財団法人草月会
28	円空	円空仏	江戸時代	木	46.0×10.3×9.0	一般財団法人草月会
29	俵屋宗達	狗子図	江戸時代	墨・紙（軸）	82.0×29.5	千葉市美術館受託
30	白隠	達磨画賛	江戸時代中期	墨・紙（軸）	35.5×50.5	一般財団法人草月会
31		生花園屏風	江戸時代 （寛文 1661～73頃）	顔料、金箔・紙（六曲一隻屏風）	153.0×361.5	千葉市美術館受託
32		椿図屏風	江戸時代	顔料、銀箔・紙（六曲一隻屏風）	168.5×380.0	千葉市美術館受託
33	イサム・ノグチ	私が作ったのではない世界	1952年	陶	4.5×43.0×39.5	一般財団法人草月会
34	イサム・ノグチ	鐘のイメージ	1956年	鉄	85.0×26.0×19.0	千葉市美術館受託
35	棟方志功	鷹持妃板画冊	1956年	木版（軸）	65.0×50.5	一般財団法人草月会
36	岡本太郎	足場	1952年	油彩・キャンバス	99.0×73.0	東京都現代美術館受託
37	福沢一郎	風景	1940年	油彩・キャンバス	39.8×31.0	千葉市美術館受託
38	海老原喜之助	雪投げ	1941年	油彩・キャンバス	47.0×66.0	一般財団法人草月会
39	猪熊弦一郎	円形公園	1964年	グワッシュ・板	101.0×76.0	一般財団法人草月会
40	瀧口修造	マルセル・デュシャン語録	1968年	版画、マルチプル、本	35.0×27.5×4.0	千葉市美術館受託
41	三木富雄	Ear No.1	1966年	アルミニウム	24.5×18.0×6.0	千葉市美術館受託
42	荒川修作	無題	1964年	油彩・キャンバス	160.0×230.0	東京都現代美術館受託
43	熊谷守一	鯨之図		顔料・紙（軸）	41.0×54.5	一般財団法人草月会
44	須田剋太	枝垂れ櫻	1975年	グワッシュ、顔料、パステル、金泥・紙（六曲一隻屏風）	170.0×363.0	一般財団法人草月会
45	須田剋太	那智滝		グワッシュ・紙	58.5×40.6	一般財団法人草月会
46	井上有一	圓	1977年	墨・紙（軸）	49.7×73.5	一般財団法人草月会
47	草間彌生	ぶどう	1989年	グワッシュ・キャンバス	162.0×130.0	東京都現代美術館受託
48	パウル・クレー	猿のズン	1922年	インク・紙	30.3×22.2	一般財団法人草月会
49	パブロ・ピカソ	牛の頭	1942年	色鉛筆・紙	10.7×13.2	一般財団法人草月会
50	パブロ・ピカソ	ふくろう		陶	32.0×17.0×28.5	一般財団法人草月会
51	パブロ・ピカソ	顔絵瓶	1953年	陶	38.2×24.0×17.0	一般財団法人草月会
52	パブロ・ピカソ	水差		陶	33.0×19.0×29.0	一般財団法人草月会
53	ジョルジュ・ブラック	題不詳		インク・紙	25.2×19.0	一般財団法人草月会
54	ジョアン・ミロ	ピラミッドの方に逃げる鳥	1954年	エッチング、アクアチント・インク、墨・紙	26.0×71.5	一般財団法人草月会
55	ジョアン・ミロ	女	1959年頃	リトグラフ、墨・紙	70.0×52.0	一般財団法人草月会
56	フェルナン・レジェ	無題		リトグラフ・紙	51.5×40.0	一般財団法人草月会
57	サルバドール・ダリ	Shadow on the Beach	1977年	エッチング、インク・純銀版	34.0×24.0	一般財団法人草月会
58	イヴ・タンギー	棒占い	1947年	エッチング、彩色モノタイプ・紙	31.3×23.5	一般財団法人草月会



4 勅使河原蒼風「半身半獣」



8 勅使河原蒼風「八雲」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質（形状）	寸法（cm）	所蔵先
59	ジャン・ティンゲリー	無題		リトグラフ、コラージュ、羽根・紙	60.0×43.0	一般財団法人草月会
2 蒼風の時代 ―熱い抽象						
60	ジョルジュ・マチウ	無題	1957年	グワッシュ・紙	64.0×90.5	一般財団法人草月会
61	ジャン・フォートリエ	無題（pour Sofu）	1960年	インク・紙	32.0×49.5	一般財団法人草月会
62	サム・フランシス	ダム・プレイシーズ	1960年	リトグラフ・紙	90.0×62.7	一般財団法人草月会
63	サム・フランシス	Work	1965年	油彩・キャンバス	33.0×24.0	千葉市美術館受託
64	サム・フランシス	メタル・クラウド	1973年	リトグラフ・紙	70.0×105.0	千葉市美術館受託
65	アントニ・タピエス	無題	1959年	リトグラフ・紙	89.3×63.0	一般財団法人草月会
66	今井俊満	東方の光	1957年	油彩・キャンバス	183.0×600.0	東京都現代美術館受託
67	今井俊満	紅葉図	1985年	シルクスクリーン・キャンバス	64.7×90.8	一般財団法人草月会
68	堂本尚郎	蝕W	1976年	グワッシュ・キャンバス	200.0×200.0	東京都現代美術館受託
69	元永定正	作品	1962年	油彩・キャンバス	94.5×94.5	千葉市美術館受託

* 寸法は縦×横、または高さ×幅×奥行。

* 所蔵はすべて一般財団法人草月会。



20 伊藤深水「菊を活ける勅使河原霞女史」



36 岡本太郎「足場」

招き猫亭コレクション 猫まみれ展 アートになった猫たちー浮世絵から現代美術まで

会期＝平成27年 9月13日(日)－11月23日(月・祝) 63日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会、
帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

特別協賛＝帯広大谷短期大学

協賛＝帯広信用金庫

協力＝招き猫亭

企画協力＝アートシード

観覧料＝一般800(650)円、高大生500(400)円、小中生250(200)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

ギャラリー・ツアー

講師＝藤原乃里子(当館主任学芸員)

日時＝10月10日(土)、11月7日(土) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・カレッジ

「美術館で語る猫の魅力」

講師＝弘川治喜氏(獣医師・これの木動物病院院長、10月24日)*、
当館学芸員

日時＝10月17日(土)、10月24日(土)、10月31日(土)

午後2時～3時30分/全3回

会場＝当館講堂、主展示室(参加料650円、応募制)

* 10月24日(土)は事前申込不要、聴講無料として実施した。

キッズ・ミュージアム

「ねんどニャンコ」

日時＝11月7日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝11月14日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

能の手法で語る『吾輩は猫である』

出演＝安田登氏(下掛宝生流ワキ方)、槻宅聡氏(森田流笛方)

日時＝11月22日(日) 午後5時30分～7時

会場＝当館ロビー(要観覧券)

主催＝帯広美術館振興会、北海道立帯広美術館



ポスター



チラシと観覧券、優待割引券

みんなで！猫まみれ展

(事前に公募した猫写真のロビー展示)

日時=会期中

会場=当館ロビー(入場無料)

ニャあニャあの日

(「猫まみれ展」クイズ参加者各日先着100人に絵葉書をプレゼント)

日時=9月22日(火祝)、10月22日(木)、11月22日(日) 午前9時30分
～(100人に達ししだい終了)

会場=当館主展示室(要観覧券)

関連記事

大木祐介「猫アート一堂に 招き猫亭コレクション展」十勝毎日新聞／9月15日(火)

「絵画、彫刻 猫だけニャ 帯広で特別展」読売新聞(道東版朝刊)／9月17日(木)

「猫がいっぱい 企画展」朝日新聞(道内版 朝刊)／9月25日(金)

「猫の表情多彩 絵や彫刻285点」北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／9月30日(火)

「とかちフォトギャラリー ニャンとも表情豊か」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／10月8日(木)

藤原乃里子「おびひろミュージアム通信49 猫まみれ展の“ミミ”よりな話」釧路新聞／10月19日(月)

「『猫まみれ展』5,000人突破 頼田さんに記念品」十勝毎日新聞／10月21日(水)

「『猫まみれ展』人気 来場1万人ペース」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／11月2日(月)

稲塚寛子「ひとつ鍋 ネコの現状関心持って」北海道新聞(帯広・十勝版 朝刊)／11月7日(土)

大木祐介「かわいらしい“猫たち”人気 帯広美術館『まみれ展』来場者7,000人突破」十勝毎日新聞／11月13日(金)

藤原乃里子「猫まみれ展へようこそ! 第1回～第5回」十勝毎日新聞／11月14日(土)～11月18日(火)

松田亜弓「『吾輩は猫である』能でユーモラスに」十勝毎日新聞

／11月23日(月)

関根弘貴「愛らしい猫たち やさしく解説」十勝毎日新聞／11月24日(火)

長田純一、池谷智仁「ネコノミクス 市場けん引」十勝毎日新聞／12月6日(日)

猫は愛くるしい仕草や表情、優美さや神秘性によって、私たちを惹きつけてやまない存在であり、また古今東西のアーティストたちにもさまざまなインスピレーションを与えてきた。本展ではそうした猫と、猫をモチーフとした美術作品を愛してやまない収集家・招き猫亭の膨大な数のコレクションのなかから285点を選んで紹介した。近現代の絵画や版画、彫刻を中心とした多彩な作品を、「愛くるしい」「猫のぐりやく」「人間になった猫」といった10のキーワードによって紹介したほか、順路表示として床面に猫の足跡を貼るなどし、美術好きのみならず、愛猫家にも楽しく親しまれる展示構成を目指した。

会期中には市内の獣医師を招いた講座や、帯広美術館振興会との共催による「能の手法で語る『吾輩は猫である』」など、多彩な関連事業を実施。ロビーでは、事前公募によって130枚以上寄せられた猫写真を展示する「みんなで！猫まみれ展」、「NPO法人猫たちを守る十勝 Wish の会」の協力により猫の保護活動を紹介するコーナー、猫の絵本や図録を集めたブックコーナーをもうけた。また「しらかばの会」の運営によるミュージアムショップとティーラウンジでも関連グッズやメニューを取りそろえるなど、他団体とも連携しながら、全館あげて展覧会の機運を高める工夫に取り組んだ。

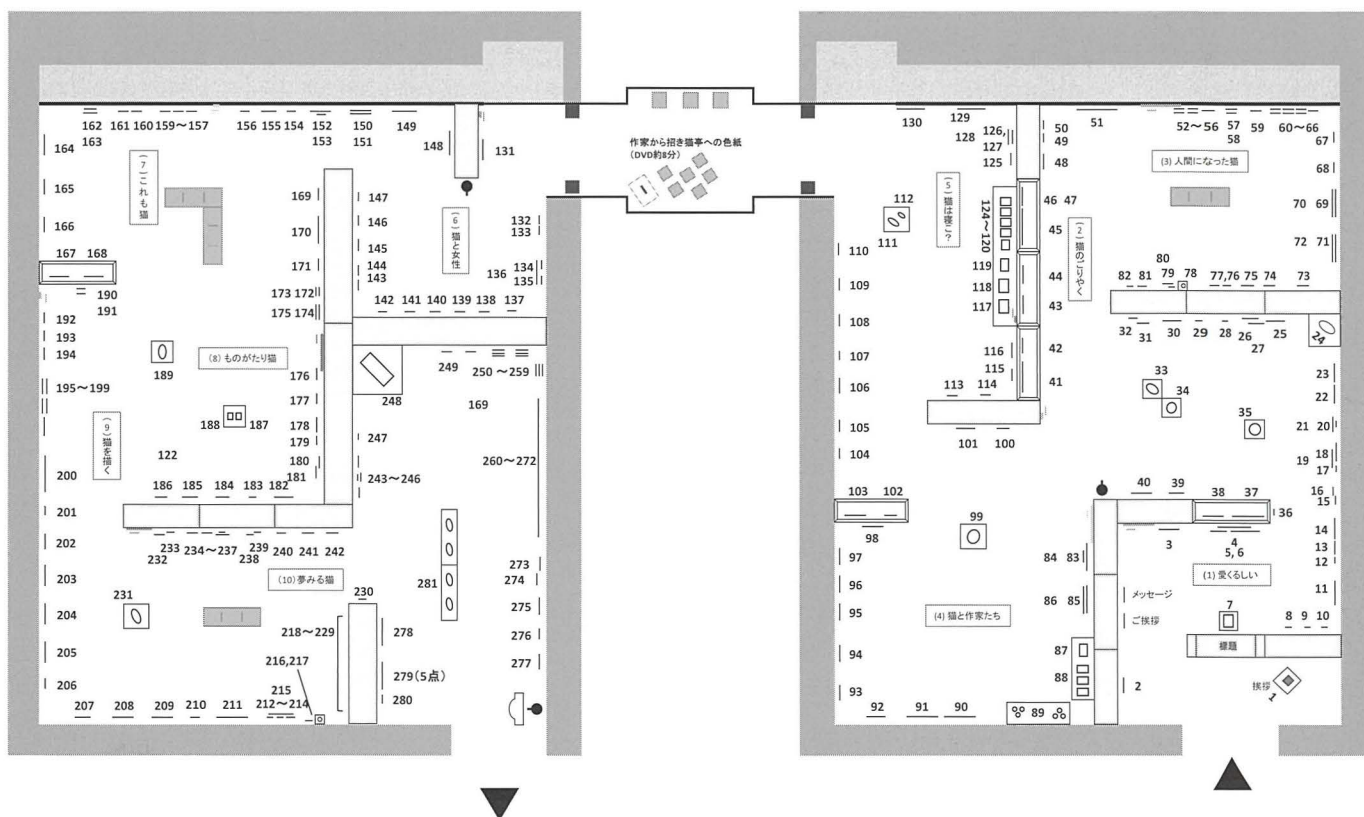
会場は子どもから大人まで、家族連れや若いカップルなどで連日賑わい、閉幕までに9,704人の来場者を迎えた。初めての来館者や管外からの旅行者も少なくなく、巷での猫ブームや、愛猫家への遡及をはかった企画と広報の工夫も奏功したと考えられる。しかし何より、猫という身近な動物を案内役として、奥深い美術の世界に足を踏み込むきっかけを与えてくれる、マニアックながら親しみ深いコレクションそのものの魅力が、人々を惹きつけた成果と言えるだろう。



会場風景



会場風景



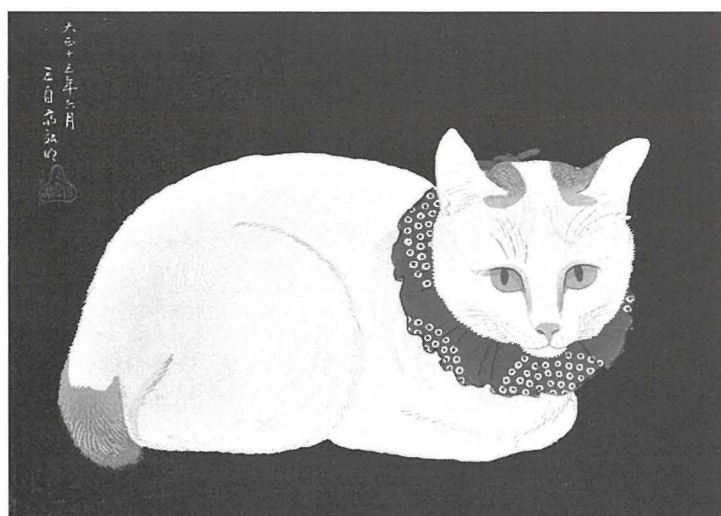
展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
■愛くるしい					
1	松田 剣	猫面	2011	テラコッタ	本体：8.5×9.0×5.0 展示：19.0×9.0×8.2
2	小泉淳作	猫	1990	紙・リトグラフ	37.3×25.2
3	高橋弘明	ジャパニーズ・ボブテイル	1924	紙・木版	23.5×33.0
4	関野準一郎	ベルシャ猫	1960	紙・木版	24.0×55.0
5	関野準一郎	親子猫	1960	紙・木版	38.1×26.0
6	関野準一郎	シャム猫	1960	紙・木版	35.5×45.0
7	アンリエット・ロナー	ベル著「アンリエット・ロナーの猫と子猫」	1894 (初版)	大判版元装丁 白黒の猫の画13枚入り	39.5×31.0×2.5
8	十時孝好	NEKO 90-11	1990	板・アクリル	30.3×8.7
9	秀島由己男	ホオズキの中の猫	2010	紙・メゾチント、手彩色	14.0×14.0
10	八木原由美	Friends	2008	紙・リトグラフ	16.0×8.5
11	木下 晋	甘え	2007	紙・鉛筆	39.3×58.0
12	生田宏司	芽ばえ IV・猫	1998	紙・メゾチント、手彩色	9.0×8.0
13	生田宏司	子猫と子鼻	1998	紙・メゾチント	45.7×25.5
14	生田宏司	子猫と子鼻 II	1998	紙・メゾチント	16.5×36.0
15	金子國義	Micky & Lily	2002	キャンバス・油彩	22.8×16.0
16	相笠昌義	猫を抱く少女	1991	キャンバス・油彩	22.0×15.0
17	中佐藤滋	男と猫	2002	紙・鉛筆	8.5×8.3
18	中佐藤滋	見失う前に彷徨ってしまう 繋いで言葉じゃなくて	2005	キャンバス・アクリル	32.0×40.0
19	中佐藤滋	猫II	不詳	紙・アクリル	16.0×22.8
20	田嶋 健	ねこお	2007	紙・木版	11.0×10.0
21	名嶋憲児	寧日	1999	紙・木版	22.0×30.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
22	稲垣知雄	猫の肖像	不詳	紙・木版	37.5×49.8
23	小松 均	猫	不詳	紙・木版	32.0×49.0
24	浮田麻木	困ったニャー	2007	鉄	55.0×27.0×30.0
25	横山貞二	猫と在る	2009	紙・木版、油彩	39.0×27.0
26	山中 現	窓辺	2003	紙・木版	30.4×22.0
27	横山貞二	たまの外出	1998	紙・木版、油彩	48.8×39.5
28	合田佐和子	White Heart	2008	キャンバス・油彩	39.0×30.0
29	合田佐和子	キャッピーちゃん	1995	キャンバス・油彩	45.5×27.3
30	南 桂子	落葉と少女	1988	紙・エッチング	42.4×35.0
31	中西 良	夕暮れ	2009	麻布に石膏下地・油彩	18.0×18.0
32	金森宰司	茶々丸	不詳	紙・ミクストメディア	27.5×21.0
33	吾妻兼治郎	猫 A	1965	ブロンズ	32.0×42.0×12.0
34	吾妻兼治郎	二匹の猫	1965	ブロンズ	21.0×36.0×21.0
35	柳原義達	猫	1963頃	ブロンズ	24.0×13.0×22.0
36	穂月 明	板塀の子猫	不詳	紙本墨画	31.0×19.0
37	岩松（新田）道純	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画淡彩	41.5×61.4
38	川合玉堂	猫児	1913	紙本墨画淡彩	116.3×30.1
39	小絲源太郎	猫	不詳	紙・水彩	27.0×23.5
40	大村廣陽	猫と黄蝶	1960	紙・木版	23.5×33.5
■猫のこりやく					
41	脇屋（新田）義明	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画淡彩	52.4×56.7
42	帰舟	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画淡彩	65.0×26.4
43	岩松（新田）俊純	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画淡彩	98.8×31.0
44	不詳	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画	46.5×30.7
45	岩松（新田）徳純	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙本墨画淡彩	44.0×51.8
46	新田道純	猫図〔新田猫〕	幕末期	紙本墨画淡彩	40.0×46.0
47	新田〔源弘印〕	猫図〔新田猫〕	江戸後期	紙・木版	29.5×22.4
48	四代歌川国政	新板賊ねずみ	1882	錦絵	大判
49	歌川国芳	猫の妙術	1847-52頃	錦絵	大判
50	歌川広重	浄るり町繁花の図	1852	錦絵	大判
51	横尾忠則	日の本の猫	1997	紙・シルクスクリーン	102.0×71.5
■人間になった猫					
52	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん傳兵衛 身の臭姪色時	1847	錦絵	大判
53	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	1847	錦絵	大判
54	歌川国芳	流行猫の戯 かがみやな 草履恥の段	1847	錦絵	大判
55	歌川国芳	流行猫の戯 道行 猫柳姪月影	1847	錦絵	大判
56	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞氣罵責段	1847	錦絵	大判
57	歌川（落合）芳幾	手習鑑虎小家の段	1860	錦絵	大判
58	歌川（落合）芳幾	与はなさけ浮名の横ぐし	1860	錦絵	大判
59	歌川国利	流行温泉の圖	明治初期	錦絵	大判
60	永島春暁	猫の温泉あそび	明治初期	錦絵	大判
61	歌川国梅	新ばん猫世帯ままこしらへ	1877	錦絵	大判
62	四代歌川国政	新板ねずみのたわむれ 猫の図	不詳	錦絵	大判
63	作者不詳	新板ねこの弥次きた	明治期	錦絵	大判
64	歌川国年	猫尽し	1884	錦絵	大判
65	不詳	新版猫と鼠の戯	明治期	錦絵	大判
66	歌川芳藤	猫の善悪	明治初期	錦絵	大判
67	三代歌川豊国	愛妾胡蝶	1853	錦絵	大判
68	豊原国周	東都三十六景之内 山下御門古猫の怪 板東彦三郎	1864	錦絵	大判
69	豊原国周	珍猫見立善悪競	1884	錦絵	大判三枚続
70	三代歌川豊国	花野嵯峨猫魔稿 愛妾胡蝶 伊東壮太 後室さがの方	1853	錦絵	大判三枚続
71	三代歌川豊国	五十三次の内 岡部丸子の間宇津谷猫石	1854	錦絵	大判三枚続
72	三代歌川豊国	五十三次の内 京	1854	錦絵	大判三枚続
73	立原位貫	猫のひな祭り	1997	錦絵	大判

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
74	秀島由己男	猫の平家物語 (変わり雛)	2015	キャンバス・古代布、テンペラ、油彩	41.0×32.0
75	秀島由己男	猫の鎧武者	2006	紙・ミクストメディア	12.5×18.5
76	秀島由己男	猫 (ドレスのキャット) A	1998	紙・フォトグラビュール、エッチング	19.1×14.0
77	秀島由己男	猫 (ドレスのキャット) B	1998	紙・フォトグラビュール、エッチング	21.0×12.5
78	秋山祐徳太子	猫男	2007	ブリキ	19.0×6.0×6.0
79	植草甚一	猫男	1961	紙・油彩	14.0×9.0
80	駒井哲郎	人のような猫	1961	紙・エッチングなど	16.1×7.8
81	山本雅子	imitation	不詳	キャンバス・油彩、コラージュ	26.5×18.5
82	朝倉 摂	スベードの女王	2009	キャンバス・ミクストメディア	14.5×10.0
■猫と作家たち					
83	歌川国芳	流行逢都繪希代稀物	1852頃	錦絵	大判三枚続
84	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角	江戸後期	錦絵	大判
85	歌川国芳	日本駄右エ門 猫之古事	1847頃	錦絵	大判三枚続
86	歌川国芳	見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来	1847	錦絵	大判三枚続
87	歌川国芳	猫の百面相	1840年代	錦絵	大判
88	歌川国芳	猫飼好五十三疋 (復刻版)	不詳	錦絵	大判三枚続
89	件亭ノ伊万里	伊万里国芳猫文様豆皿	1947-52頃	陶器	大: 各9.0 (15点) 小: 各6.0 (80点)
90	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	冬—クッションの上の猫	1919	紙・リトグラフ	49.6×59.0
91	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	夏—手すりの上の猫	1919	紙・リトグラフ	49.3×60.7
92	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	猫と少女	1898	紙・リトグラフ	46.0×31.5
93	リヨン・アドルフ・ウィレット	作品名不詳	不詳	紙・エッチング	33.5×29.8
94	レオナール・フジタ	猫を抱く少女	1950	紙・水彩	34.0×24.0
95	レオナール・フジタ	クリスティミス [「猫二十態」より]	1930	紙・コロタイプ	19.0×25.0
96	レオナール・フジタ	ミルラ [「猫二十態」より]	1930	紙・コロタイプ	19.0×25.0
97	レオナール・フジタ	アホリバ [「猫二十態」より]	1930	紙・コロタイプ	19.0×25.0
98	レオナール・フジタ	尾の黒い猫 [「猫十態」より]	1929	紙・エッチング	29.0×35.5
99	木内 克	猫	1960	テラコッタ	58.0×45.0×28.0
100	レオナール・フジタ	猫	1938	紙・水彩	23.0×32.0
101	レオナール・フジタ	若い猫	1952	印画紙・インク	17.0×23.5
102	木村荘八	われがすみか 初代竹枝せん	1957-58	紙本墨画	130.4×30.3
103	木村荘八	猫恋人 (ねこらばさん)	不詳	紙本着色	24.0×9.0
104	木村荘八	たま	不詳	紙・鉛筆、墨、水彩	16.0×18.4
105	木村荘八	猫の銭湯	1953	紙・木版	42.7×29.8



3 高橋弘明「ジャパニーズ・ボブテイル」

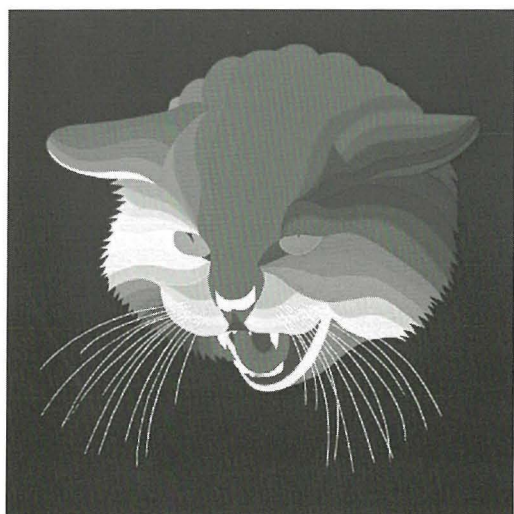


41 脇屋(新田)義明「猫図 [新田猫]」

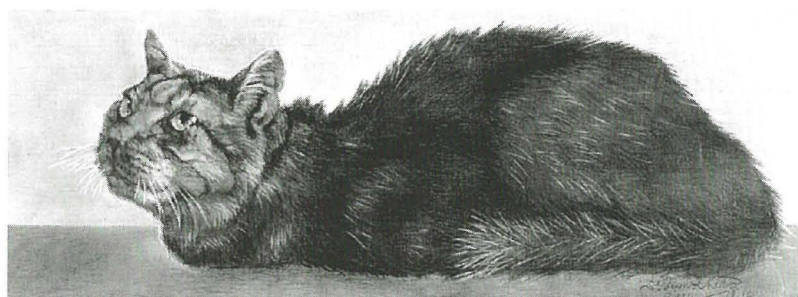
No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
106	猪熊弦一郎	少年と猫	1950頃	紙・グアッシュ	35.0×24.5
107	猪熊弦一郎	二人の女	1986	紙・ペン	15.2×10.3
108	フジコ・ヘミング	猫十態 (ソニア)	2005	紙・木版	25.5×23.3
109	アンディ・ウォーホル	Sam	1954	紙・リトグラフ、手彩色	21.7×14.2
110	若江漢字	タライ君人となり	2007	キャンバス・アクリル	45.5×38.3
111	西 誠人	伸太郎	2002	木	35.0×30.0×10.0
112	西 誠人	燐太郎	2005	木	4.0×18.0×3.0
113	椿 貞雄	ころ座る図	1940	紙・墨画	37.2×26.7
114	椿 貞雄	たま座る図	1931	紙・墨画淡彩	34.3×23.7
115	椿 貞雄	たま寝る図	1930頃	紙・墨画着色	28.0×37.2
116	椿 貞雄	とら寝る図	1936	紙・墨画着色	31.3×49.4
■猫は寝こ？					
117	岸田劉生	或る人々 [装幀木版画集より]	1920	紙・木版	18.5×27.5
118	岸田劉生	猫と梅図 [装幀木版画集より]	1920	紙・木版	18.5×24.5
119	川上澄生	眠り猫	不詳	紙・木版	11.0×23.3
120	四代長谷川貞信	猫	1955	布・着色	21.2×30.4
121	四代長谷川貞信	猫	不詳	布・着色	30.4×21.2
122	四代長谷川貞信	猫	不詳	布・着色	29.0×22.5
123	四代長谷川貞信	猫	1955	布・着色	30.4×21.2
124	四代長谷川貞信	猫	不詳	紙・木版	25.5×19.0
125	山城隆一	ネ・コラージュより	1972	紙・コラージュ	34.0×23.5
126	辻村和美	寝子	2008	紙本彩色	21.0×15.5
127	辻村和美	食後	2008	紙本彩色	21.0×15.5
128	木下 晋	くつろぎ	1985	紙・鉛筆	12.0×26.0
129	生田宏司	やすらぎの時	1998	紙・メゾチント	35.5×68.0
130	蔡 國華	ある日一心地良い	2010	紙・木炭、コンテ、水彩、パステルなど	79.0×54.6
■猫と女性					
131	ルイ・イカール	スイート・ミステリー	1935	紙・エッチング	52.0×40.6
132	歌川国芳	山海めでたいづえ はやくきめたい	1852	錦絵	大判
133	歌川国芳	山海愛度圖會 えりをぬきたい	1852	錦絵	大判
134	歌川国芳	浮世四十八癖 はなしをききたがるくせ	1847-52頃	錦絵	大判
135	歌川国芳	艶姿十六女仙 豊干禪師	1847-52頃	錦絵	大判
136	二代歌川国貞	花盛土農工商	1852頃	錦絵	大判三枚続
137	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	1857	錦絵	大判
138	歌川豊国	七変化の内 女三宮 坂東三津五郎	江戸後期	錦絵	大判
139	歌川国貞 [後の三代豊国]	子宝遊「猫」	江戸後期	錦絵	大判
140	歌川重宣 [後の二代広重]	当世見立五節句	1850年代後半	錦絵	大判
141	貞斎泉晁	傾城花競 丸海老屋内 江門	江戸後期	錦絵	大判
142	豊原国周	錦織武蔵の別品	1883頃	錦絵	大判
143	大蘇 (月岡) 芳年	古今比賣鑑 薄雲	明治初期	錦絵	大判
144	大蘇 (月岡) 芳年	見立多以尽より とりけしたい	1878	錦絵	大判
145	石川寅治	つれづれ	1934	紙・木版	37.5×30.0
146	石川寅治	黒い猫	1934	紙・木版	37.5×29.5
147	竹久夢二	黒猫を抱く女 [やなぎ屋版]	1920	紙・木版	34.5×25.0
148	レオノール・フィニ	飛ぶ魔女	不詳	紙・エッチング	33.0×41.0
149	斎藤真一	化粧	1962	キャンバス・油彩	53.0×41.0
150	岩織 治	たそがれて	1970頃	キャンバス・油彩	32.0×40.0
151	岩織 治	猫と女	1970頃	キャンバス・油彩	32.0×40.0
152	山下清澄	夜訪れる者たち	1971	紙・エッチング	29.0×35.1
153	山下清澄	私窩子	1973	紙・エッチング	6.0×14.0
154	小林ドンゲ	女と猫シリーズより「白いレース」	1980	紙・エッチング	17.0×13.0
155	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965	紙・ドライポイント、ルーレット	36.0×33.0
156	小澤清人	クレオパトラの猫	1987	板・油彩	23.2×16.1
■これも猫					
157	巖嘯	怒	2011	紙・シルクスクリーン	23.0×21.4
158	巖嘯	ルソーのピエール・ロティ氏の猫	1999	紙・シルクスクリーン	26.5×21.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
159	霰嘯	Don't look back	2001	紙・シルクスクリーン	34.9×25.0
160	浜田知明	蒸し暑い夜	1985	紙・エッチング	23.0×15.0
161	浜田知明	夜	1988	紙・エッチング	25.0×21.5
162	緑川俊一	ラウンド・アバウト・ミッドナイト	2009	キャンバス・油彩	22.2×27.6
163	緑川俊一	猫	2007	紙・コンテ、コラージュ	33.4×22.7
164	不詳	夏日	不詳	紙本着色	29.5×44.0
165	小林清親	猫と提灯	1877	錦絵	間倍判
166	尾形月耕	鼠 陸州黒石常経寺の猫	1892	錦絵	大判
167	小川芋銭	寒巖三公	明治期	紙本墨画淡彩	122.5×30.2
168	中川一政	日日間 (花に猫)	1931	紙本墨画	125.8×31.0
169	永瀬義郎	東洋の旅 I 上海所見	1929	紙・木版	30.5×22.5
170	村井正誠	猫	1980	紙・リトグラフ	75.4×54.5
171	村井正誠	猫 [絵馬]	1958	木・グアッシュ	20.0×29.0
172	山中 現	生	1999	紙・ドライポイント、ルーレット	11.0×13.5
173	山中 現	秘密	1999	紙・ドライポイント、ルーレット	12.5×10.0
174	伊藤亜矢美	たぬさんネコ	2003	紙・モノタイプ	22.0×35.0
175	伊藤亜矢美	たぬさんネコ 2	2003	紙・モノタイプ	25.5×37.5
■ものがたり猫					
176	マルク・シャガール	猫と2羽のスズメ「ラ・フォンテーヌの寓話」より	1952	紙・エッチング	29.0×23.5
177	オーブリー・ビアズリー	黒猫	1884	紙・ラインブロック	20.0×14.0
178	山本容子	Cheshire-cat 94'	1994	紙・エッチング	32.0×42.0
179	山本容子	Cheshire-Chonta	1994	紙・エッチング、手彩色	9.5×14.5
180	古田恵美子	ふとおもうネコ	2009	キャンバス・油彩、クレパス	15.0×38.0
181	古田恵美子	夜の散歩ネコ	2009	キャンバス・油彩、木炭	14.5×28.0
182	落田洋子	セロトニンが足りない	2009	キャンバス・油彩	45.5×53.0
183	落田洋子	お気に入り追加	2009	キャンバス・油彩	22.7×15.8
184	寛 本生	猫とギャルソン	2010	キャンバス・油彩	24.2×33.5
185	松井ヨシアキ	猫とコンサート II	2005	キャンバス・油彩	45.0×52.5
186	松井ヨシアキ	青い部屋の猫	不詳	キャンバス・油彩	41.0×31.8
187	川上澄生	Cat Town [猫町]	不詳	装幀画	19.8×15.3
188	浅井 忠	猫の草紙	不詳	装幀画	22.8×15.8
■猫を描く					
189	大塚茂吉	猫	2009	テラコッタ	51.0×20.0×27.0
190	河鍋曉斎	戯画	明治初期	錦絵	小判
191	河鍋曉斎	戯画	明治初期	錦絵	小判
192	歌川国利	しんぱんねこ尽	明治初期	錦絵	大判
193	作者不詳	両めんにやつくし	1909	錦絵	大判
194	作者不詳	志ん板ねこづくし	1908	錦絵	大判
195	斎藤 清	黒猫 I	1955頃	紙・木版	41.0×24.0
196	斎藤 清	猫	不詳	紙・木版	36.0×23.0
197	斎藤 清	黒猫 II	1955頃	紙・木版	40.0×24.0
198	斎藤 清	凝視	1952	紙・木版	35.2×23.7
199	斎藤 清	競艶	1973	紙・木版	27.5×28.5
200	杉山 寧	猫	1950	紙・鉛筆 着色	48.4×65.3
201	杉山 寧	ローマの猫	1963	布・板裏打ち 着色	15.5×15.5
202	藤島武二	猫	不詳	紙・水彩	33.0×23.5
203	山口華楊	華と猫	1983	紙・リトグラフ	36.0×45.0
204	中村直人	猫	不詳	紙・リトグラフ	50.5×40.5
205	中村直人	猫	1975頃	紙・リトグラフ	56.0×43.0
206	福沢健一	猫	不詳	色紙・漆絵	27.3×24.2
207	小泉淳作	猫	2007	紙本着色	38.0×24.0
208	竹内浩一	香	1999	紙本着色	53.0×45.0
209	國司華子	ネコ君	2002	紙本着色	24.3×40.9
210	辻村和美	障子	2006	紙本着色	45.0×26.0
211	蔡 國華	孤高	2009	紙・コンテ	48.0×62.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
212	門坂 流	猫	2007	紙・鉛筆、水彩	13.5×17.5
213	門坂 流	カール	2007	紙・鉛筆	19.2×28.8
214	門坂 流	黒猫 [ミュウ]	2005	紙・ペン、水彩	11.7×18.0
215	木下 晋	トラの願望 II	2010	紙・鉛筆	21.8×60.0
216	三沢厚彦	cat	2002	紙・ペン、色鉛筆	15.5×21.0
217	三沢厚彦	Head 猫	2000	桂・アクリル、油彩	13.8×12.8×14.0
218	生田宏司	月夜の集い	2000	紙・メゾチント	44.5×67.0
219	生田宏司	三猫図	2010	紙・メゾチント	16.5×34.4
220	生田宏司	猫と猫頭鷹	2000	紙・メゾチント	18.5×25.3
221	生田宏司	猫と夜猫子	1998	紙・メゾチント	10.0×7.5
222	生田宏司	微風の香り	2002	紙・カラーメゾチント	18.0×12.4
223	生田宏司	猫と猫頭鷹 V	2002	紙・メゾチント	16.5×35.6
224	生田宏司	猫と猫頭鷹 II	2000	紙・メゾチント	16.5×35.5
225	生田宏司	マリオネットのある部屋	1999	紙・メゾチント	18.6×12.5
226	生田宏司	猫と猫頭鷹	2001	紙・メゾチント	16.4×35.5
227	生田宏司	猫と猫頭鷹	1999	紙・メゾチント	16.5×35.6
228	生田宏司	猫と夜猫子 III	2002	紙・メゾチント	13.5×22.0
229	生田宏司	マリオネットのある部屋 (原版)	1999	銅版	18.6×12.5
230	吉仲太造	あそぶねこ	1977	キャンバス・油彩	23.0×16.0
231	簀内佐斗司	寧子	1989	木・漆	60.0×50.0×14.0
■夢みる猫					
232	清宮質文	夕日と猫 II	1979	紙・木版	20.0×17.5
233	清宮質文	夢の中へ	1983	紙・木版	15.5×6.8
234	鈴木敦子	花の便り	2005	紙・木版	22.5×18.0
235	鈴木敦子	ついてくる	2007	紙・木版	30.0×22.5
236	鈴木敦子	光る	2007	紙・木版	9.0×9.0
237	鈴木敦子	あっちこっち	2009	紙・木版	12.0×22.5
238	佐藤健吾エリオ	猫 I	2000	紙・水彩	12.0×12.0
239	佐藤健吾エリオ	猫 II	2000	紙・水彩	17.5×11.8
240	柏本龍太	休日	不詳	キャンバス・油彩	50.0×20.0
241	山田純嗣	(10-3)TURN AROUND	2010	ポリコートパネルに印画紙・樹脂、パ ー ル粉、インタリオ・オン・フォ ト	50.0×40.0
242	辻 憲	猫	1998	紙・カラーメゾチント	29.3×16.9
243	多賀 新	如意輪 (猫) 観音	2011	紙・鉛筆、蛍光ペン	34.0×24.0
244	多賀 新	Fish and Cat	1986	紙・エッチング	13.5×12.0
245	多賀 新	猫	1977	紙・エッチング	27.5×17.8
246	多賀 新	夢みる猫 <II>	2009	紙・鉛筆、色鉛筆、蛍光ペン	61.0×33.0



157 鬚嘔「怒」



215 木下晋「トラの願望 II」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
247	秀島由己男	月夜	1981	紙・メゾチント	15.5×8.0
248	大森暁生	月夜のテーブル —Burmese—	2014	楠、樺・漆、彩色、ガラス	146.0×80.0×28.0
249	秀島由己男	玉子と二匹の猫	2009	キャンバス・ミクストメディア	33.5×24.3
250	秀島由己男	夜の根子岳 (猫岳)	2009	紙、キャンバス裏打ち・ミクストメディア	22.4×27.6
251	秀島由己男	猫の季節	2005	紙・ミクストメディア	13.5×17.0
252	秀島由己男	猫のたんぼぼ	2005	紙・ミクストメディア	12.5×18.5
253	秀島由己男	夜の根子岳 (2匹の猫)	2011	紙・ミクストメディア	10.5×19.6
254	秀島由己男	猫のポートレイト	1982	紙・メゾチント	17.5×17.0
255	秀島由己男	美しき野生 (片耳リリー)	1987	紙・エッチング、アクアチント	16.3×11.0
256	秀島由己男	猫 (キングのキャット) A	1998	紙・フォトグラビュール、エッチング	11.8×16.9
257	秀島由己男	春の城-6 [連載小説『春の城』挿絵]	1997	紙・フォトグラビュール、エッチングなど	10.0×14.0
258	秀島由己男	春の城-143 [連載小説『春の城』挿絵]	1998	紙・フォトグラビュール、エッチングなど	10.3×13.5
259	秀島由己男	春の城-261 [連載小説『春の城』挿絵]	1998	紙・フォトグラビュール、エッチングなど	10.0×13.5
260	安元亮祐	月を呼ぶ猫	2002	板、木・アクリル、ミクストメディア	17.0×13.5×4.5
261	安元亮祐	蒼い猫	2000	板、木・アクリル、ミクストメディア	16.7×15.8×7.4
262	安元亮祐	砂漠の秘宝	2003	紙、布など・アクリル、ミクストメディア	22.5×17.0
263	安元亮祐	蒼い月の匂い	2001	キャンバス・アクリル、コラージュ	27.5×27.5
264	安元亮祐	雨を呼ぶ猫	2002	キャンバス・アクリル	27.5×41.0
265	安元亮祐	きいろいねこ	2004	キャンバス・アクリル、コラージュ	18.3×14.3
266	安元亮祐	あさがえり	2008	板・アクリル、コラージュ	12.5×25.8
267	安元亮祐	凜—II	2007	布、板裏打ち・アクリル、コラージュ	10.0×6.7
268	安元亮祐	猫が蒼い時	2003	キャンバス・アクリル、コラージュ	27.3×22.0
269	安元亮祐	平和への祈り	2003	キャンバス・アクリル、コラージュ	22.0×27.3
270	安元亮祐	みけねこ	2009	板・アクリル、コラージュ	20.7×20.7
271	安元亮祐	道化少年	2010	板・アクリル、コラージュ	20.7×20.7
272	安元亮祐	イブの猫 I	2014	紙、カラードローイング	31.0×22.0
273	呉 亜沙	Passer	2004	キャンバス・油彩	24.0×33.4
274	呉 亜沙	行き先	2003	キャンバス・油彩	15.8×22.7
275	呉 亜沙	Flying Cat	2003	キャンバス・油彩	40.9×31.8
276	呉 亜沙	in the bottle-rainbow-	2006	紙・ドライポイントなど	23.0×17.0
277	ピエール・ルシュール	猫のいる室内	1998	紙、キャンバス裏打ち・油彩	45.5×27.0
278	山下まゆみ	鏡の国	不詳	紙本彩色	46.0×53.0
279	成田朱希	ラビリンス	2002	紙・インク、鉛筆	38.0×26.5
280	成田朱希	ラビリンス	2002	紙・インク、鉛筆	38.0×26.5
281	成田朱希	ラビリンス	2002	紙・インク、鉛筆	38.0×26.5
282	成田朱希	ラビリンス	2002	紙・インク、鉛筆	38.0×26.5
283	成田朱希	ラビリンス	2002	紙・インク、鉛筆	38.0×26.5
284	成田朱希	猫舌三昧	2002	紙・鉛筆	25.0×18.0
285	簗内佐斗司	猫も歩けば	1998	ブロンズ	各18.0×10.0×44.0 (4点組)

* 寸法は平面作品が縦×横、立体作品が幅×奥行き×高さ。

思考するアート コトバノカタチ

会期＝平成27年12月3日(木)－平成28年3月16日(水) 84日間

主催＝北海道立帯広美術館

協賛＝帯広信用金庫、斉藤道俊法律事務所

学校連携＝帯広市立南町中学校、音更町立下音更中学校、帯広大谷短期大学

観覧料＝一般720(560)円、高大生410(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は10人以上の前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

アーティスト・トーク

講師＝藤沢レオ氏 日時＝12月3日(木) 午前9時30分～
講師＝戸張良彦氏 日時＝12月5日(土) 午後1時～
講師＝浅川 茂氏 日時＝12月5日(土) 午後2時～
講師＝松本早苗氏 日時＝12月19日(土) 午後2時～
講師＝出店久夫氏 日時＝1月23日(土) 午後2時～
講師＝渋谷俊彦氏 日時＝1月30日(土) 午後2時～
講師＝鳴海寛理氏 日時＝2月13日(土) 午後2時～
各回とも約40分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ

「四つの言葉の物語 Part IIをつくろう」

講師＝池田緑氏(本展出品作家)

日時＝12月12日(土) 午後2時～4時

会場＝当館主展示室(要観覧券、応募制)

デモンストレーション&トーク

講師＝八重柏冬雷氏(本展出品作家)

日時＝1月9日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝2月20日(土)

講師＝五十嵐聡美(当館学芸課長)

日時＝3月5日(土)

各日とも午後2時～(約40分)

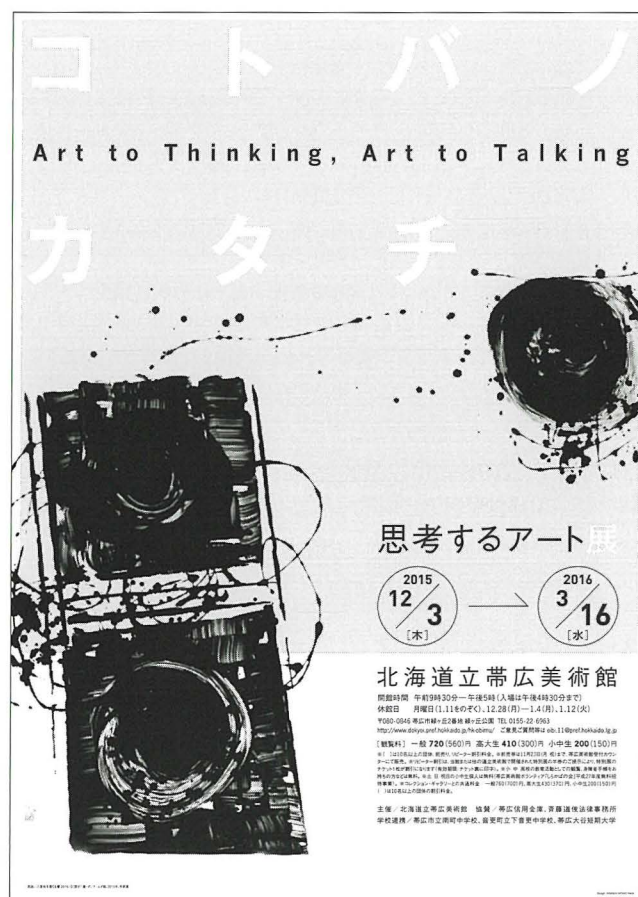
会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月16日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)



ポスター

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり」

日時＝2月5日(金)～2月7日(日)

＊2月5日(金)～2月6日(土)は午後8時まで夜間開館を実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

- ・「ロビーカフェ de 冬の花火」

日時＝2月5日(金)、2月6日(土) 午後5時30分～午後8時

会場＝当館ロビー、廊下(飲みもの有料)

- ・「てんらんかい de たからさがしゲーム」

日時＝2月6日(土)、2月7日(日)

6日：午前9時30分～午後8時

7日：午前9時30分～午後5時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

- ・ワークショップ「カラフルキャンドルをつくろう！」

日時＝2月6日(土)、2月7日(日)

各日とも午前10時～午後3時

会場＝当館講堂(参加無料)

キッズ・ミュージアム

「折り紙でひなかざり」

日時＝2月20日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ワークショップ

「いきなり！大人の油絵入門」

講師＝中谷有逸氏(美術家)

日時＝2月27日(土)～2月28日(日) 各日午前10時～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室(参加料500円、応募制)

関連記事

関根弘貴『『思考するアート』開幕 十勝から池田さんら5人出品』十勝毎日新聞／12月3日(木)

五十嵐聡美「おびひろミュージアム通信『思考するアート』」釧路新聞／12月7日(月)

「現代アート作家の絵画や写真38点」読売新聞／12月9日(水)

稲塚寛子「とかちフォトギャラリー 考えるアート」北海道新聞／1月7日(木)

「前衛書家、作品制作を実演」毎日新聞／1月11日(月)

佐藤いづみ「美術家の出店さん 作品秘話を披露」十勝毎日新

聞／1月26日(火)

五十嵐聡美「アート万華鏡 お題は…雪 墨と対極の白 有限生む」北海道新聞／2月8日(月)

「帯広出身 鳴海さん講師に あす帯広美術館でアーティスト・トーク」十勝毎日新聞／2月12日(金)

五十嵐聡美「思考するアート(1)～(3)」十勝毎日新聞／2月24日(水)、25日(木)、27日(土)

野田佳奈子「思考するアート(4)～(6)」十勝毎日新聞／2月28日(日)、29日(月)、3月1日(火)

五十嵐聡美「アート万華鏡 お題は…雪 刻一刻変わりゆく色彩」北海道新聞／3月7日(月)

池田緑「編集余録 中学生のアート」十勝毎日新聞／3月9日(水)

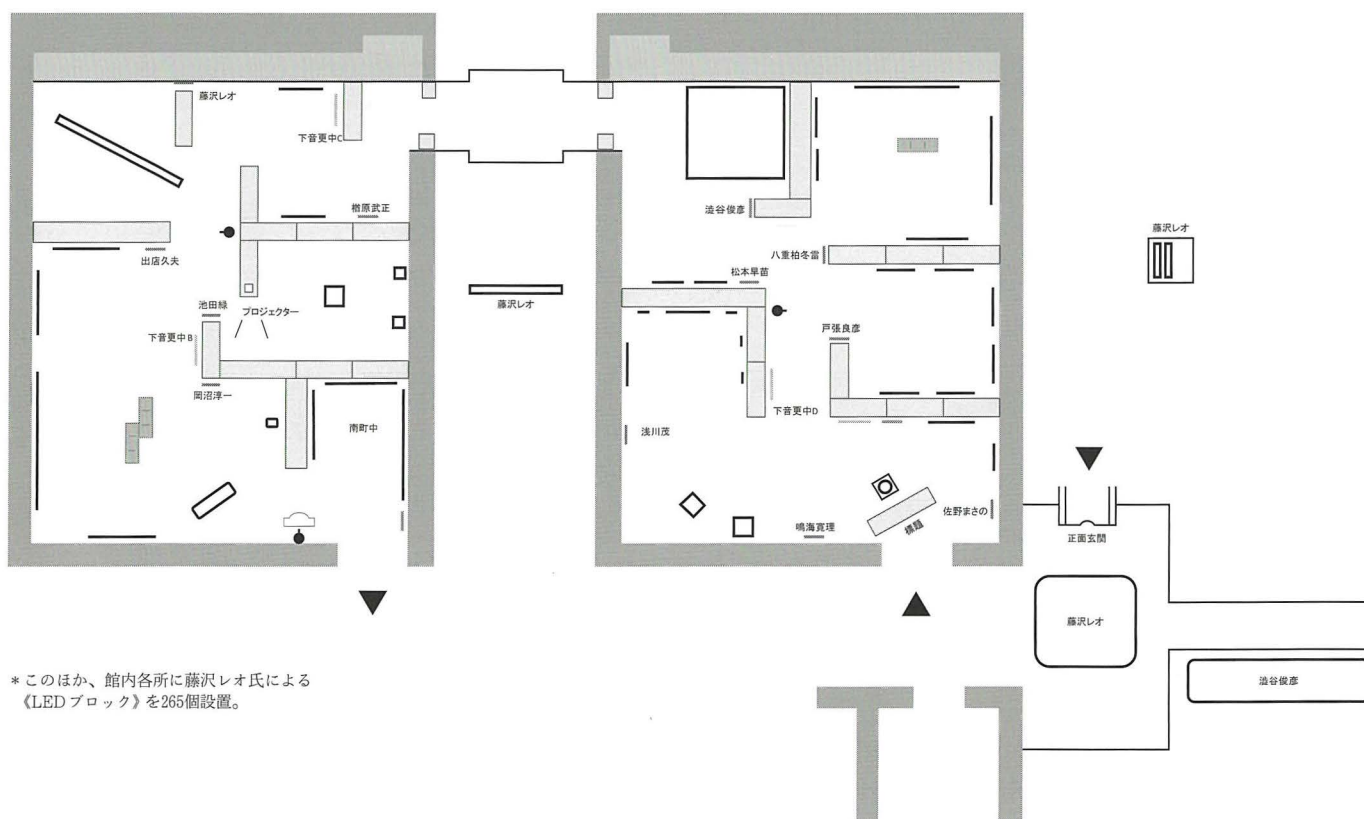
松田亜弓「南町中生の絵画好評 帯広美術館特別展 随所に高い造形能力」十勝毎日新聞／3月10日(木)

作家は、どんなことを思い、考えながら、作品を制作しているのだろうか。そうした思考の軌跡や蓄積は、表現とどのような関わりがあるのだろうか。一方で、鑑賞者は、作品を前にさまざまな印象をもつ。さらに作品から受けた感情の動きに思いを巡らし、表現の意味について、深く思索することもある。作品が鑑賞者の心に波紋を広げるといことは、実は作家が意図したことなのかもしれない。

本展では、藤沢レオ(苫小牧市在住)、佐野まさの(2005年没)、鳴海寛理(1960年生、岐阜県大垣市在住)、浅川茂(1947年生、帯広市在住)、戸張良彦(1955年生、帯広市在住)、八重柏冬雷(1954年生、芽室町在住)、松本早苗(1963年生、網走市在住)、澁谷俊彦(1960年生、札幌市在住)、植原武正(1942年生、札幌市在住)、池田緑(1943年生、帯広市在住)、出店久夫(1945年生、埼玉県所沢市在住)、岡沼淳一(1944年生、音更町在住)の12作家の作品を紹介した。

会期中、出品作家による7回のアーティスト・トークをはじめ、ワークショップやデモンストレーション&トークを開催し、作者の造形世界に触れることができた。また、特別展示として、音更町立下音更中学校と連携して2年生4クラス142名の生徒たちの柔軟な感覚と自由な思考から湧き出た言葉を4枚のパネルにして展示した。帯広市立南町中学校との連携では、3年生5クラス197名の生徒たちが「命」をテーマに4号のキャンバスに描いたアクリル画を展示した。

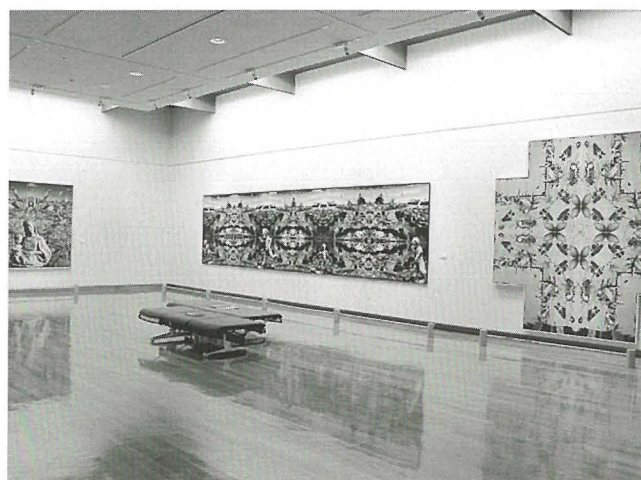
この展覧会では、出品作品とともに多彩な関連事業や学校連携事業により、「感じる、思う、考える」をキーワードに、さまざまな表現形式の作品を読み解き、より深く理解していただくことへとつながっていった。



展示図面



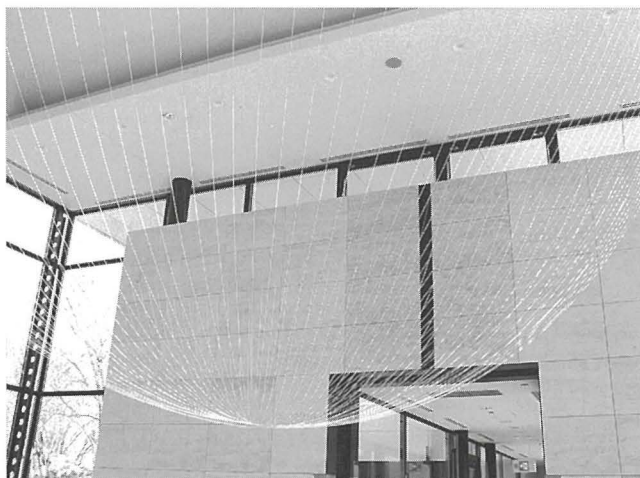
会場風景



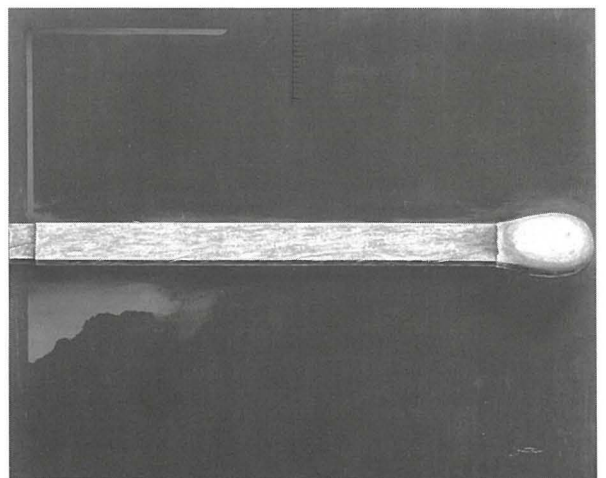
会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
1	藤沢レオ	不在の存在Ⅴ	2015 (平成27)	水系 (ナイロン糸)	600.0×600.0×350.0	作家蔵
2	佐野まさの	作品	不詳	ミクストメディア、板	91.0×61.0×5.3	
3	佐野まさの	100本のマッチの中で最も美しい1本	1979 (昭和54)	油彩、キャンバス	130.1×161.7	
4	佐野まさの	意識の装置	1995 (平成7)	ミクストメディア	径35.9×高さ14.5	
5	鳴海寛理	呼吸構築体ー接続領域 #2	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0	
6	鳴海寛理	呼吸構築体ー接続領域 #3	2001 (平成13)	木、鉄、真鍮	120.0×60.0×92.5	
7	浅川 茂	重い風景	1998 (平成10)	油彩、板	162.5×183.0	
8	浅川 茂	静寂する風景	2000 (平成12)	油彩、キャンバス	71.4×38.2	
9	浅川 茂	大地の扉	1999 (平成11)	油彩、板	194.0×162.5	
10	浅川 茂	重い風景	2003 (平成15)	油彩、キャンバス	71.8×37.8	
11	浅川 茂	沈む地	2010 (平成22)	油彩、板	46.3×37.2	
12	浅川 茂	流れー留まる	2012 (平成24)	油彩、キャンバス	45.5×37.9	
13	戸張良彦	143.102488.43.265127 41°	2008 (平成20)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家寄託
14	戸張良彦	143.551286.42.605040 268°	2013 (平成25)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家寄託
15	戸張良彦	143.121065.43.567846 96°	2013 (平成25)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家蔵
16	戸張良彦	143.618034.42.699446 107°	2015 (平成27)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家蔵
17	戸張良彦	143.270480.42.762508 273°	2010 (平成22)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家寄託
18	戸張良彦	143.617869.42.699296 322°	2013 (平成25)	デジタルCプリント	100.0×150.0	作家寄託
19	八重柏冬雷	けふもいちにち風をあをるいてきた (山頭火の句)	2014 (平成26)	墨、ボンド、ユボ紙、ポスターカラー	99.0×250.0 (15枚組)	作家蔵
20	八重柏冬雷	花・鳥・風・月～北の大地より	2013 (平成25)	和紙、墨、メタリック墨	70.0×420.0 (4枚組)	作家蔵
21	八重柏冬雷	花鳥風月～寂韻の響き～	2012 (平成24)	和紙、墨、白抜き剤	180.0×360.0 (4枚組)	作家蔵
22	八重柏冬雷	何を求める風の中ゆく (山頭火の句)	2015 (平成27)	墨、ボンド、ユボ紙	85.0×175.0	作家蔵
23	八重柏冬雷	玉響 2015-1	2015 (平成27)	墨、ボンド、ユボ紙	90.0×120.0	作家蔵
24	松本早苗	風	2003 (平成15)	水彩、水彩紙	91.0×116.7	
25	松本早苗	午後のひざしの中で…	2006 (平成18)	水彩、水彩紙	91.0×116.7	
26	澁谷俊彦	WHITE GARDEN	2015 (平成27)	鉄材、蛍光塗料	400.0×400.0	作家蔵
27	檜原武正	無題	1984 (昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	170.0×170.0	
28	檜原武正	作品“赤”	1984 (昭和59)	塗料、釘、針金、トタン板	180.0×180.0	
29	藤沢レオ	場の彫刻Ⅲ	2015 (平成27)	鉄柱、コンクリートブロック、アクリル塗料	10.0×10.0×600.0ほか	作家蔵
30	池田 緑	FOUR WORD STORIES「四つの言葉」の物語	2010-15 (平成22-27)	手帳2冊、ダイモテープ、映像 (DVD)、記録本、募言箱	各8.0×15.0×17.0	作家蔵
31	池田 緑	FOUR WORD STORIES「四つの言葉」の物語 PART II	2015 (平成27)	ダイモテープ使用による作品の 実物大コピー	各29.7×21.0 (12点組)	作家蔵



1 藤沢レオ「不在の存在Ⅴ」



3 佐野まさの「100本のマッチの中で最も美しい1本」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	所蔵先
32	出店久夫	私風景、過去-2000-未来 No. II	2000 (平成12)	モノクロコピー、ゼラチンシルバークラウドプリント、調色剤、手彩色	182.2×228.0×9.0	
33	出店久夫	私風景 '94-少女図	1994 (平成6)	ゼラチンシルバークラウドプリント、調色剤、色鉛筆、手彩色	253.5×224.0×5.1	
34	出店久夫	磯岩石遁走図〈A Fugue from the Sea〉	2005 (平成17)	ゼラチンシルバークラウドプリント、寒冷紗、パネル	155.0×624.0 (3枚組)	作家蔵
35	出店久夫	地と母子像	2010-11 (平成22-23)	ゼラチンシルバークラウドプリント、手彩色、パネル	182.0×182.0	作家蔵
36	岡沼淳一	MONSOON	1988 (昭和63)	埋もれ木 (ニレ)	185.5×44.3×190.0	
37	岡沼淳一	far away	1992 (平成4)	埋もれ木 (ニレ)	48.5×18.5×44.0	
38	澁谷俊彦	SNOW PALLETS	2015 (平成27)	鉄材、蛍光塗料	径30.0×高さ30.0ほか	作家蔵

学校連携

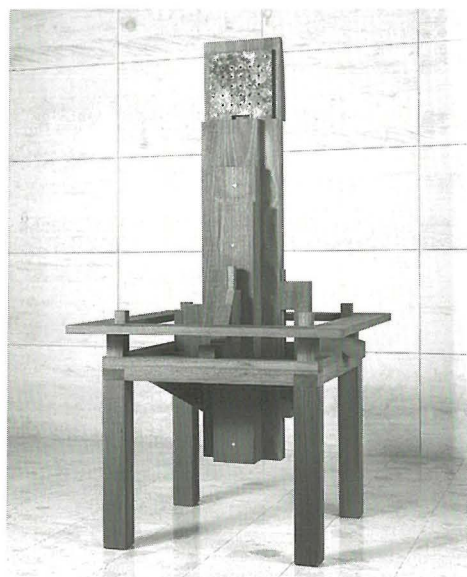
音更町立下音更中学校2年生×北海道立帯広美術館《カタチノコトバタチ》

帯広市立南町中学校3年生×北海道立帯広美術館《15才の思考するアート》

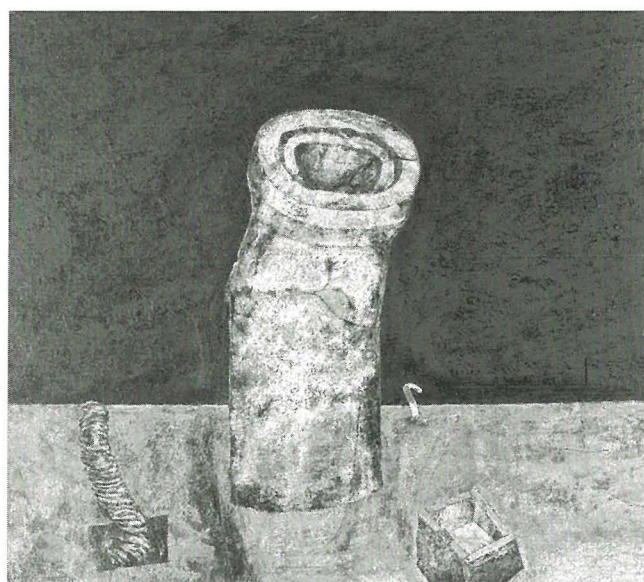
※展示期間：12月3日～3月13日

* 寸法は平面作品が縦×横、レリーフ状の作品が縦×横×奥行、立体作品が幅×奥行×高さ、あるいは径×高さ。

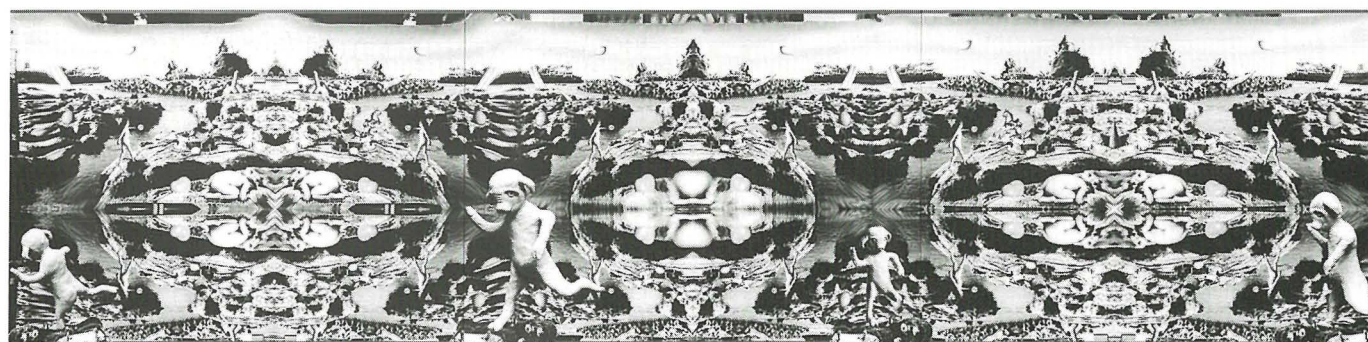
* 所蔵先の記載のない作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



5 鳴海寛理「呼吸構築体—接続領域 # 2」



7 浅川茂「重い風景」



34 出店久夫「磯岩石遁走図〈A Fugue from the Sea〉」

篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN

会期＝平成28年 4月16日(土)－6月26日(日) 62日間
 主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議、篠山紀信展実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援＝十勝町村会、十勝管内各教育委員会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中学校長会、帯広市校長会、帯広商工会議所、帯広市町内会連合会、十勝文化団体協議会、帯広市民劇場運営委員会、帯広市文化スポーツ振興財団、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協賛＝ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、(以下帯広展協賛)医療法人千樹会帯広整形外科、帯広信用金庫、キクミ、札幌新聞輸送、竹川会計事務所、東京機械製作所、中井会計事務所、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ、北海道拓殖バス

協力＝松竹(株)

企画協力＝後藤繁雄事務所＋G/P gallery

観覧料＝一般1,000(900)円、高大生550(450)円、中学生以下無料
 高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

6月1日(木)、6月5日(日)は65歳以上無料

関連事業

アーティスト・トーク

講師＝篠山紀信氏(写真家)

聞き手＝後藤繁雄氏(G/P gallery ディレクター、本展企画協力者)

日時＝4月15日(金) 午後6時30分～

会場＝北海道ホテル 新雪の間(聴講無料、応募制)

ギャラリー・ツアー

講師＝栗谷昌宏氏(FM-JAGA DJ、4月24日)、藤原乃里子(当館主任学芸員)

日時＝4月24日(日)、5月28日(土)、6月4日(出)

午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

デジカメ・スマホでも！夜桜撮影会

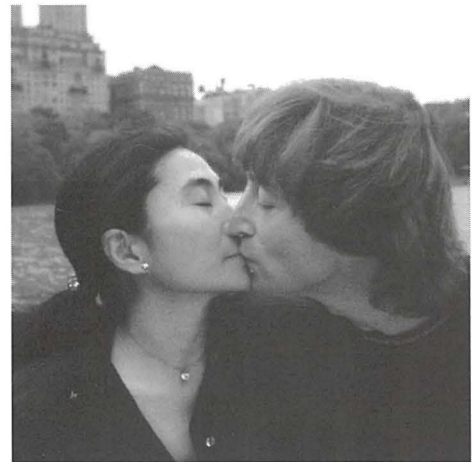
講師＝塩原真氏(十勝毎日新聞社カメラマン)

日時＝5月6日(金) 午後6時30分～、午後7時～(約20分)*

会場＝当館外周(参加無料)

*当日は午後8時まで開館(展示室への入場は午後7時30分まで)

篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN



2016年4月16日(土)－6月26日(日) 北海道立帯広美術館

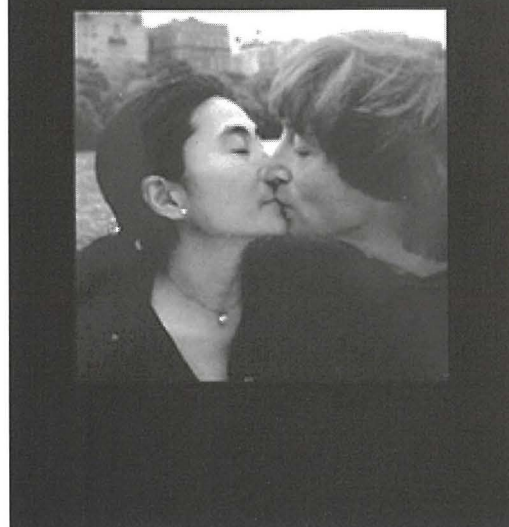
休館日 | 月曜日 開館時間 | 午前9時30分～午後5時(観覧客への入場は午後4時30分まで)

観覧料 | 一般:1,000円(900円) 高大生:550円(450円) 中学生以下:無料 8歳以下は観覧料、13歳以上の観覧料、VTC-ターゲティング料。

※特別展「4月15日(金)」※特別展「4月16日(土)」※特別展「4月17日(日)」※特別展「4月18日(月)」※特別展「4月19日(火)」※特別展「4月20日(水)」※特別展「4月21日(木)」※特別展「4月22日(金)」※特別展「4月23日(土)」※特別展「4月24日(日)」※特別展「4月25日(月)」※特別展「4月26日(火)」※特別展「4月27日(水)」※特別展「4月28日(木)」※特別展「4月29日(金)」※特別展「4月30日(土)」※特別展「5月1日(日)」※特別展「5月2日(月)」※特別展「5月3日(火)」※特別展「5月4日(水)」※特別展「5月5日(木)」※特別展「5月6日(金)」※特別展「5月7日(土)」※特別展「5月8日(日)」※特別展「5月9日(月)」※特別展「5月10日(火)」※特別展「5月11日(水)」※特別展「5月12日(木)」※特別展「5月13日(金)」※特別展「5月14日(土)」※特別展「5月15日(日)」※特別展「5月16日(月)」※特別展「5月17日(火)」※特別展「5月18日(水)」※特別展「5月19日(木)」※特別展「5月20日(金)」※特別展「5月21日(土)」※特別展「5月22日(日)」※特別展「5月23日(月)」※特別展「5月24日(火)」※特別展「5月25日(水)」※特別展「5月26日(木)」※特別展「5月27日(金)」※特別展「5月28日(土)」※特別展「5月29日(日)」※特別展「5月30日(月)」※特別展「5月31日(火)」※特別展「6月1日(水)」※特別展「6月2日(木)」※特別展「6月3日(金)」※特別展「6月4日(土)」※特別展「6月5日(日)」※特別展「6月6日(月)」※特別展「6月7日(火)」※特別展「6月8日(水)」※特別展「6月9日(木)」※特別展「6月10日(金)」※特別展「6月11日(土)」※特別展「6月12日(日)」※特別展「6月13日(月)」※特別展「6月14日(火)」※特別展「6月15日(水)」※特別展「6月16日(木)」※特別展「6月17日(金)」※特別展「6月18日(土)」※特別展「6月19日(日)」※特別展「6月20日(月)」※特別展「6月21日(火)」※特別展「6月22日(水)」※特別展「6月23日(木)」※特別展「6月24日(金)」※特別展「6月25日(土)」※特別展「6月26日(日)」※特別展「6月27日(月)」※特別展「6月28日(火)」※特別展「6月29日(水)」※特別展「6月30日(木)」※特別展「6月31日(金)」※特別展「7月1日(土)」※特別展「7月2日(日)」※特別展「7月3日(月)」※特別展「7月4日(火)」※特別展「7月5日(水)」※特別展「7月6日(木)」※特別展「7月7日(金)」※特別展「7月8日(土)」※特別展「7月9日(日)」※特別展「7月10日(月)」※特別展「7月11日(火)」※特別展「7月12日(水)」※特別展「7月13日(木)」※特別展「7月14日(金)」※特別展「7月15日(土)」※特別展「7月16日(日)」※特別展「7月17日(月)」※特別展「7月18日(火)」※特別展「7月19日(水)」※特別展「7月20日(木)」※特別展「7月21日(金)」※特別展「7月22日(土)」※特別展「7月23日(日)」※特別展「7月24日(月)」※特別展「7月25日(火)」※特別展「7月26日(水)」※特別展「7月27日(木)」※特別展「7月28日(金)」※特別展「7月29日(土)」※特別展「7月30日(日)」※特別展「7月31日(月)」※特別展「8月1日(火)」※特別展「8月2日(水)」※特別展「8月3日(木)」※特別展「8月4日(金)」※特別展「8月5日(土)」※特別展「8月6日(日)」※特別展「8月7日(月)」※特別展「8月8日(火)」※特別展「8月9日(水)」※特別展「8月10日(木)」※特別展「8月11日(金)」※特別展「8月12日(土)」※特別展「8月13日(日)」※特別展「8月14日(月)」※特別展「8月15日(火)」※特別展「8月16日(水)」※特別展「8月17日(木)」※特別展「8月18日(金)」※特別展「8月19日(土)」※特別展「8月20日(日)」※特別展「8月21日(月)」※特別展「8月22日(火)」※特別展「8月23日(水)」※特別展「8月24日(木)」※特別展「8月25日(金)」※特別展「8月26日(土)」※特別展「8月27日(日)」※特別展「8月28日(月)」※特別展「8月29日(火)」※特別展「8月30日(水)」※特別展「8月31日(木)」※特別展「9月1日(金)」※特別展「9月2日(土)」※特別展「9月3日(日)」※特別展「9月4日(月)」※特別展「9月5日(火)」※特別展「9月6日(水)」※特別展「9月7日(木)」※特別展「9月8日(金)」※特別展「9月9日(土)」※特別展「9月10日(日)」※特別展「9月11日(月)」※特別展「9月12日(火)」※特別展「9月13日(水)」※特別展「9月14日(木)」※特別展「9月15日(金)」※特別展「9月16日(土)」※特別展「9月17日(日)」※特別展「9月18日(月)」※特別展「9月19日(火)」※特別展「9月20日(水)」※特別展「9月21日(木)」※特別展「9月22日(金)」※特別展「9月23日(土)」※特別展「9月24日(日)」※特別展「9月25日(月)」※特別展「9月26日(火)」※特別展「9月27日(水)」※特別展「9月28日(木)」※特別展「9月29日(金)」※特別展「9月30日(土)」※特別展「9月31日(日)」※特別展「10月1日(月)」※特別展「10月2日(火)」※特別展「10月3日(水)」※特別展「10月4日(木)」※特別展「10月5日(金)」※特別展「10月6日(土)」※特別展「10月7日(日)」※特別展「10月8日(月)」※特別展「10月9日(火)」※特別展「10月10日(水)」※特別展「10月11日(木)」※特別展「10月12日(金)」※特別展「10月13日(土)」※特別展「10月14日(日)」※特別展「10月15日(月)」※特別展「10月16日(火)」※特別展「10月17日(水)」※特別展「10月18日(木)」※特別展「10月19日(金)」※特別展「10月20日(土)」※特別展「10月21日(日)」※特別展「10月22日(月)」※特別展「10月23日(火)」※特別展「10月24日(水)」※特別展「10月25日(木)」※特別展「10月26日(金)」※特別展「10月27日(土)」※特別展「10月28日(日)」※特別展「10月29日(月)」※特別展「10月30日(火)」※特別展「10月31日(水)」※特別展「11月1日(木)」※特別展「11月2日(金)」※特別展「11月3日(土)」※特別展「11月4日(日)」※特別展「11月5日(月)」※特別展「11月6日(火)」※特別展「11月7日(水)」※特別展「11月8日(木)」※特別展「11月9日(金)」※特別展「11月10日(土)」※特別展「11月11日(日)」※特別展「11月12日(月)」※特別展「11月13日(火)」※特別展「11月14日(水)」※特別展「11月15日(木)」※特別展「11月16日(金)」※特別展「11月17日(土)」※特別展「11月18日(日)」※特別展「11月19日(月)」※特別展「11月20日(火)」※特別展「11月21日(水)」※特別展「11月22日(木)」※特別展「11月23日(金)」※特別展「11月24日(土)」※特別展「11月25日(日)」※特別展「11月26日(月)」※特別展「11月27日(火)」※特別展「11月28日(水)」※特別展「11月29日(木)」※特別展「11月30日(金)」※特別展「11月31日(土)」※特別展「12月1日(日)」※特別展「12月2日(月)」※特別展「12月3日(火)」※特別展「12月4日(水)」※特別展「12月5日(木)」※特別展「12月6日(金)」※特別展「12月7日(土)」※特別展「12月8日(日)」※特別展「12月9日(月)」※特別展「12月10日(火)」※特別展「12月11日(水)」※特別展「12月12日(木)」※特別展「12月13日(金)」※特別展「12月14日(土)」※特別展「12月15日(日)」※特別展「12月16日(月)」※特別展「12月17日(火)」※特別展「12月18日(水)」※特別展「12月19日(木)」※特別展「12月20日(金)」※特別展「12月21日(土)」※特別展「12月22日(日)」※特別展「12月23日(月)」※特別展「12月24日(火)」※特別展「12月25日(水)」※特別展「12月26日(木)」※特別展「12月27日(金)」※特別展「12月28日(土)」※特別展「12月29日(日)」※特別展「12月30日(月)」※特別展「12月31日(火)」

ポスター

THE PEOPLE by KISHIN 篠山紀信 写真力



図録

今度はあなたが被写体に！～記念写真撮影会

講師／日時＝宮本昌幸氏(カメラマン)／5月7日(出)
午前10時～午後5時
箕浦伸雄氏(カメラマン)／6月12日(日)
午前10時～午後5時
会場＝当館ロビー及び外周(5月7日)、当館講堂(6月12日)
参加料＝一組3,000円

キッズ・ミュージアム

「お絵かき(ヒ・ミ・ツ)」
日時＝5月21日(出) 午後1時30分～3時30分
会場＝当館講堂(託児無料)
主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

ミュージアム・コンサート

「佐々木源市ジャズライブ」
出演＝佐々木源市氏(ベース)、NANA氏(ピアノ)
日時＝5月27日(金) 午後6時30分～*(約40分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)
*当日は午後8時まで開館(展示室への入場は午後7時30
分まで)

夏目雅子の時代

ミニトーク＝高橋寿美雄氏(釧路相米慎二研究会会員、NPO学
芸美術研究所理事長)
参考上映＝魚影の群れ(監督＝相米慎二／出演＝緒形拳、夏目
雅子、佐藤浩市ほか／1983年／松竹富士／DVD135
分)
日時＝6月5日(日)、6月19日(日) 午後1時～3時30分
会場＝当館講堂(入場無料)
共催＝釧路相米慎二研究会

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)
日時＝6月18日(出) 午後2時～(約30分)
会場＝当館主展示室(要観覧券)

未来を担う10代のためのフォトコンテスト

「十勝の写真力～未来を見つめる視線の先に～」
応募期間＝4月15日(金)～5月22日(日)
展示期間＝5月31日(火)～6月26日(日)
展示会場＝当館ロビー(入場無料)
主催＝十勝毎日新聞社、篠山紀信展実行委員会
特別協力＝北海道高校文化連盟十勝支部写真専門部
協賛＝フォトプラザ910

イブニング・ポイントラリー

日時＝6月24日(金)～25日(土) 午後4時30分～6時30分
会場＝当館主展示室、ミュージアム・ショップ、ティー・ラ
ウンジ(要観覧券)

イブニング・ミニコンサート(お出迎え演奏)

出演＝和光憂人氏(ヴァイオリン、6月24日)
井上美代志氏(フルート、6月25日)
日時＝6月24日(金)、25日(土)
午後5時～、5時30分～、6時～(約10分)
会場＝当館ロビー(入場無料)

主要関連記事

「時代を超えた力 写真家 篠山紀信」十勝毎日新聞／1月1日
(金)
後藤繁雄(談)「『写真』とは何か問う」十勝毎日新聞／1月1日
(金)
「篠山紀信さん来帯へ 来月15日トークイベント300人招待」十
勝毎日新聞／3月2日(水)
「篠山紀信展 写真力」『Chai』4月号 Vol.277／十勝毎日新聞
社、3月29日(火)発行
大木祐介「篠山紀信展 16日開幕」十勝毎日新聞／4月9日(出)
池谷智仁「高さ3メートル超 巨匠の大作ずらり」十勝毎日新
聞／4月12日(火)
大木祐介「篠山紀信が見つめた時代 著名人撮り続け今も一線
5つのテーマ紡ぐ100点超」十勝毎日新聞／4月14日(水)
藤原乃里子(談)「壁一面飾り巨大…作品を“浴びる”」十勝毎日
新聞／4月14日(水)
大木祐介「篠山紀信展 開幕 時代切り取る112点／“本物感”
圧倒／見て感じて 篠山紀信さんトーク」十勝毎日新聞／4月
16日(出)
篠山紀信(談)、池谷智仁「写真本来の力 引き出したい」十勝
毎日新聞／4月17日(日)
戸張良彦(談)「管内写真家に聞く私の1枚 イメージ破った衝
撃作 黒柳徹子(1968年)」十勝毎日新聞／4月24日(日)
西島啓吾(談)「管内写真家に聞く私の1枚 被写体の尊厳を表
す 大友瑠斗(9)大友乃愛(7)名取市(2011年)」十勝毎日新聞
／4月25日(月)
平野美幸「かちまいこどもしんぶん 写真の持つ力を感じとる」
十勝毎日新聞／4月25日(月)
辻博希(談)「管内写真家に聞く私の1枚 完璧な美しさと時代
性 大原麗子(1988年)」十勝毎日新聞／4月26日(火)
「高校生が感じた写真力。『篠山紀信』『Chai』5月号 Vol.278
／十勝毎日新聞社、4月26日(火)発行
大井雪絵(談)「管内写真家に聞く私の1枚 表情から伝わる心
大相撲(1995年)」十勝毎日新聞／5月1日(日)
池田緑「編集余録 篠山紀信展」十勝毎日新聞／5月2日(月)
山下僚(談)「宙に舞うげたの非日常性 勝新太郎(1992年)」十
勝毎日新聞／5月2日(月)
藤原乃里子「おびひろミュージアム通信53 篠山紀信、写真力
と繊細さ」釧路新聞／5月9日(月)
吉良敦「編集余録 写真力」十勝毎日新聞／5月11日(水)
藤原乃里子「篠山紀信展 写真力④ 『男の死』異彩放つ緊迫
感」読売新聞(道内版 朝刊)／5月11日(水)
藤原乃里子「篠山紀信展 写真力⑤ 愛と悲しみ 瞬間と永遠」
読売新聞(道内版 朝刊)／5月12日(木)
藤原乃里子「篠山紀信展 写真力⑥ 胸に残る 被災者の眼差

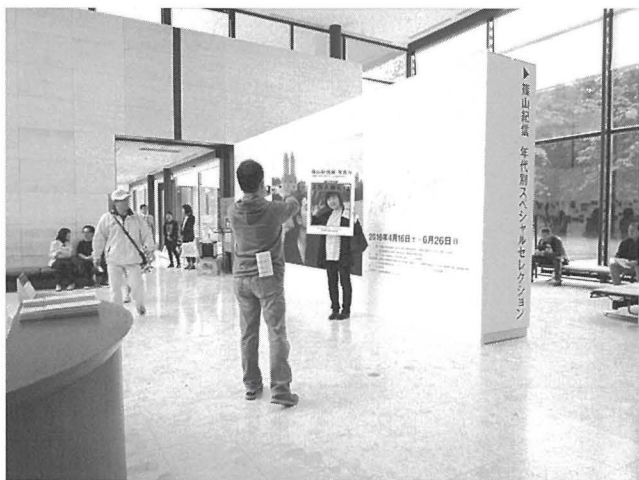
し」読売新聞(道内版 朝刊)／5月13日(金)
 池谷智仁、大木祐介「紀信展鑑賞ガイド好評 帯広美術館『作品の別面見つけて』」十勝毎日新聞／5月17日(火)
 「10代の写真コンテスト 篠山紀信展『人』テーマに作品募集」十勝毎日新聞／5月18日(水)
 藤原乃里子「紀信写真の魅力1 エネルギー放熱し合う輝き きんさんぎんさん(1999年)」十勝毎日新聞／5月20日(金)
 和多田進「東京日記(606)私の写真観成立の過程(IV)」十勝毎日新聞／5月21日(土)
 藤原乃里子「紀信写真の魅力2 表情が写す沖縄の歴史 満島ひかり(1997年)」十勝毎日新聞／5月21日(土)
 藤原乃里子「紀信写真の魅力3 夢の縁を広げるシノラマ 夢少女・後藤久美子(1988年)」十勝毎日新聞／5月22日(日)
 藤原乃里子「紀信写真の魅力4 一瞬を永遠に ウラジーミル・マラーホフ(1998年)」十勝毎日新聞／5月23日(月)
 篠山紀信(談)「写真にみなぎる力“体感”を」『Chai』6月号 Vol.279／十勝毎日新聞社、5月24日(火)発行
 藤原乃里子「紀信写真の魅力5 生への祈り 佐藤明美(44)気仙沼市(2011年)」十勝毎日新聞／5月24日(火)
 金谷信「編集余録 みずみずしさ」十勝毎日新聞／6月8日(水)
 黒田悟「女優夏目雅子 魅力に触れる」十勝毎日新聞／6月20日(月)
 吉田未来(談)「十勝の写真力④ 『鏡』雰囲気づくりに工夫」十勝毎日新聞／6月20日(月)
 馬場智寛(談)「十勝の写真力④ 『放課後』人物の良さを引き出す」十勝毎日新聞／6月21日(火)
 鎌田廉平(談)「十勝の写真力④ 『最後の遠足…。』イメージ通りの構図」十勝毎日新聞／6月22日(水)
 「1位は三島由紀夫 篠山紀信展 好きな作品はどれ？」十勝毎日新聞／6月23日(木)
 大木祐介「文化この一年④ 篠山紀信展 迫力の写真話題」十勝毎日新聞／12月28日(水)

篠山紀信(1940年～)は、50年以上にわたって写真の第一線を走り続ける日本の代表的写真家。時代を見越し、先駆けるその活動は常に話題をさらい、また賛否両論を巻き起こしてきた。「芸術か否かという問題の上に、写真はある」とする篠山は、写真の本領は様々なメディアを通して広く社会に浸透し、時空や虚実を超えて人々に力強く働きかけることにあるとの洞察のもと、多岐にわたるテーマで夥しい数の作品を世に送り出してきた。

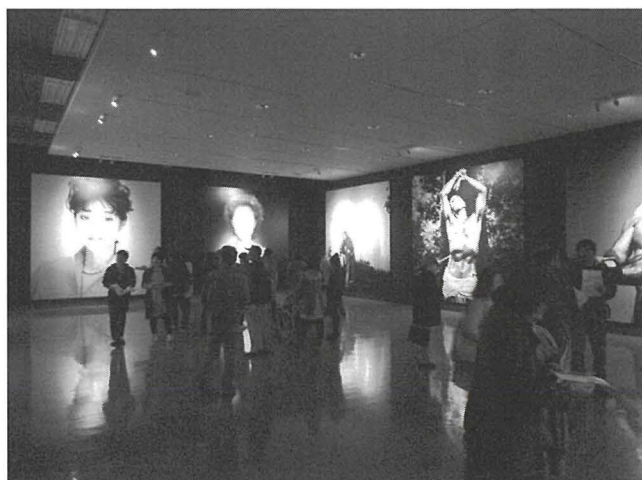
「写真力」をテーマとした本展では、篠山の代表作のうち「人間」を被写体とした写真に焦点をあて、1960年代後半から2014年までに撮影された112点を展示。「ジョン・レノン、オノ・ヨーコ」のポートレートをプロローグとして、以後「GOD—鬼籍に入られた人々」、「STAR—すべての人々に知られる有名人」、「SPECTACLE—私たちを異次元に連れ出す夢の世界」、「BODY—裸の肉体、美とエロスと闘い」、「ACCIDENTS—2011年3月11日、東日本大震災で被災された人々の肖像」の5つのセクションにより紹介した。

作品選定と展示計画にあたっては、展示設計担当の建築家を通じて作家と協議を重ね、美術館の広い空間と対峙するダイナミックでめりはりのある空間構成に努めた。あわせて教育普及を目的とした印刷物(鑑賞ガイド、ジュニアガイド)を作成。一巡目は解説を読まず作品と向き合った後、ガイドを読みながら再び一巡してもらう鑑賞方法を来場者に提案した。これにより、来場者の満足度と理解を深める一助とした。「体感」という企画意図から、展示室にはキャプションを一切掲示しなかった。

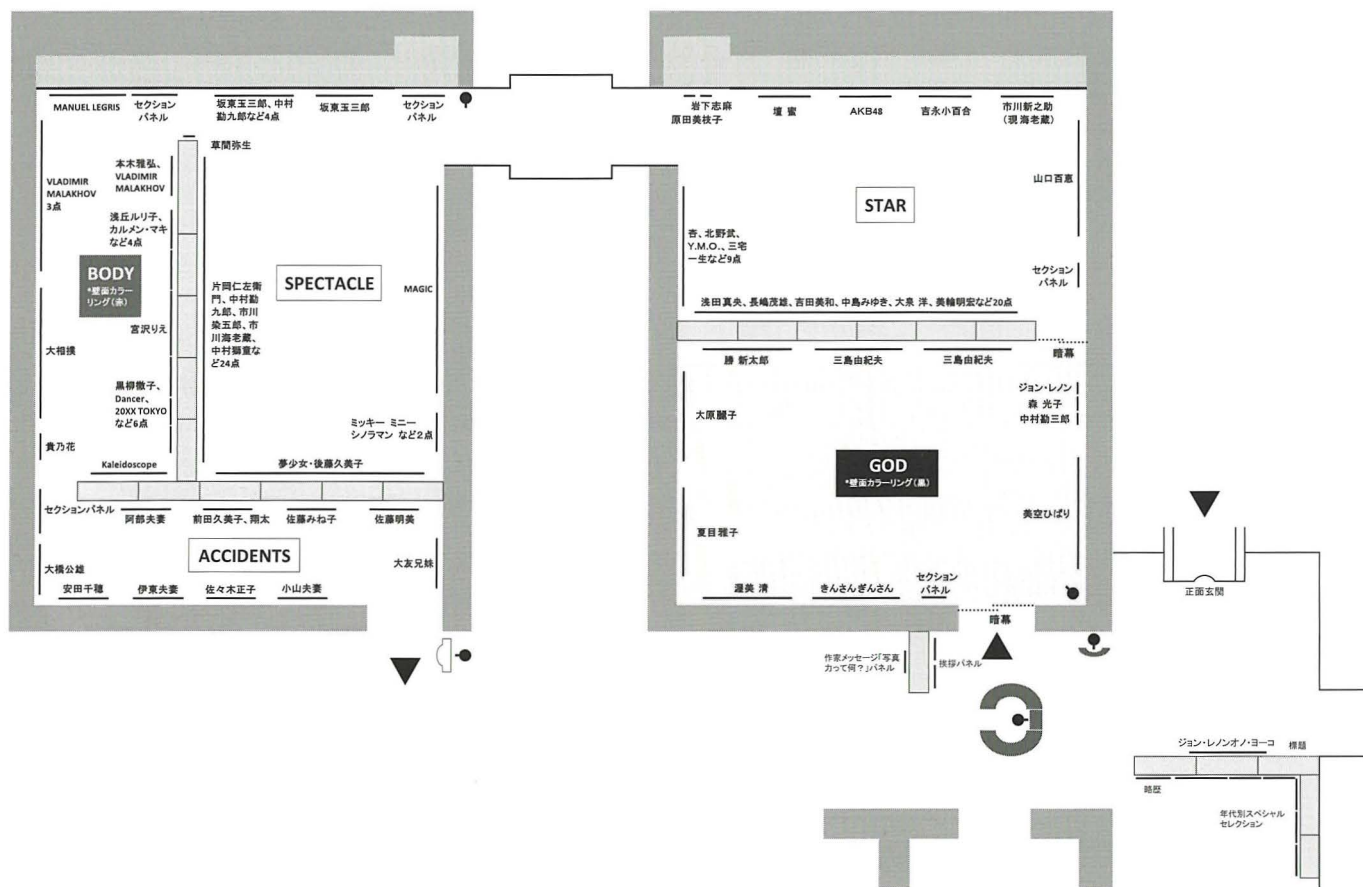
本展は2012年の巡回開始以来、全国22都市で60万人(当館での開幕当初)以上を集めてきたが、当館でも開館記念特別展に次ぐ多数の来場があり、25,870名を記録した。篠山作品の人気の高さはもとより、アーティスト・トークをはじめとした多彩な関連事業や、新聞紙面を活用した広告展開も功を奏したと考えられる。



会場風景／エントランス



会場風景／GOD



展示図面

エントランス

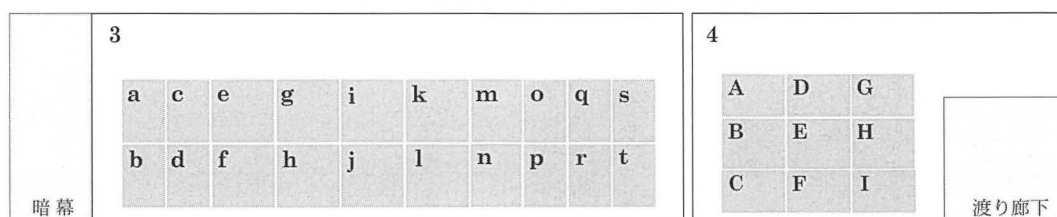


右：中村勘三郎『お祭り』鷹頭鶴松 2011年 / 中：森光子 2008年 / 左：ジョン・レノン 1980年

A horizontal timeline diagram showing the progression of Japanese idol groups. The timeline is divided into two main sections by a vertical line. The left section is labeled '2' and the right section is labeled '1'. The groups are represented by gray rectangular boxes with their names and debut years. From left to right, the groups are: 壇蜜 (2013), AKB48 (2010), 吉永小百合 (1988), 市川新之助 (現 海老蔵) (1999), and 山口百恵 (1977). A small 'STAR' logo is visible on the right side of the timeline.

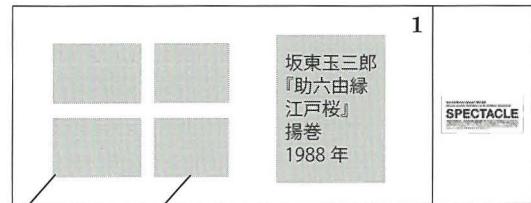
Group Name	Year
壇蜜	2013 年
AKB48	2010 年
吉永小百合	1988 年
市川新之助 (現 海老蔵)	1999 年
山口百恵	1977 年

左：原田美枝子 1977 年／右：岩下志麻 1976 年



- 43

SPECTACLE

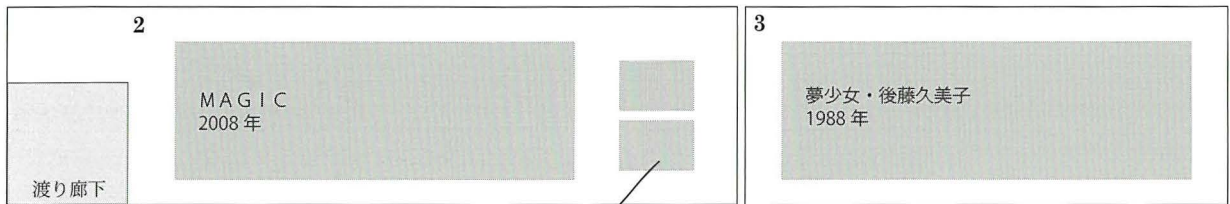


上：中村勘九郎 襲名披露口上姿 2011 年

下：中村扇雀 片岡亀蔵 片岡市蔵 中村勘三郎 中村七之助 坂東新悟 『口上』 2006 年

上：坂東玉三郎 『壇浦兜軍記 阿古屋』 阿古屋 2000 年

下：坂東玉三郎 『籠釣瓶花街酔醒』 八ッ橋 1999 年



上：ミッキー ミニー シノラマン 2008 年 下：ミッキー ミニー ドナルド デイジー プルート 2008 年

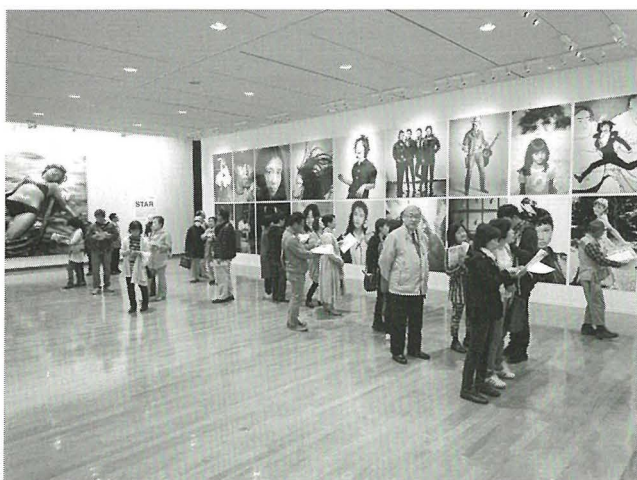


草間彌生 2004 年

通路

- ア. 片岡仁左衛門 『菅原伝授手習鑑 道明寺』 菅丞相 2006 年
イ. 尾上菊之助 『籠釣瓶花街酔醒』 兵庫屋八ッ橋 2012 年
ウ. 中村獅童 『雨の五郎』 曾我五郎時致 2005 年
エ. 中村七之助 『於染久松色読販』 土手のお六 2012 年
オ. 市川染五郎 『碁盤忠信』 佐藤四郎兵衛忠信 2011 年
カ. 市川海老蔵 『助六由縁江戸桜』 花川戸助六実 曾我五郎 2010 年
キ. 市川海老蔵 『勸進帳』 富樫左衛門 2011 年
ク. 中村勘太郎 (現 勘九郎) 『積恋雪関扉』 関守関兵衛実 大伴黒主 2011 年
ケ. 中村獅童 『船辨慶』 武蔵坊弁慶 2005 年
コ. 中村七之助 『祇園祭礼信仰記』 雪姫 2009 年
サ. 中村橋之助 『寿曾我対面』 曾我五郎時致 2012 年
シ. 中村獅童 『祇園祭礼信仰記』 松永大膳 2008 年

- ス. 中村七之助 『於染久松色読販』 お光 2012 年
セ. 中村又五郎 『菅原伝授手習鑑 車引』 梅王丸 2011 年
ソ. 市川海老蔵 『船弁慶』 平知盛の霊 2007 年
タ. 中村獅童 『寿曾我対面』 小林朝比奈 2012 年
チ. 尾上菊之助 『京鹿子娘道成寺』 白拍子花子 2011 年
ツ. 中村勘九郎 『土蜘蛛』 僧智壽実 土蜘蛛の精 2012 年
テ. 中村勘九郎 『春興鏡獅子』 小姓弥生後に獅子の精 2012 年
ト. 市川海老蔵 『暫』 鎌倉権五郎景政 2009 年
ナ. 中村獅童 『雨の五郎』 曾我五郎時致 2005 年
ニ. 中村獅童 『仮名手本忠臣蔵』 斧定九郎 2006 年
ヌ. 片岡仁左衛門 『菅原伝授手習鑑 寺子屋』 松王丸 2008 年
ネ. 片岡仁左衛門 『絵本合法術』 立場の太平次 2011 年

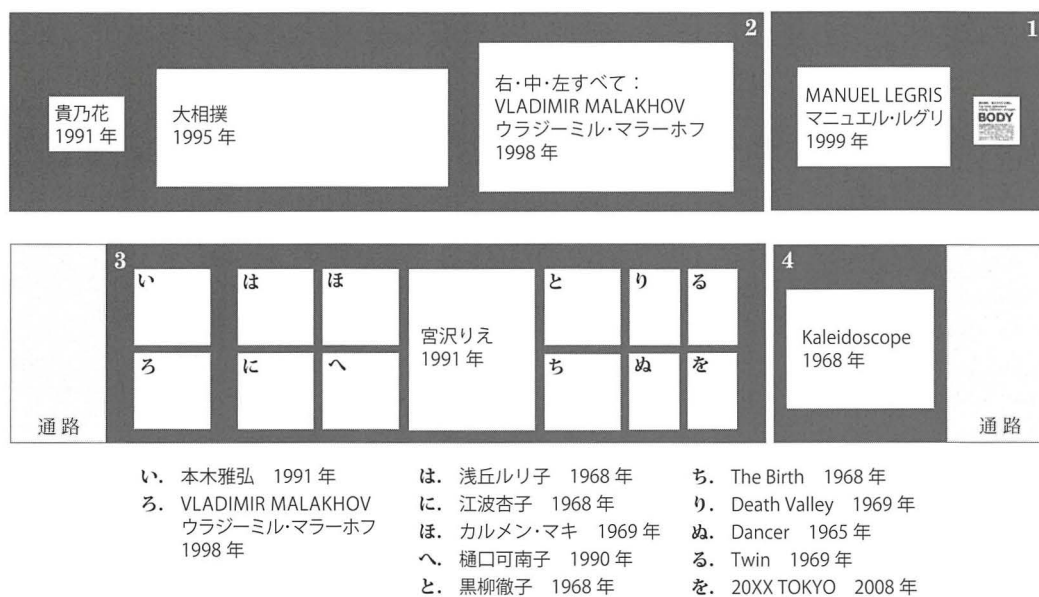


会場風景/STAR



会場風景/SPECTACLE

BODY



ACCIDENTS



会場風景／BODY



会場風景／ACCIDENTS

開館25周年記念

歌麿とその時代 黄金期の浮世絵 美人画と役者絵

会期＝平成28年 7月6日(水)－8月21日(日) 41日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝帯広美術館振興会

協賛＝帯広信用金庫、(株)北洋防災工業所

監修＝中右瑛(国際浮世絵学会常任理事)

企画協力＝E.M.I.ネットワーク

観覧料＝一般920(700)円、高大生610(400)円、小中生300(200)円

小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

デモンストレーション&トーク

「摺りの実演―浮世絵版画が出来るまで」

講師＝三田村 努氏(江戸伝承浮世絵手摺木版画摺師)

日時＝7月16日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「海のなかまたち」

日時＝7月23日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝7月30日(土)、8月13日(土) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝8月6日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ロビー茶屋

日時＝会期中毎週日曜日 午前11時～午後3時

場所＝当館ロビー

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

関連コーナー

「もっと浮世絵を楽しもう！」

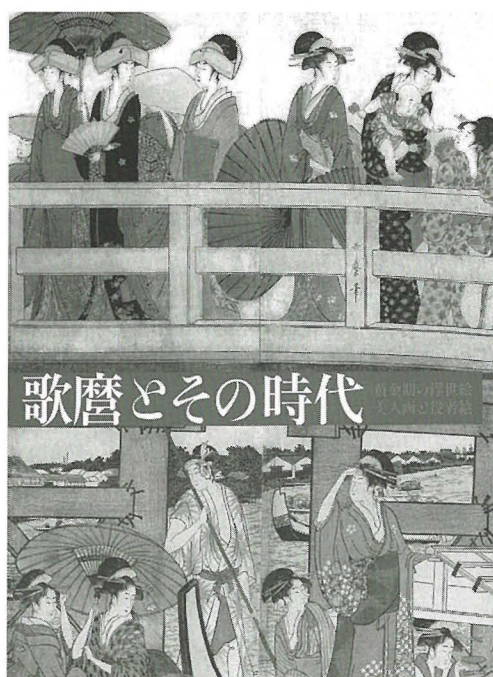
体験！江戸の遊び術／浮世絵美人と記念撮影／きみならどう塗る？ぬりえに挑戦！／浮世絵版画が出来るまで

日時＝展覧会会期中

会場＝当館主展示室(要観覧券)



ポスター



図録

図録

規格=29.7×22.5cm／総頁数136ページ

構成=ごあいさつ／中右瑛「歌麿とその時代」／作品図版／浮世絵年譜／絵師略歴／作品目録／錦絵の制作工程／錦絵の判型について

関連記事

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信54 浮世絵美人に会いにきて」釧路新聞／6月27日(月)

稲塚寛子「とかちフォトギャラリー 浮世絵黄金期の135点」北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／7月28日(木)

江戸時代、町人文化が賑わっていた天明・寛政期(1781～1801)は、華やかな色彩と斬新な構図の錦絵が次々と生み出された浮世絵の黄金期である。美人画では鳥居清長、鳥文斎栄之、喜多

川歌麿らが、役者絵では勝川春章、東洲斎写楽、歌川豊国らが活躍し、数々の名作が誕生した。

特に歌麿は、この時代を代表する浮世絵師の一人である。遊女や市井の女性を取り上げ、表情や仕草を繊細な表現で描いた美人画は、女性の内面までも描き出すかのようであり、今日でも高い評価を受けている。

本展では、肉筆画20点を含む135点の作品によって、歌麿とその弟子達の作品を中心に美人画の流れを辿るとともに、写楽や勝川派、歌川派による役者絵を紹介した。

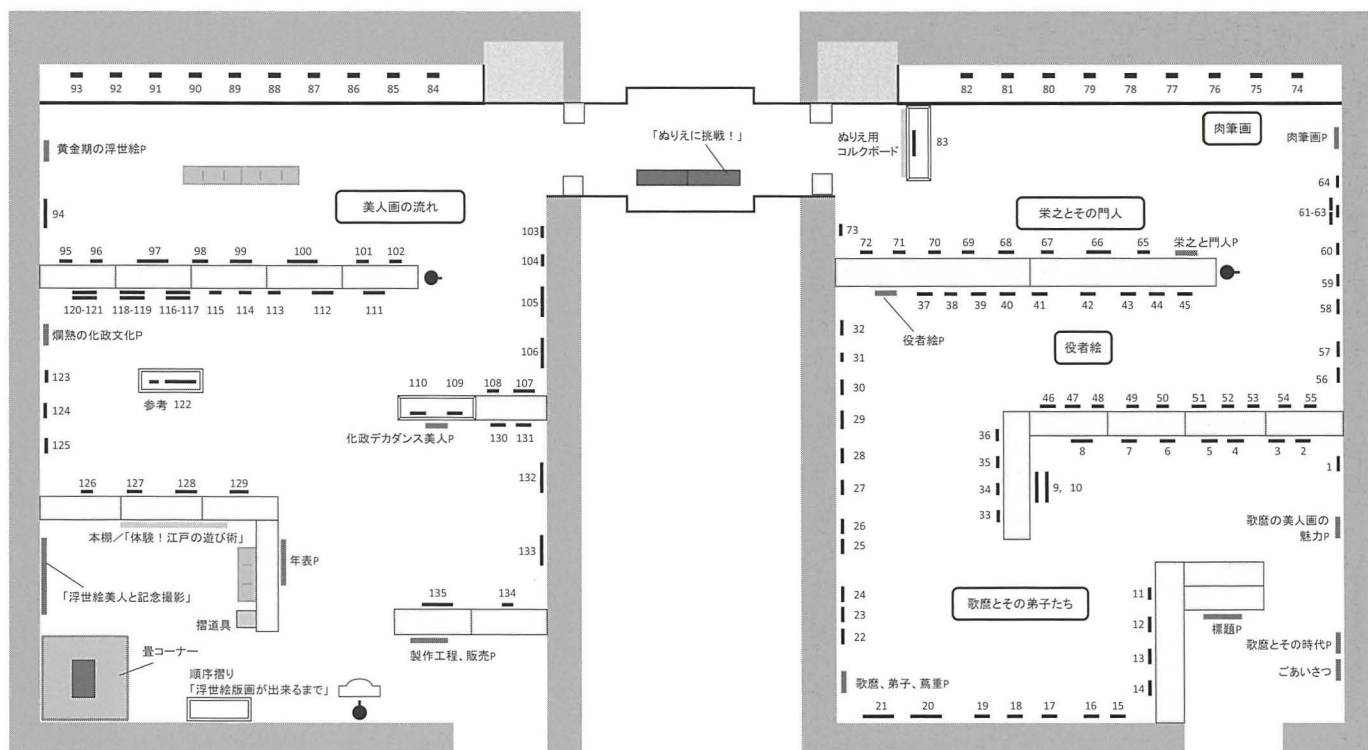
今回は、ぬりえや記念撮影コーナー等を用意したほか、関連事業の講師を依頼した三田村努氏(江戸伝承浮世絵手摺木版画摺師)の協力を得て、浮世絵版画の順序摺りや摺り道具を展示するなど、様々なかたちで浮世絵に親しんでもらうことを試みた。また、とりわけ学校団体での利用が目立った。入場者数は5,878人。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	形状
■歌麿とその弟子たち				
1	喜多川歌麿	青楼三美人	寛政4-5頃	錦絵大判
2	喜多川歌麿	青楼十二時 寅ノ刻	寛政5-7頃	錦絵大判
3	喜多川歌麿	青楼十二時 亥ノ刻	寛政5-7頃	錦絵大判
4	喜多川歌麿	高名美人見立忠臣蔵 十二枚つづき初段	寛政6	錦絵大判
5	喜多川歌麿	高名美人見立忠臣蔵 十一段	寛政6頃	錦絵大判
6	喜多川歌麿	松葉楼粧ひ 実を通す風情	寛政11頃	錦絵大判 雲母摺
7	喜多川歌麿	娘日時計 巳ノ刻	寛政6-8頃	錦絵大判
8	喜多川歌麿	雪中劉備、孔明を訪れる関羽と張飛	天明後期-寛政前期	錦絵間判二枚続
9	喜多川歌麿	両国橋 橋上の女たち	寛政7-8頃	錦絵大判三枚続
10	喜多川歌麿	両国橋 船あそびの女たち	寛政7-8頃	錦絵大判三枚続
11	喜多川歌麿	雪の橋場	不詳	長絵
12	喜多川歌麿	婦人手業拾二工 手毬つくり	寛政9頃	錦絵大判
13	喜多川歌麿	風流愛興競 お千代 半兵衛	不詳	錦絵大判
14	喜多川歌麿	名所腰掛八景 ギヤマン	寛政中期	錦絵大判
15	喜多川歌麿	山姥と金太郎	寛政後期-享和期	錦絵大判
16	喜多川歌麿	栗を持つ山姥	寛政後期-享和期	長絵
17	喜多川歌麿	当世好物八景 さわき好	享和2-3頃	錦絵大判
18	喜多川歌麿	教訓親の目鑑 ぐうたら兵衛	享和2	錦絵大判
19	喜多川歌麿	美人五面相 実があり相	享和期	錦絵大判
20	喜多川歌麿	太閤五妻洛東遊観之図	文化元	錦絵大判三枚続
21	喜多川歌麿	御所車美人行列の図	文化元-2頃	錦絵大判三枚続
22	二代喜多川歌麿	其姿同じ舞風流・助六伊久の図	文化3-4頃	錦絵大判
23	二代喜多川歌麿	玉屋内花紫	文化期	錦絵間判
24	二代喜多川歌麿	福遊小宝合	文化期	錦絵大判
25	喜多川秀麿	高名金花池	享和-文化期	錦絵大判
26	喜多川秀麿	風俗十二時 巳ノ刻	享和-文化期	錦絵大判
27	喜多川月麿	芸尽し見立宝船	文化元-文政13頃	錦絵大判
28	喜多川菊麿	三味線芸者	文化期頃	団扇絵
29	二代喜多川歌麿、歌川国貞、喜多川月麿	三美人の図	不詳	摺物横長判
30	喜多川式麿	今容女歌仙 扇屋内花扇	文化10頃	錦絵大判
31	晩器	五郎時宗とけはい坂少将	享和-文化期	柱絵
32	石上	金絲縫当世鹿子 おなつ 清十郎	不詳	錦絵間判
33	文浪	若衆虚無僧と娘	享和期	錦絵間判
34	白峨	青楼美人花合 丁子屋内唐琴	不詳	錦絵間判
35	百斎久信	七福対春の寿 よみぞめ	不詳	錦絵大判
36	千万	吉原俄	文化前期	錦絵大判
■役者絵				
37	勝川春章	四世岩井半四郎の揚巻と二世市川八百蔵の助六	安永5頃	錦絵大判
38	勝川春章	初世中村仲蔵の清玄	安永6	錦絵細判
39	勝川春章	初世中村仲蔵の鎮西八郎為朝と五世市川団十郎の弥平兵衛宗清	安永9	錦絵間判
40	勝川春章	尾上小三郎 坂東三津五郎	明和7-天明朝	錦絵中判
41	勝川春章	役者絵	明和7-天明朝	錦絵細判
42	鳥居清長	出語り図 四世松本幸四郎の浮田左金吾と三世沢村宗十郎の高尾の幽鬼	天明8	錦絵大判
43	一筆斎文調	二世市川高麗蔵	明和後期-安永前期	錦絵細判
44	春水	役者絵	天明朝頃	錦絵細判
45	東花堂線橋	坂東三津五郎	不詳	錦絵細判
46	勝川春好	市江 四世市川団蔵の暫	明和後期-天明朝	錦絵細判
47	勝川春好	初世尾上松助 三世市川八百蔵 五世市川団十郎	天明前期	錦絵細判三枚続
48	勝川春好	四世岩井半四郎	安永9頃	錦絵間判
49	勝川春英	四世岩井半四郎 大和屋杜若	不詳	錦絵細判
50	勝川春山	三世市川八百蔵の道成寺	天明後期	錦絵細判
51	勝川春泉	四世松本幸四郎	天明後期-寛政前期	錦絵細判
52	勝川春艶	三世市川高麗蔵 初世中山富三郎 八世森田勘弥	寛政6頃	団扇絵
53	喜多川歌麿	役者絵	不詳	錦絵細判
54	無款	役者絵	不詳	団扇絵
55	叢 豊丸	市川白猿 大友の黒主	寛政12	錦絵細判

No.	作家名	作品名	制作年	形状
56	東洲斎写楽	中島和田右衛門のぼうだら長左衛門と中村此蔵の船宿かな川やの権	寛政6	錦絵大判
57	東洲斎写楽	二世市川門之助 伊達の与作	寛政6	錦絵大判
58	歌川豊国	役者舞台之姿絵 はま村や	寛政6	錦絵大判
59	歌川豊国	三世坂東彦三郎の菅丞相と七世片岡仁左衛門の白太夫	寛政8	錦絵大判
60	歌川国政	見立役者浄瑠璃狂言 おはん 長右衛門	不詳	錦絵間判
61	歌川豊国	市川団十郎の助六	不詳	団扇絵
62	歌川豊国	松本幸四郎の伊久	不詳	団扇絵
63	歌川豊国	岩井半四郎の揚巻	不詳	団扇絵
64	歌川国貞	岩井半四郎の白井権八	文化期以降	団扇絵
■栄之とその門人				
65	鳥文斎栄之	青楼美撰合 初買座敷之図 扇屋内瀧川	寛政8-9頃	錦絵大判 雲母摺
66	鳥文斎栄之	まつもとと楼料亭内	寛政3-4頃	錦絵大判三枚続
67	鳥高斎栄昌	吉原俄	寛政6-9頃	錦絵大判
68	栄鳥	青楼美人合 五明楼文越	寛政期	錦絵大判 雲母摺
69	一楽亭栄水	松葉屋内 瀬川	寛政後期	錦絵大判
70	五郷	あふき屋内美人	天明7-寛政2	錦絵大判 紅嫌い
71	鳥嘯斎栄寿	大黒天打出の小槌とおいらん	寛政後期	錦絵大判
72	鳥園斎栄深	鷹匠	寛政-文化期	錦絵大判
73	礫川亭永理	権八 小紫	寛政後期	錦絵大判 雲母摺
■肉筆画				
74	鳥文斎栄之	小野小町雨乞	寛政後期以降	絹本
75	鳥玉斎栄京	朝妻船	不詳	絹本
76	喜多川月麿	三味線芸者	文化元-文政13頃	絹本
77	喜多川雪麿	恵比寿見立	不詳	紙本
78	喜多川雪麿	大黒見立	不詳	紙本
79	喜多川藤麿	見立六歌仙	享和-文化期頃	絹本
80	二代喜多川歌麿	花魁	文化3-文政期頃	絹本
81	喜多川式麿	福祿寿と遊女	不詳	絹本
82	宮川春水	花魁	不詳	紙本
83	酔夢亭蕉鹿	桜下太夫道行	不詳	絹本
84	千嶺	蚊帳美人	文化9	絹本



6 喜多川歌麿「松葉楼粧ひ 実を通す風情」



57 東洲斎写楽「二世市川門之助 伊達の与作」



79 喜多川藤麿「見立六歌仙」

No.	作家名	作品名	制作年	形状
85	無款	花魁道中	不詳	紙本
86	菊川英山	立美人	不詳	紙本
87	窪 俊満	蛩を追う二美人	不詳	絹本
88	歌川豊国	桜上上臈詠歌の図	不詳	絹本
89	勝川春暁	岡場所の女	不詳	絹本
90	春川五七	立美人	文化-天保2頃	紙本
91	歌川国久	雪の中の芸者	享和-文化期頃	絹本
92	歌川国直	亀井戸天神太鼓橋	文化-天保期頃	絹本
93	月斎歌政	雪の橋上美人	文政期頃	絹本

■美人画の流れ

－黄金期の浮世絵 天明・寛政期を中心として

94	鳥居清長	隅田川船遊び	天明期	錦絵大判三枚続
95	鳥居清長	四季八景 長夏夕照	安永8頃	錦絵中判
96	鳥居清長	当世遊里美人合 辰巳艶	天明2-4	錦絵大判
97	窪 俊満	料亭夜の景 堀の内外	天明後期	錦絵大判三枚続 紅嫌い
98	栄松斎長喜	座敷の大童山文五郎	寛政3-7頃	錦絵大判二枚続
99	闇牛斎円志	隅田川料亭図	安永-寛政期	錦絵大判三枚続
100	勝川春潮	見立妹背山 桜満開二階座敷ノ図	天明後期-寛政前期	錦絵大判三枚続
101	勝川春潮	七小町草紙洗小町見立	不詳	錦絵中判
102	勝川春洞	千話鏡月の村雲 糸屋妹小いと佐七 姉おふさ	寛政-文化期	錦絵大判
103	歌川豊国	初花月若菜摘の図	不詳	錦絵間判
104	歌川豊国	歌川十二景 三月	寛政11-12頃	錦絵間判
105	歌川豊国	品川料亭の図	不詳	錦絵大判三枚続
106	歌川豊国・歌川国満	鞍馬山見立花合戦 牛若丸	享和期	錦絵大判三枚続
107	歌川豊広	拳遊びの二美人	不詳	錦絵大判二枚続
108	歌川豊広	雪の手水鉢	寛政-享和期頃	錦絵間判
109	歌川豊国	御高祖頭巾の女	不詳	掛物絵
110	菊川英山	手水鉢の母子	文化中期	掛物絵
111	勝川春英・歌川豊国 他	風俗図	不詳	摺物横長判
112	彫工亭俊正	風俗図	不詳	摺物横長判
113	吐雲	四季之句合	不詳	錦絵中判
114	北尾政演	金澤八景 洲崎の晴嵐	安永9頃	錦絵中判
115	北尾政演	当世艶風拾形図	天明2頃	錦絵中判
116	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
117	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
118	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
119	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
120	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
121	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
122	北尾政演	吉原傾城新美人合自筆鏡	天明4	摺絵本
参考		表紙「吉原傾城新美人合自筆鏡」	天明4刊行	

■美人画の流れ

－爛熟の化政文化 文化・文政期を中心として

123	菱川柳谷	風流和歌三夕	文化5頃	錦絵大判
124	勝川春扇	雪中内儀	不詳	掛物絵
125	勝川春暁	若松屋内 緑木	文化9頃	錦絵大判
126	歌川豊清	今やう美人娘あわせ	文化後期	錦絵大判
127	菊川英山	風流女六歌仙 小野小町	不詳	錦絵大判
128	菊川英山	風流南驛汐干 品川料亭の図	不詳	錦絵大判三枚続
129	葛飾北斎	春の行楽	不詳	摺物横長判
130	溪斎英泉	美艶仙女香 潮くさき美人やふねの朝霞	文政6	錦絵大判
131	溪斎英泉	浮世風俗美女競	文政7頃	錦絵大判
132	歌川国貞	はたる狩り	文化後期-文政前期	錦絵大判三枚続
133	歌川国芳	梅の魁	文政期以降	錦絵大判三枚続
134	歌川広重	雪月花夜の眺 隅田堤閣の桜	天保2-安政5	団扇絵
135	歌川広重	東都名所 両国夕すずみ	天保2-安政5	錦絵大判三枚続

* 作品はすべて中右瑛氏蔵。

関連記事

池田緑「編集余録 帯広美術館物語」十勝毎日新聞／8月26日(金)
藤原乃里子「帯広美術館物語」『アルテピア』第69号／一般社団法人北海道美術館協会／9月発行

大木祐介「25周年の感謝込め 帯広美術館、1日から特別展」十勝毎日新聞／8月30日(火)

稲塚寛子「歩みたどる多彩な作品 帯広美術館25周年記念展」北海道新聞(帯広・十勝版 夕刊)／9月6日(火)

稲塚寛子「とかちフォトギャラリー 十勝や世界の秀作一堂に」北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／9月8日(水)

金谷信「編集余録 ポスター」十勝毎日新聞／9月15日(木)

藤原乃里子「帯広美術館物語 名品でたどる25年(1)『落穂ひろい』ジャン＝フランソワ・ミレー」十勝毎日新聞／9月22日(木)

金谷信「25日まで開館記念ポイントラリー」十勝毎日新聞／9月23日(金)

藤原乃里子「帯広美術館物語 名品でたどる25年(2)『エグランティエヌ嬢一座』アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック」十勝毎日新聞／9月23日(金)

藤原乃里子「帯広美術館物語 名品でたどる25年(3)『疎林初秋』能勢眞美」十勝毎日新聞／9月25日(日)

池田緑「北海道立帯広美術館開館25周年の節目に」『美術ペン』149号／北海道美術ペンクラブ／9月26日(月)発行

藤原乃里子「帯広美術館物語 名品でたどる25年(4)『ゆれるかげ』秋岡美帆」十勝毎日新聞／9月26日(月)

藤原乃里子「おびひろミュージアム通信55 会に行ける踊り子たち」釧路新聞／9月26日(月)

藤原乃里子「帯広美術館物語 名品でたどる25年(5)『丘の上の感動美術館』田中耕三」十勝毎日新聞／9月27日(火)

金谷信「美術館の歩み振り返る 松井さんトークイベント」十勝毎日新聞／10月6日(水)

松井由孝(談)、金谷信「市民で育て次世代に 帯広美術館の歩み回顧」十勝毎日新聞／10月19日(水)

開館25周年記念展の第2弾である本展では、帯広市への道立美術館誘致運動以来、地域の人々の熱い思いを原点に活動が続けてきた当館の歩みを、コレクションの代表作と当館のこれまでのポスターとともに振り返る機会とした。

また、当館コレクションのうち42点は、1988～1991年にかけて帯広美術館建設協力会が行った募金活動を通じ、市民から集め

られた5,000万円以上の資金で購入され、当館に寄贈されたものであり、また帯広市より寄託されているバルビゾン派の6点は、誘致活動で生まれた資金によって帯広市に寄贈され、当館開館とともに寄託されたものである。いわば市民のコレクションとも言えるこうした作品群を核として充実をみせてきた当館コレクションの現況を、改めて市民の方々にみていただく機会とした。

構成は「田中耕三ポスターグラフィティ1991-2015」、「西洋の美術—バルビゾン派を中心に」、「プリントアート—ヨーロッパのポスター芸術」、「道東の美術—十勝の先駆者たち／道東の版画」、「プリントアート—現代の多様な表現」の5つのセクションによった。最初のセクションでは当館開館以来、印刷物のデザインを手がけ、2016年3月に他界したグラフィック・デザイナー田中耕三による当館ポスターのなかから50点を選び、年代順に展示。展覧会活動の歩みとともに、田中のデザイン活動の軌跡を回顧した。

2つめ以降のセクションでは、当館コレクションの収集方針(道東の美術、プリントアート、西洋の美術)における代表作とともに、コレクションと市民とのゆかりや当館活動の独自性を物語る作品を合間に挟み、コラムとともに紹介した。コラムは『「寄贈者は全十勝の住民となる」—ミレーとバルビゾン派の森の画家たち展』、「美術館に絵を贈る—建設協力会・振興会・しらかばの会」、「ミレー『落穂ひろい』—主題の背景」、「なぜ、レンブラント?—『西洋の美術』コレクションとオランダ絵画」、「ロートレックと日本、ロートレックと帯広」、「市民とのコラボレーションと『オビヒロ・マトリックス1991』」、「『現代日本美術展』の作家たち」、「『パサディナ・ボックス』—イマジネーションをひらく箱」の8つとした。

広報印刷物の作成にあたっては、通常のポスターに加え、型抜きの優待割引券付きミニチラシを作成し、周年展への機運を高めるきっかけとした。また会期中には、当館の誘致活動に帯広市文化課職員として関わった松井由孝氏を迎えスペシャル・ギャラリートークを開催した。後日、新聞紙面にも内容の抜粋が再録され、これをきっかけに広く市民方に当館活動への関心を抱いてもらう機会とすることができた。

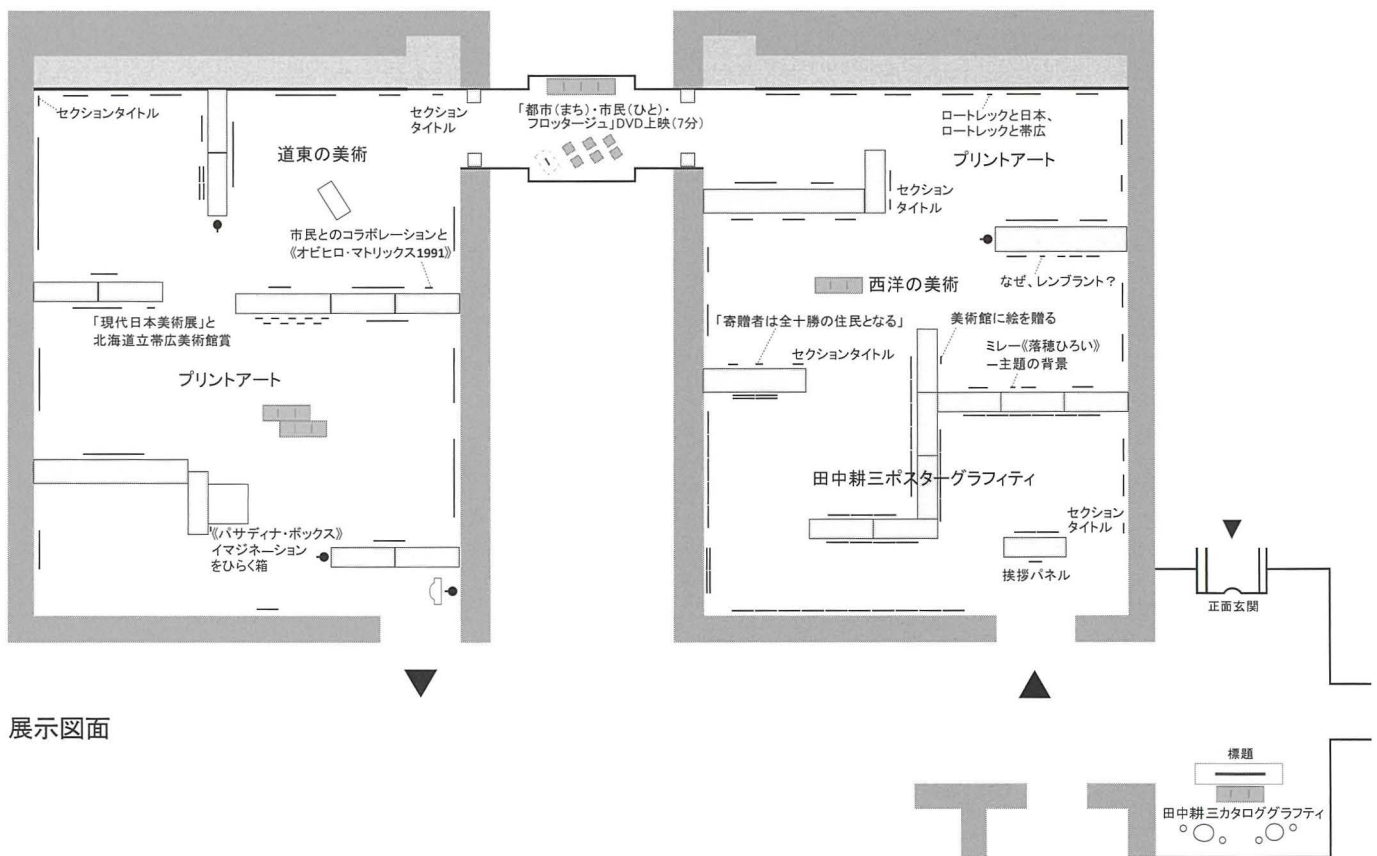
会期中には3,100人余りの来場があった。当館所蔵品による展覧会としては多く、特に開館当初からのリピーターや誘致活動、建設協力活動に関わった方々の来場がみられた。一方で、新たな来館者層の掘り起こしや鑑賞者の育成など、市民との関わりという視点からの課題もみえる契機となった。当館の歩みについても今後、調査研究を継続してゆきたい。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作品名／展覧会名	展覧会会期	制作年	種別	寸法 (cm)
■田中耕三ポスターグラフィティ 1991～2015					
1	丘の上の感動美術館（北海道立帯広美術館ポスター）	—	1991（平成3）	ポスター	B2判縦
2	9. 22 OPEN（北海道立帯広美術館開館告知ポスター）	—	1991（平成3）	ポスター	B2判縦
3	江戸のプリントアート展	1991（平成3）年11月9日～12月22日	1991（平成3）	ポスター	B2判縦
4	アルフォンス・ミュシャ展	1992（平成4）年2月16日～3月26日	1991（平成3）	ポスター	B2判縦
5	矢柳剛の40年	1992（平成4）年5月16日～6月28日	1992（平成4）	ポスター	B2判縦
6	今日のアメリカ写真展	1993（平成5）年11月13日～12月19日	1993（平成5）	ポスター	B2判縦
7	ヴィクトル・ヴァザリリ展	1994（平成6）年1月5日～2月13日	1993（平成5）	ポスター	B2判縦
8	葛飾北斎展	1994（平成6）年4月29日～5月29日	1994（平成6）	ポスター	B2判縦
9	特別展＝歌川国貞	1995（平成7）年4月15日～5月14日	1995（平成7）	ポスター	B2判縦
10	ビュッフェ展	1995（平成7）年10月17日～11月26日	1995（平成7）	ポスター	B2判縦
11	能勢眞美展	1996（平成8）年4月9日～6月2日	1996（平成8）	ポスター	B2判縦
12	富士美術館名品展	1996（平成8）年10月8日～11月17日	1996（平成8）	ポスター	B2判縦
13	語る身体（からだ）・10人のアプローチ	1996（平成8）年12月7日～97（平成9）年1月12日	1996（平成8）	ポスター	B2判縦
14	浮世絵の中の美人（おんな）たち	1997（平成9）年9月15日～10月16日	1997（平成9）	ポスター	B2判縦
15	現代日本画名品展	1998（平成10）年7月31日～8月26日	1998（平成10）	ポスター	B2判縦
16	魅惑のガラス芸術	1999（平成11）年4月9日～5月12日	1999（平成11）	ポスター	B2判縦
17	グラフィック・デザインのモダニズム	2000（平成12）年6月23日～8月9日	2000（平成12）	ポスター	B2判縦
18	伽井丹彌展	2000（平成12）年8月18日～11月29日	2000（平成12）	ポスター	B2判縦
19	美術はなにを記録してきたか	2000（平成12）年10月6日～11月29日	2000（平成12）	ポスター	B2判縦
20	孔版画（シルクスクリーン）の世界	2001（平成13）年4月6日～6月17日	2001（平成13）	ポスター	B2判縦
21	多賀新展	2001（平成13）年6月23日～9月5日	2001（平成13）	ポスター	B2判縦
22	ジュール・シェレ	2001（平成13）年9月14日～12月12日	2001（平成13）	ポスター	B2判縦
23	岡本太郎と縄文	2002（平成14）年5月24日～7月3日	2002（平成14）	ポスター	B2判縦
24	ニルス＝ウダ展〈自然へ〉	2002（平成14）年7月12日～9月16日	2002（平成14）	ポスター	B2判縦
25	池田緑展	2002（平成14）年7月12日～9月16日	2002（平成14）	ポスター	B2判縦
26	絵本原画の世界展	2003（平成15）年1月31日～3月26日	2002（平成14）	ポスター	B2判縦
27	ヴェネツィアの光と影	2003（平成15）年5月30日～8月5日	2003（平成15）	ポスター	B2判縦
28	渋谷栄一展	2003（平成15）年8月15日～11月12日	2003（平成15）	ポスター	B2判縦
29	半谷学展	2004（平成16）年10月22日～05（平成17）年1月23日	2004（平成16）	ポスター	B2判縦

No.	作品名／展覧会名	展覧会会期	制作年	種別	寸法 (cm)
30	ひとのかたち	2005 (平成17) 年7月12日～9月4日	2005 (平成17)	ポスター	B2判縦
31	富谷智展	2005 (平成17) 年9月16日～12月25日	2005 (平成17)	ポスター	B2判縦
32	HOKKAIDO—こころの風景	2006 (平成18) 年4月1日～7月6日	2006 (平成18)	ポスター	B2判縦
33	近藤みどり展	2006 (平成18) 年9月8日～07 (平成19) 年1月8日	2006 (平成18)	ポスター	B2判縦
34	梅田マサノリ展	2007 (平成19) 年8月10日～11月14日	2007 (平成19)	ポスター	B2判縦
35	アートな動物園	2007 (平成19) 年11月22日～08 (平成20) 年3月26日	2007 (平成19)	ポスター	B2判縦
36	オビビ創作アトリエ	2008 (平成20) 年11月21日～09 (平成21) 年3月25日	2008 (平成20)	ポスター	B2判縦
37	絵画と写真の交差 印象派誕生の軌跡	2009 (平成21) 年1月30日～3月25日	2008 (平成20)	ポスター	B2判縦
38	ぶらり江戸めぐり／浮世風俗	2009 (平成21) 年5月15日～7月5日	2009 (平成21)	ポスター	B2判縦
39	旅のイメージ	2010 (平成22) 年4月16日～6月9日	2010 (平成22)	ポスター	B2判縦
40	ポスター劇場 (シアター)	2010 (平成22) 年4月16日～8月18日	2010 (平成22)	ポスター	B2判縦
41	写真の衝撃! めざめるニッポンの油絵	2010 (平成22) 年6月18日～8月18日	2010 (平成22)	ポスター	B2判縦
42	顔・かお・カオ	2011 (平成23) 年1月28日～4月13日	2011 (平成23)	ポスター	B2判縦
43	オブ・アート展	2012 (平成24) 年9月7日～11月7日	2012 (平成24)	ポスター	B2判縦
44	山に魅せられた画家たち	2013 (平成25) 年1月25日～3月24日	2012 (平成24)	ポスター	B2判縦
45	北の風景	2013 (平成25) 年11月22日～14 (平成26) 年4月16日	2013 (平成25)	ポスター	B2判縦
46	中谷有逸展	2014 (平成26) 年10月3日～12月3日	2014 (平成26)	ポスター	B2判縦
47	井田照一展	2014 (平成26) 年12月13日～15 (平成27) 年4月15日	2014 (平成26)	ポスター	B2判縦
48	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	2015 (平成27) 年2月24日～4月15日	2014 (平成26)	ポスター	B2判縦
49	猫まみれ展	2015 (平成27) 年9月13日～11月23日	2015 (平成27)	ポスター	B2判縦
50	羊 (メェ)、羊 (メェ)、牛 (モー)、牛 (モー)	2015 (平成27) 年9月13日～11月23日	2015 (平成27)	ポスター	B2判縦

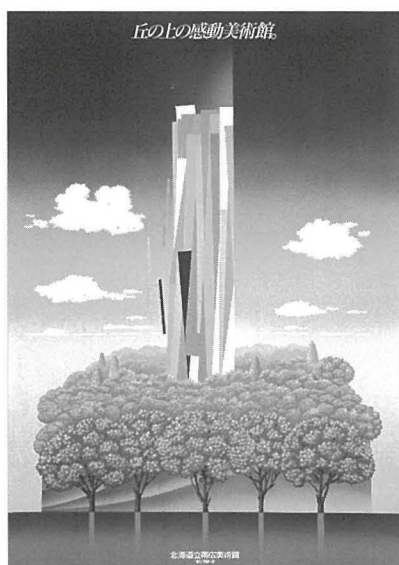
No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
■西洋の美術—バルビゾン派を中心に					
51	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855-56	エッチング、紙	10.5×7.4
52	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	80.6×99.7
53	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩、キャンバス	101.0×81.0
54	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩、キャンバス	49.0×65.0
55	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、キャンバス	81.2×65.0
56	レオン・リッシュ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、キャンバス	43.8×59.7
57	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩、キャンバス	32.0×47.5
58	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい	1855-56	エッチング、紙	19.2×25.0
59	ウジェーヌ＝アントワヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩、板	32.8×56.0
60	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、キャンバス	60.0×73.0
61	ジュール・デュブレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩、キャンバス	45.7×67.3
62	レンブラント・ファン・レイン	エマオのキリスト	1654	エッチング、紙	20.9×15.7
63	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いに現われた天使	1634	エッチング、紙	25.2×21.5
64	レンブラント・ファン・レイン	戸口の女	1641	エッチング、紙	9.2×6.0
65	ヨハン・バルトルト・ヨンキント	オンフルールの港の入口	1863	エッチング、紙	22.1×30.5
■プリントアート—ヨーロッパのポスター芸術					
66	ビエール・ボナール	「創作版画家展」ヴォラール画廊	1896	リトグラフ、紙	64.5×47.0
67	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティース」	1895頃	リトグラフ、紙	109.5×149.5
68	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ、紙	243.5×85.0
69	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ、紙	51.5×39.4
70	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
71	ビエール・ボナール	美術雑誌「版画とポスター」	1897	リトグラフ、紙	83.0×61.0
72	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
73	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
74	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバピロン」	1894	リトグラフ、紙	122.0×86.7
75	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ、紙	78.5×60.0
76	ビエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ、紙	159.0×117.0
77	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号—トランザトラニック総会社	1935	リトグラフ、紙	96.7×58.4
78	レオネット・カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ、紙	109.6×152.9
■道東の美術—十勝の先駆者たち／道東の版画					
79	神田日勝	瘦馬	1956 (昭和31)	油彩、板	52.3×61.0
80	寺島春雄	赤の原野	1959 (昭和34)	油彩、キャンバス	131.3×194.3
81	武田伸一	凍土	1966 (昭和41)	油彩、キャンバス	182.0×229.0
82	富谷道信	アデラの記憶	1980 (昭和55)	木	115.0×30.0×50.0
83	能勢眞美	疎林初秋	1967 (昭和42)	油彩、キャンバス	97.0×162.0
84	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991 (平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各50.9×39.4 (10点組)
85	池田良二	Deposition of memories (記憶の沈殿)	1988 (昭和63)	フォトエッチング、エッチング、 アクアチント、ドライポイント、 メゾチント、手漉き雁皮	69.0×58.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法 (cm)
86	増田 誠	ギリシャ神話 レムノス島のアルゴナウタイ	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.6×34.0
87	増田 誠	ギリシャ神話 デュオニーソスとミダス王	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	25.3×34.7
88	増田 誠	ギリシャ神話 牧神の午後	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.2
89	増田 誠	ギリシャ神話 ヘラクレスとクレタの牡牛	1976 (昭和51)	リトグラフ、紙	24.5×33.0
90	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982 (昭和57)	木版、紙	53.0×75.0
91	中谷有逸	大地の神・碑 (風に聞く)	2001 (平成13)	ステンシル版、腐蝕版、アルミ板、パネル	117.0×91.0
92	多賀 新	双璧	1982 (昭和57)	エッチング、アクアチント、紙	49.7×36.5
93	渋谷栄一	H8-A	1996 (平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0
■プリントアートー現代の多様な表現					
94	一原有徳	ZOM88	1988 (昭和63)	モノタイプ (アルミ版)、鳥の子紙	151.0×425.0 (5枚組)
95	島 州一	COSTRUCTION OF FINGER PRINTS No.38	1982-85 (昭和57-60)	チョーク、シルクスクリーン、フィンガープリント、スチレンボード、アクリルボックス	90.0×98.0×11.3
96	長谷川哲	HOME 1997-2	1997 (平成9)	写真、印画紙	86.3×148.5
97	秋岡美帆	ゆれるかげ	1992 (平成4)	スキャナグラフ (NECO)、麻紙	153.5×212.5
98	長はるこ	B-cushion	1998 (平成10)	スキャナグラフ (NECO)、ネパールロクタ紙	153.1×211.2
99	マイク・スターン、ダグ・スターン	若い娘たち	1990-93	印画紙、透明フィルム、釘、木	57.5×46.0×5.5ほか (9点組)
100	フランク・ステラ	スワン・エングレイヴィング、ブルー、グリーン、グレー	1985	エッチング、レリーフプリント、紙	169.0×133.0
101	ジェームズ・ローゼンクイスト	『水の惑星にようこそ』タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・パルプ (着彩手漉き紙)	201.9×147.3
102	磯辺行久	江戸障壁	1965 (昭和40)	シルクスクリーン、レリーフプリント、紙、紐、アクリル板、木	200.2×299.0
103	森村泰昌	寒雀寒鳩 (御舟)	1990 (平成2)	カラー写真プリント、印画紙	132.9×97.8
104	サム・フランシス	バサディナ・ボックス	1963-66	リトグラフ、アクリリック、紙	132.5×48.5ほか (13点組)
105	ロバート・ラウシェンバーク	スリンダー・ジョッツ・リット #8	1985	シルクスクリーン、透明フィルム、蛍光灯、木	214.3×141.8×32.3
106	ニルス=ウド	歩く、飛ぶ／北海道立帯広美術館、2002年	2002	イルフォクローム	26.5×40.0
■モニュメント広場					
107	エミール=アントワーン・ブールデル	勝利	1923	ブロンズ	高さ372

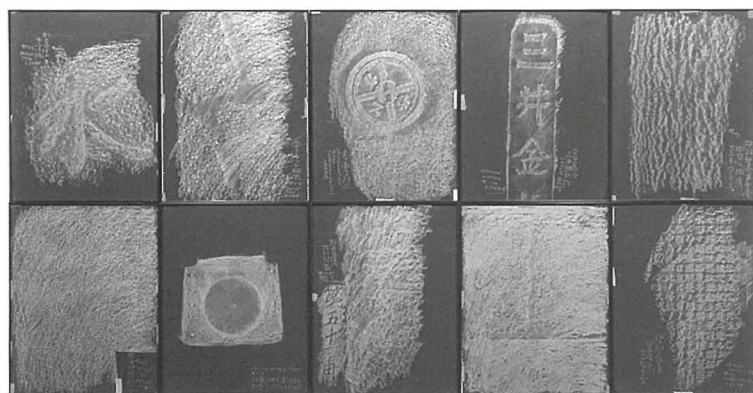
*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵 (nos. 51、52、53、54、55、56、79、81は帯広市寄託)。

*寸法は平面作品が縦×横、レリーフ作品が縦×横×厚み、立体作品が幅×奥行き×高さ。

*no.107は当館前庭に設置。



1 田中耕三
「丘の上の感動美術館(北海道立帯広美術館ポスター)」



84 岡部昌生「オビヒロ・マトリックス1991の10ピース」

北海道立帯広美術館開館25周年記念・国立美術館巡回展

国立美術館・煌めく名作たち

会期＝平成28年10月22日(土)－11月27日(日) 33日間
主催＝北海道立帯広美術館、京都国立近代美術館

協力＝帯広美術館振興会

協賛＝帯広信用金庫、(株)北洋防災工業所、北海道クリーン・システム(株)

観覧料＝一般720(560)円、高大生410(300)円、小中生200(150)円
小中高校の教育活動としての観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は10人以上の前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「美術館とコレクション」

講師＝松原龍一氏(京都国立近代美術館学芸課長)

日時＝10月22日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

ギャラリー・ツアー

〈プレミアム鑑賞会〉私が選ぶこの一点

講師＝齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏ほか

日時＝10月23日(日)、30日(日)、11月6日(日)、13日(日)、20日(日)、
27日(日) 各日午後2時～(約1時間)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

主催＝「煌めく名作たちを観る会」実行委員会、北海道立帯広美術館

キッズ・ミュージアム

「おち葉でアート」

日時＝10月29日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

レクチャーコンサート

「祝祭・モーツァルト in 北海道2016 煌めくモーツァルトの室内楽」

講演＝海老澤敏氏(尚美学園大学大学院名誉教授、ザルツブルク国際モーツァルテウム財団名誉財団員)

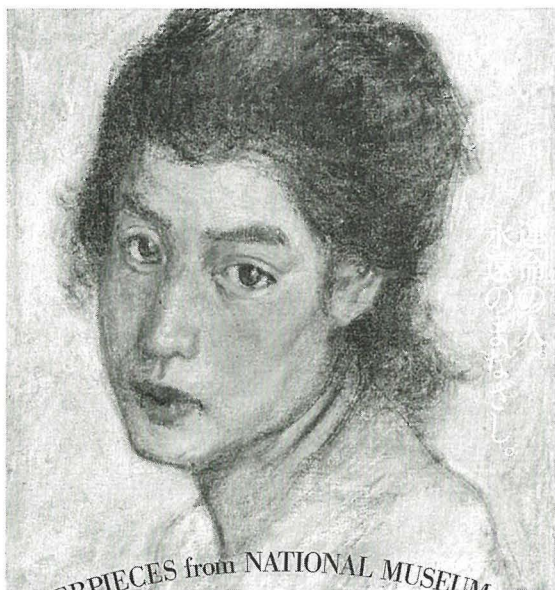
演奏＝浜島泰子氏(ヴァイオリン)、高杉奈梨子氏(ヴァイオリン)、前南有氏(ヴィオラ)、藤田淳子氏(チェロ)

日時＝11月5日(土) 午後5時～(約100分)

会場＝当館ロビー(入場無料、要整理券)

共催＝北海道モーツァルト協会、帯広美術館振興会

北海道立帯広美術館開館25周年記念・国立美術館巡回展



MASTERPIECES from NATIONAL MUSEUM of ART 国立美術館 煌めく名作たち

2016年10月22日(土)－11月27日(日) 北海道立帯広美術館

観覧料 一般720(560)円、高大生410(300)円、小中生200(150)円
小中生200(150)円

ポスター



図録

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝11月12日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券、中学生以下無料)

特別展セミナー

「日本近代名画と出会う」

講師＝五十嵐聡美(当館学芸課長)

日時＝11月19日(土)、26日(土) 各日とも午後2時～(約50分)

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

ワークショップ

「いきなり！大人の油絵入門」

講師＝中谷有逸氏(美術家)

日時＝1日目／11月12日(土) 午前10時～午後3時

2日目／11月13日(日) 午前10時～午後3時

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券、応募制)

図録

規格＝29.5×22.5cm／総頁数144ページ

構成＝目次／ごあいさつ／松原龍一「国立美術館巡回展 煌めく名作たち 京都国立近代美術館のコレクションを巡って」／作品図版／作家作品解説／出品リスト

関連記事

五十嵐聡美「国立美術館『煌めく名作たち』展から 1～5」
十勝毎日新聞／11月7日(月)～12日(土)

金谷信「地元作家が解説 『日曜鑑賞会』好評」十勝毎日新聞
／11月9日(木)

「日本の近代美術 名品80点」読売新聞／10月29日(土)

金谷信「編集余録 観る会」十勝毎日新聞／10月28日(金)

長瀬聡美「『煌めく名作』来館呼び掛け 帯広美術館の五十嵐さん講演」十勝毎日新聞／11月23日(木)

吉田政勝「じっくり観察 自画像に挑戦 帯広美術館で油絵入門講座」十勝毎日新聞／11月23日(木)

池田緑「編集余録 学外研修」十勝毎日新聞／12月21日(木)

「国立美術館・煌めく名作たち」展は、平成28年度国立美術館巡回展として開催した。国立美術館巡回展は、独立行政法人国立美術館の所蔵作品を効果的に活用し、地域での鑑賞機会の充実、および美術の普及をはかることを趣旨とした事業である。本展では、日本有数の近現代美術のコレクションを所蔵する京都国立近代美術館と東京国立近代美術館から、近代の日本画と洋画、および近現代の工芸の各分野から代表する70名の作家の作品を選りすぐり、3つの章に分けて80点の作品を一堂に紹介した。

第1章は、「京都の近代日本画壇」として、竹内栖鳳や上村松園、村上華岳、甲斐庄楠音、小野竹喬、石崎光瑠、土田麦僊、福田平八郎らの名品を展示した。古都の伝統にとらわれず革新的な日本画をつくり出そうという画家たちの熱気を示すことができた。第2章は、「日本の近代洋画」として、黒田清輝、藤島武二、鹿子木孟郎、岸田劉生、藤田嗣治、安井曾太郎、佐伯祐三、小磯良平、須田国太郎ら東西を問わず、また多くは海外においても活動した近代日本洋画の巨匠たちの作品により、その系譜と動向を概観できる展示内容であった。第3章では、「京都をめぐる工芸」として、陶芸からは富本憲吉、河井寛次郎、十五代樂吉左衛門、北大路魯山人など、染織からは志村ふくみなど、さらには漆工芸の黒田辰秋、竹工の五世早川尚古齋の作品といった多岐にわたる名品を出品。

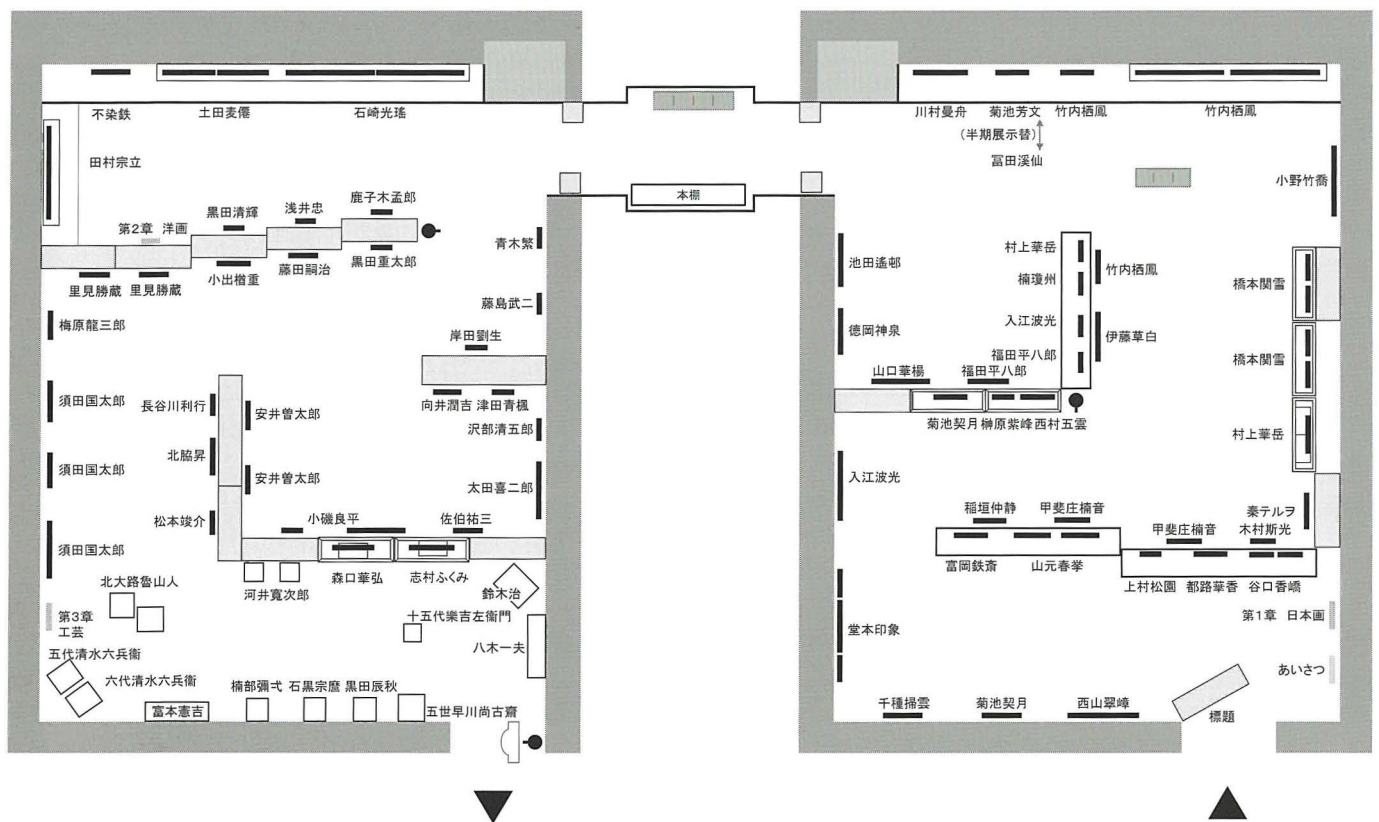
国立美術館が所蔵する日本近代絵画や近現代の工芸の一級品の数々を、まとまってみることができる希有の機会として、好評を博した展覧会であった。



会場風景



会場風景



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (cm)	所蔵先
第1章 京都の近代日本画壇						
1	竹内栖鳳	蕭条	1904 (明治37) 年頃	絹本着色	(各) 167.5×372.0	京都国立近代美術館
2	竹内栖鳳	南清風色	1926 (大正15) 年頃	絹本着色	67.8×73.7	京都国立近代美術館
3	竹内栖鳳	秋興	1927 (昭和2) 年	絹本着色	172.0×70.7	京都国立近代美術館
4	谷口香嶠	拈華微笑	1895 (明治28) 年	絹本着色	(各) 127.0×55.8	京都国立近代美術館
5	都路華香	良夜	1912 (明治45) 年	紙本墨画	178.3×77.7	京都国立近代美術館
6	富田溪仙	鶺鴒	1912 (明治45) 年	紙本墨画	199.0×77.0	京都国立近代美術館
7	菊池芳文	桜花群鴉図	明治後期	絹本着色	157.5×84.0	京都国立近代美術館
8	上村松園	花のにぎわい	1907-12年 (明治40年代)	絹本着色	153.0×50.6	京都国立近代美術館
9	富岡鉄斎	煙波漁隠図	1913 (大正2) 年	絹本着色	139.0×41.8	京都国立近代美術館
10	山元春挙	春夏秋冬	1913 (大正2) 年	絹本着色	(各) 171.5×86.4	京都国立近代美術館
11	村上華岳	夜桜之図	1913 (大正2) 年	絹本着色	142.8×160.0	京都国立近代美術館
12	村上華岳	紅葉の山	1939 (昭和14) 年	紙本着色	47.8×31.1	京都国立近代美術館
13	甲斐庄楠音	横櫛	1916 (大正5) 年頃	絹本着色	195.0×84.0	京都国立近代美術館
14	甲斐庄楠音	舞う	1921 (大正10) 年	絹本着色	130.5×89.0	京都国立近代美術館
15	稲垣仲静	太夫	1919 (大正8) 年頃	絹本着色	65.0×55.0	京都国立近代美術館
16	木村斯光	花魁	1921 (大正10) 年	絹本着色	127.0×42.0	京都国立近代美術館
17	橋本関雪	木蘭詩	1920 (大正9) 年	紙本墨画淡彩	(各) 40.2×75.7	京都国立近代美術館
18	小野竹喬	郷土風景	1917 (大正6) 年	絹本着色	175.0×170.0	京都国立近代美術館
19	伊藤草白	島	1918 (大正7) 年	絹本着色	109.0×139.0	京都国立近代美術館
20	菊池契月	夕至	1918 (大正7) 年	絹本着色	206.0×101.5	京都国立近代美術館
21	川村曼舟	古都の春	1918 (大正7) 年	絹本着色	199.6×114.5	京都国立近代美術館
22	西山翠嶂	秣	1920 (大正9) 年	絹本着色	204.5×129.5	京都国立近代美術館
23	千種掃雲	木蔭	1922 (大正11) 年	絹本着色	148.4×85.5	京都国立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (cm)	所蔵先
24	堂本印象	訶梨帝母	1922 (大正11) 年	絹本着色	左右：(各)225.0×61.5 中：218.0×166.0	京都国立近代美術館
25	秦テルヲ	眠れる児	1923 (大正12) 年頃	麻布着色	62.5×91.8	京都国立近代美術館
26	石崎光瑤	熱国妍春	1918 (大正7) 年	絹本着色	(各) 171.5×372.0	京都国立近代美術館
27	土田麦僊	朝顔	1928 (昭和3) 年	紙本着色	(各) 180.0×200.0	京都国立近代美術館
28	菊池契月	桜	1929 (昭和4) 年	紙本墨画淡彩	171.0×94.5	京都国立近代美術館
29	西村五雲	淡光	1930 (昭和5) 年	絹本着色	66.8×86.7	京都国立近代美術館
30	入江波光	摘草	1928 (昭和3) 年	絹本着色	161.0×180.0	京都国立近代美術館
31	入江波光	釣舟 (風浪漁舟)	1939 (昭和14) 年	紙本墨画淡彩	39.0×59.0	京都国立近代美術館
32	榊原紫峰	池畔白鷺	1942 (昭和17) 年頃	絹本着色	36.9×42.5	京都国立近代美術館
33	楠瓊州	高山丹楓	1942 (昭和17) 年	紙本着色	175.4×57.9	京都国立近代美術館
34	不染鉄	南海之図	1955 (昭和30) 年頃	紙本墨画	171.7×84.0	京都国立近代美術館
35	福田平八郎	清晨	1935 (昭和10) 年	絹本着色	141.5×51.0	京都国立近代美術館
36	福田平八郎	花の習作	1961 (昭和36) 年	紙本着色	122.6×100.0	京都国立近代美術館
37	徳岡神泉	枯葉	1958 (昭和33) 年	紙本着色	145.0×114.5	京都国立近代美術館
38	山口華楊	白露	1974 (昭和49) 年	紙本着色	178.0×141.6	京都国立近代美術館
39	池田遙邨	うしろ姿のしぐれてゆくか 山頭火	1984 (昭和59) 年	紙本着色	112.9×162.0	京都国立近代美術館
40	田村宗立	越後海岩図屏風	1903 (明治36) 年	麻布、油彩	153.8×360.8	京都国立近代美術館

第2章 日本の近代洋画

41	黒田清輝	落葉	1891 (明治24) 年	麻布、油彩	80.8×63.8	東京国立近代美術館
42	浅井忠	編みもの	1901 (明治34) 年	麻布、油彩	64.3×48.7	京都国立近代美術館
43	青木繁	女の顔	1904 (明治37) 年	麻布、油彩	45.4×33.4	京都国立近代美術館
44	沢部清五郎	少女像	1912 (明治45) 年	麻布、油彩	80.1×63.6	京都国立近代美術館
45	藤島武二	花籠	1913 (大正2) 年	麻布、油彩	63.0×41.0	京都国立近代美術館
46	鹿子木孟郎	書斎における平瀬介翁	1915 (大正4) 年	麻布、油彩	80.3×60.7	京都国立近代美術館
47	太田喜二郎	少女	1915 (大正4) 年	麻布、油彩	129.0×145.0	京都国立近代美術館
48	岸田劉生	道路と土手と堀 (切通之写生) 【重要文化財】	1915 (大正4) 年	麻布、油彩	56.0×53.0	東京国立近代美術館
49	黒田重太郎	スクアール・ド・ロブゼルパトゥール	1917 (大正6) 年	麻布、油彩	72.6×60.4	京都国立近代美術館
50	向井潤吉	K氏の像	1920 (大正9) 年	麻布、油彩	65.0×52.8	京都国立近代美術館
51	藤田嗣治	タピスリーの裸婦	1923 (大正12) 年	麻布、油彩	126.0×96.0	京都国立近代美術館
52	津田青楓	研究室における河上肇像	1926 (大正15) 年	麻布、油彩	72.5×61.0	京都国立近代美術館
53	里見勝蔵	溪谷の春	1924 (大正13) 年	麻布、油彩	72.0×104.0	京都国立近代美術館
54	里見勝蔵	女	1928 (昭和3) 年頃	麻布、油彩	92.0×65.2	京都国立近代美術館
55	安井曾太郎	婦人像	1930 (昭和5) 年	麻布、油彩	115.2×87.5	京都国立近代美術館
56	安井曾太郎	金蓉	1934 (昭和9) 年	麻布、油彩	96.5×74.5	東京国立近代美術館
57	佐伯祐三	裏街の広告	1927 (昭和2) 年	麻布、油彩	60.4×73.0	京都国立近代美術館
58	長谷川利行	カフェ・パウリスタ	1928 (昭和3) 年	麻布、油彩	53.0×72.8	東京国立近代美術館
59	小出檣重	横たわる裸女 (B)	1928 (昭和3) 年	麻布、油彩	41.0×56.0	京都国立近代美術館
60	北脇昇	空の訣別	1937 (昭和12) 年	麻布、油彩	117.0×80.5	東京国立近代美術館
61	小磯良平	娘達	1938 (昭和13) 年	麻布、油彩	72.7×53.0	京都国立近代美術館
62	小磯良平	練習場の踊り子達	1938 (昭和13) 年	麻布、油彩	191.0×180.0	東京国立近代美術館
63	梅原龍三郎	雲中天壇	1939 (昭和14) 年	麻布、油彩	79.2×64.4	京都国立近代美術館
64	須田国太郎	修理師	1938 (昭和13) 年	麻布、油彩	110.5×161.2	京都国立近代美術館



26 石崎光瑤「熱国妍春」



No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質等	寸法 (cm)	所蔵先
65	須田国太郎	校倉 (乙)	1943 (昭和18) 年	麻布、油彩	92.0×118.0	京都国立近代美術館
66	須田国太郎	鶉	1952 (昭和27) 年	麻布、油彩	71.5×90.0	京都国立近代美術館
67	松本竣介	建物	1948 (昭和23) 年	板、油彩	60.5×73.0	東京国立近代美術館

第3章 京都をめぐる工芸

68	五代清水六兵衛	朱錦壺	1934 (昭和9) 年	磁器	径27.2×高29.5	京都国立近代美術館
69	六代清水六兵衛	古稀彩弦月壺	1973 (昭和48) 年	陶器	径38.0×高30.0	京都国立近代美術館
70	富本憲吉	色絵飾筥	1941 (昭和16) 年	磁器	33.0×29.0×8.7	京都国立近代美術館
71	富本憲吉	色絵金銀彩飾壺	1953 (昭和28) 年	磁器	径24.0×高18.0	京都国立近代美術館
72	河井寛次郎	白地草花絵扁壺	1939 (昭和14) 年	陶器	22.0×22.0×33.0	京都国立近代美術館
73	河井寛次郎	打楽陶彫	1962 (昭和37) 年	陶	20.0×15.0×46.5	京都国立近代美術館
74	北大路魯山人	磁器赤絵筋文中皿	1950 (昭和25) 年	磁器	径30.8×高5.0	京都国立近代美術館
75	北大路魯山人	色絵金彩椿文鉢	1955 (昭和30) 年	陶器	径36.0×高20.0	京都国立近代美術館
76	石黒宗麿	しぶ紙手鉢	1956-57 (昭和31-32) 年頃	陶器	径34.5×高7.8	京都国立近代美術館
77	楠部彌弌	彩埴 清晨 花瓶	1983 (昭和58) 年	磁器	径23.5×高28.5	京都国立近代美術館
78	十五代樂吉左衛門	焼貫黒樂茶碗 銘 白暁	1999 (平成11) 年	陶器	径13.1×高12.3	京都国立近代美術館
79	黒田辰秋	赤漆捻四稜棗	1960 (昭和35) 年頃	木、漆	径8.0×高8.2	京都国立近代美術館
80	八木一夫	距離	1974 (昭和49) 年	陶	16.0×60.0×27.5	京都国立近代美術館
81	鈴木治	雪の中の馬	1973 (昭和48) 年	陶	29.5×56.0×76.5	京都国立近代美術館
82	五世早川尚古齋	切込透文様盛物籠	1976 (昭和51) 年	竹	径46.0×高20.0	東京国立近代美術館
83	森口華弘	大振袖「梅林」	1964 (昭和39) 年	縮緬、友禅染	195.0×128.0	京都国立近代美術館
84	志村ふくみ	紬織着物 嵯峨野	1963 (昭和38) 年	草木染、手織紬	168.0×129.0	京都国立近代美術館

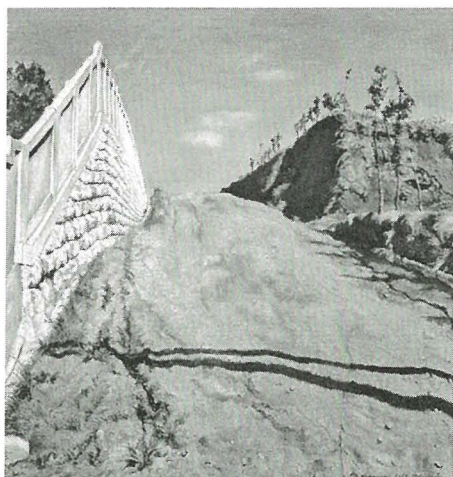
* 寸法は特記以外は縦×横、または縦×横×高さ。

* Nos. 6, 7, 10は、それぞれ半期展示。

前期展示 (10月22日～11月9日) : No.7, No.10 (春図、夏図)。後期展示 (11月10日～11月27日) : No.6, No.10 (秋図、冬図)。

* No. 17については、五幅対のうちの第1図は不出品。

* No. 48は重要文化財。



48 岸田劉生「道路と土手と塀(切通之写生)」



75 北大路魯山人「色絵金彩椿文鉢」

帯広美術館ポスターコレクション選 グラフィック・デザインの100年

会期＝平成28年12月10日(土)～3月23日(木) 84日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般510(410)円、高大生300(250)円

中学生以下、65歳以上の方、高校の教育活動としての
観覧、障害者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

オビビ・キッズ・アートフェスタ

「とび出す!アート」

日時＝12月17日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー(参加無料、保護
者の方は要観覧券)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

映写室

「世界・美の旅 ロートレック～世紀末の目撃者～」

日時＝12月23日(金) 午前11時～、午後2時～(各回約30分)

会場＝当館講堂(入場無料)

キッズ・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月14日(土) 午後2時～(約30分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ギャラリー・ツアー

講師＝野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝1月21日(土)、3月11日(土) 午後2時～(約40分)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

おびひろ氷まつり協賛事業

「美術館 de 氷まつり2017」

開催日＝2月3日(金)～5日(日)

* 2月3日(金)、4日(土)は午後7時30分まで夜間開館を実施

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

- ・美術館 de 氷まつり2017プレ企画「おえかきランタンづ
くり」

日時＝1月4日(木)～31日(火) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館ロビー(参加無料)

- ・ナイト・ミュージアムツアー

日時＝2月3日(金) 午後6時～(約30分)

2月4日(土) 午後5時～(約30分)

会場＝当館コレクション・ギャラリー、荷解室(要観覧券)



ポスター

- ・ロビーカフェ de 冬の花火

日時＝2月3日(金)、4日(土) 午後5時30分～7時30分

会場＝当館ロビー、廊下(飲みもの有料)

- ・てんらんかい de たからさがしゲーム!

日時＝2月4日(土) 午前9時30分～午後7時

5日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

- ・ミュージアム・シアター「パプリカ」

日時＝2月5日(日) 午前10時30分～、午後2時～(約90分)

会場＝当館講堂(入場無料)

トーク＆ワーク

「ポスターの美術と技術」

講師＝岩間 康氏(ソーゴー印刷株式会社管理課長、2月18日)、
野田佳奈子(当館学芸員)

日時＝2月18日(出)、19日(日) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(参加料：一般410円、高大生250円、
応募制)

* 2月18日(出)は事前申込不要、聴講無料として実施した。

キッズ・ミュージアム

「とばして遊ぼう 紙ヒコーキ」

日時＝2月25日(出) 午後1時30分～3時30分

会場＝当館講堂(託児無料)

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらか
ばの会」

関連記事

稲塚寛子「とかちフォトギャラリー 大胆な構図 目を引く色」
北海道新聞(帯広・十勝版朝刊)／1月19日(木)

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信58 “実況” したくな
るポスター」釧路新聞／1月23日(月)

野田佳奈子「おびひろミュージアム通信59 4色巧みに使い彩
る」釧路新聞／3月13日(月)

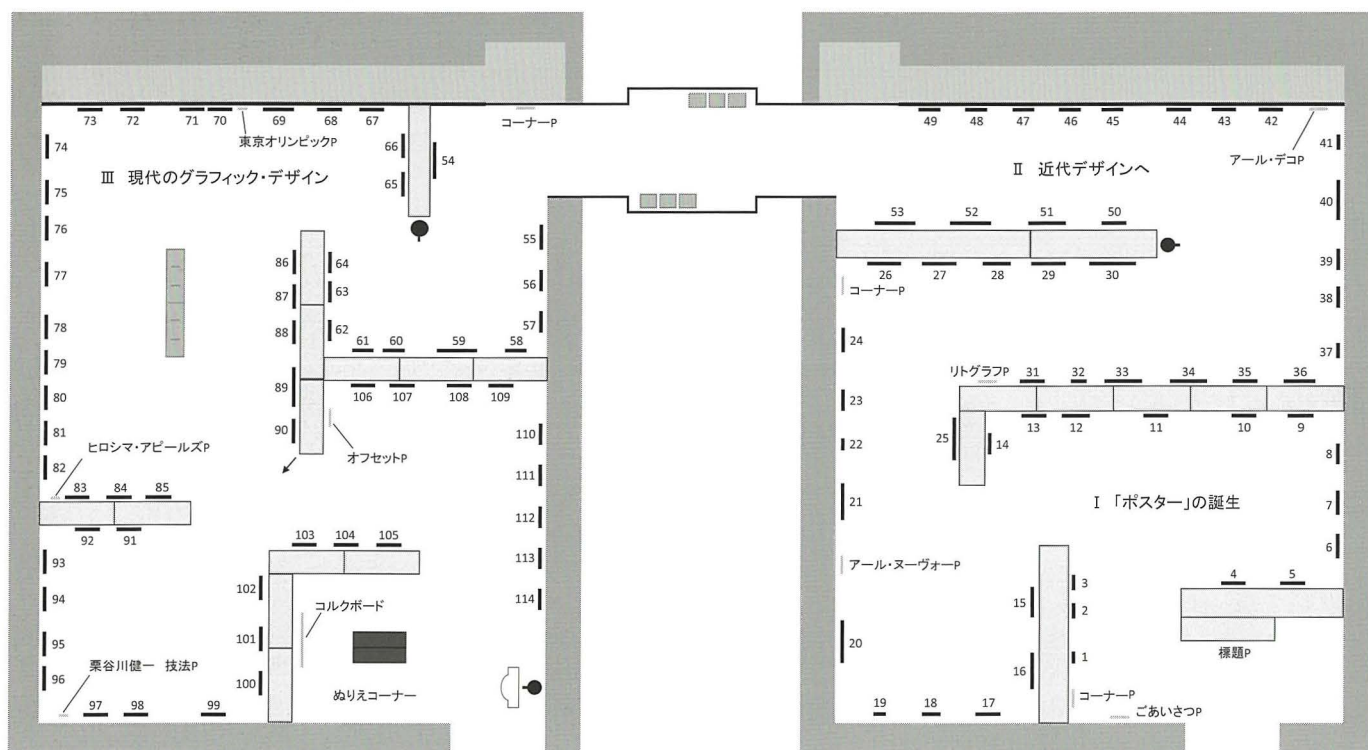
今日、様々な情報伝達メディアが、産業や観光、興行、出版
など、ありとあらゆる分野のものごとを宣伝している。それら
は社会的背景を反映するとともに、芸術的な側面を持ち合わせ
たものも多く、見る者を強く惹きつける。

ポスターにおいて、宣伝という“実用性”と私たちの心を掴
む“芸術性”が両立したのは、19世紀後半のヨーロッパにおけ
るカラーリトグラフ・ポスターから始まったと言えるだろう。
黎明期を支えたシェレ、曲線や植物紋様をふんだんに用いたミュ
シャ、商品のイメージを簡潔に描いたカピエロ、幾何学的で
ダイナミックな構成のポスターデザインを生み出したカッサン
ドルなどが活躍した。

時代が進むにつれて変化する造形意識に加え、技術的な発展
もポスター制作に大きな影響を与えた。特に20世紀以降、写真
の利用が増え、加えて1980年代以降は、コンピュータの活用な
どにより、幅広い表現が可能となった。

本展では、「Ⅰ『ポスター』の誕生」、「Ⅱ 近代デザインへ」、
「Ⅲ 現代のグラフィック・デザイン」の3章により、当館のポ
スターコレクションの代表作約100点を展示。リトグラフによる19
世紀の大型広告をはじめ、近現代に制作された国内外の優れたポ
スターデザインを紹介し、スタイルや印刷技術の変遷をたどった。

会期中は、ロビーに特設図書コーナーを設置し、関連書籍を
紹介したほか、ポスターの配色に注目してもらうべく、主展示
室内にぬりえコーナーを設けた。来場者数は2,960人。



展示図面

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
I 「ポスター」の誕生ー街頭の絵画					
1	ジュール・シェレ	ミュージック・ホール「エルドラド」	1894	リトグラフ、紙	55.8×37.3
2	ジュール・シェレ	「スコットランドの王位」ヴァリエテ座	1871	リトグラフ、紙	70.5×49.0
3	ジュール・シェレ	カフェ=コンセール「19世紀」	1882	リトグラフ、紙	56.3×40.5
4	ジュール・シェレ	ブチ・サン=トマーおもちゃ、本	1889	リトグラフ、紙	117.5×82.2
5	ジュール・シェレ	白粉「ディアファーマ」	1890	リトグラフ、紙	39.0×82.6
6	ジュール・シェレ	新聞「バリ風聞」	1888	リトグラフ、紙	118.4×82.3
7	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ、紙	118.5×83.4
8	ジュール・シェレ	「鏡」フォリー=ベルジュール劇場	1892	リトグラフ、紙	122.0×83.2
9	ジュール・シェレ	ルーヴル百貨店ー1897年新春大売出し	1896	リトグラフ、紙	119.5×82.0
10	ジュール・シェレ	グレヴァン博物館（文字刷り前のポスター）	1900	リトグラフ、紙	116.5×84.5
11	リュシアン・ルフューブル	白熱灯「エレクトリシーヌ」ー赤と白	1894	リトグラフ、紙	245.0×86.0
12	ルネ・ペアン	「1400年のパリ」ー奇蹟の巣窟の再現	1900	リトグラフ、紙	123.5×88.0
13	ルネ・ペアン	パノラマとジオラマ「革命と帝国」	1889-90頃	リトグラフ、紙	129.0×91.5
14	フレデリック・ユゴー・ダレジ	ラ・チュルビーーP.L.M. 鉄道会社	1890-95頃	リトグラフ、紙	105.0×75.0
15	ルイ・ガリス	バロン・シネオラマ	1900	リトグラフ、紙	143.5×99.0
16	ルイ・ガリス	アルハンブラヌイイの祭	1905頃	リトグラフ、紙	158.5×119.0
17	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	エグランティエヌ嬢一座	1896	リトグラフ、紙	59.5×79.0
18	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ、紙	80.4×60.0
19	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫」一座近日来演	1896	リトグラフ、紙	61.2×38.1
20	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	演劇「居酒屋」ポルト=サン=マルタン劇場	1900	リトグラフ、紙	192.0×139.0
21	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ、紙	141.5×94.0
22	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ、紙	97.5×35.9
23	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ、紙	201.5×68.7
24	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュー西部鉄道	1895頃	リトグラフ、紙	106.1×78.8
25	ポール・アルペール・ロラース	万国博エジプト劇場	1900	リトグラフ、紙	87.0×153.0
II 近代デザインへー明快な表現の追求					
26	レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ、紙	150.3×110.5
27	レオネット・カビエッロ	湿布綿「テルモジェヌ」	1907	リトグラフ、紙	151.1×112.5
28	レオネット・カビエッロ	甘草入りドロップ「カシュー・ラジョーニー」	1920	リトグラフ、紙	144.0×92.0
29	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ、紙	152.4×112.8
30	レオネット・カビエッロ	フォワグラ・クリームの女王「金の鷺鳥」	1937	リトグラフ、紙	109.0×154.5
31	不詳	タバコ「レオ」	1920	リトグラフ、紙	113.0×74.0
32	J. スタル（アンドレ・ラブシェフスキー）	ソヴィオン・ブランデー	1925頃	リトグラフ、紙	59.0×40.0
33	J. スプリング（アンドレ・ラブシェフスキー）	コニャック「ソラン」	1930	リトグラフ、紙	151.4×113.7
34	オルスキー	モッサン帽子	1928頃	リトグラフ、紙	159.0×117.0
35	ジャン=ガブリエル・ドメルゲ	バゲーラ	1935	リトグラフ、紙	117.6×75.2
36	アロイス・カリジェ	アローザ	1931	リトグラフ、紙	127.8×91.5
37	シャルル・ルボー／ジャン・カルリュ	石鹸「モンサヴォン」	1936	リトグラフ、紙	64.8×46.0
38	ポール・コラン	ジョセフィン・ペイカー	1925	リトグラフ、紙	80.0×60.0

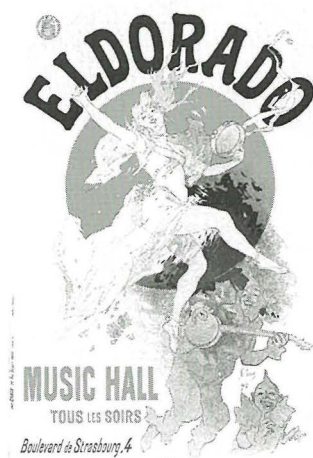


会場風景

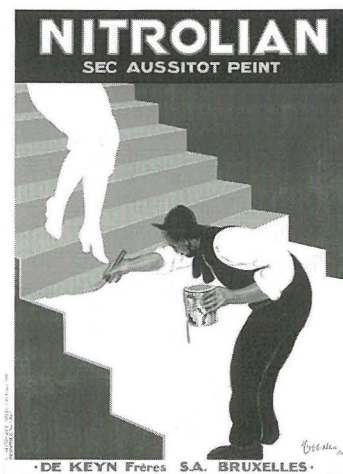


会場風景

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
39	ボール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
40	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ、紙	154.2×114.5
41	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ、紙	39.6×31.1
42	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.7×75.4
43	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行—フランス北部鉄道	1927	リトグラフ、紙	105.9×75.0
44	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ、紙	100.0×62.3
45	里見宗次	コート・ダジュール	1934 (昭和9)	リトグラフ、紙	98.7×62.4
46	アーウェ・ラスムッセン	D.S.B. デンマーク国有鉄道	1937	リトグラフ、紙	100.0×63.0
47	フレデリック・ドロスト	8日間フリー・チケット	1936	リトグラフ、紙	100.0×62.0
48	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ、紙	97.0×58.0
49	ケース・ファン・デル・ラーン	国立航空学校	1930頃	リトグラフ、紙	80.0×57.2
50	不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ、紙	112.4×72.5
51	ジョルジュ・ファーヴル	ビール「ティタン」	1933	リトグラフ、紙	150.0×113.5
52	クロード・ガドゥー	ワイン「ローマ軍」—赤・ロゼ・白	1935	リトグラフ、紙	159.0×119.0
53	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック (ブランデー)「リスト」	1943	リトグラフ、紙	151.8×109.3
Ⅲ 現代のグラフィック・デザイン—多彩な表現、多様な技術					
54	ベルナール・ヴィルモ	食前酒「チンザノ」	1958	リトグラフ、紙	154.8×112.0
55	エマニュエル・ベリーニ	ニースの温泉、ベルトモン=レ=バン	1950	リトグラフ、紙	114.5×77.5
56	不詳	ポーツマスとサウス・シー	1950頃	リトグラフ、紙	99.7×62.8
57	J.P. ラタビィ	モン・ド・マルサン	1950	リトグラフ、紙	98.0×60.6
58	ブッポ	モンテ・ファイト、ナポリ	1959	リトグラフ、紙	98.5×64.0
59	ジャン・コクトー	オルフェの遺言	1959	リトグラフ、紙	160.0×120.0
60	ベルナール・ヴィルモ	北アフリカ	1946	リトグラフ、紙	98.0×61.5
61	ベルナール・ヴィルモ	スペイン	1957	オフセット、紙	96.8×60.3
62	不詳	フランスへ行く、コート・ダジュール	1952	オフセット、紙	98.5×61.0
63	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (オペラ座)	1950	オフセット、紙	96.5×61.0
64	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で (エッフェル塔)	1950	オフセット、紙	97.5×61.8
65	ハーバート・マター	彼らのうちの一人はポリオにかかっている	1950	オフセット、紙	102.6×65.0
66	ヨゼフ・ミュラー=ブロックマン	子供たちを守ろう	1953	オフセット、紙	102.8×72.4
67	スターフィッシュ プロダクション	私は忠誠を誓う	1970	オフセット、紙	91.0×73.0
68	ユッカ・ベイストラー	黄色い花、葬列	1970	オフセット、紙	103.0×68.4
69	アンソン・ビーク	U-ABC	1989	オフセット、紙	143.0×99.0
70	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック	1962 (昭和37)	オフセット、紙	103.0×72.7
71	亀倉雄策、村越 襄、早崎 治	東京オリンピック	1963 (昭和38)	オフセット、紙	103.0×72.7
72	中村 誠、横須賀功光	資生堂香水 (舞)	1978 (昭和53)	オフセット、紙	103.0×72.7
73	石岡瑛子、操上和美	西洋は東洋を着こなせるか	1979 (昭和54)	オフセット、紙	103.0×72.7
74	山城隆一	第2回東京国際版画ビエンナーレ展	1960 (昭和35)	オフセット、紙	103.0×72.7
75	田中一光	第5回産経観世能	1958 (昭和33)	オフセット、紙	103.0×72.7
76	田中一光	日本古典芸能団招聘記念	1981 (昭和56)	オフセット、紙	103.0×72.7
77	福田繁雄	日本古典芸能団招聘記念	1981 (昭和56)	オフセット、紙	103.0×72.7



1 ジュール・シェレ「ミュージック・ホール『エルドラド』」



29 レオネット・カピエロ「速乾ペンキ『ニトロリアン』」

No.	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)
78	ミルトン・グレイザー	ディラン	1966	オフセット、紙	103.0×68.4
79	ハンス・ヒルマン	映画「マルタの鷹」	1972	オフセット、紙	103.0×73.4
80	ポール・ランド	IBM	1982	オフセット、紙	103.0×68.8
81	ロバート・ギュスティ	スクール・オブ・ビジュアル・アーツ	1979	オフセット、紙	102.8×68.0
82	グンター・ランボー	出版社「S.フィッシャー」	1979	オフセット、紙	103.0×72.8
83	亀倉雄策、横山 明	HIROSHIMA APPEALS	1983 (昭和58)	オフセット、紙	103.0×72.7
84	永井一正／奥山民枝	HIROSHIMA APPEALS	1987 (昭和62)	オフセット、紙	103.0×72.7
85	勝井三雄	HIROSHIMA APPEALS	1989 (平成元)	オフセット、紙	103.0×72.7
86	山城隆一	森・林	1955 (昭和30)	オフセット、紙	103.0×72.7
87	原 弘	日本タイポグラフィ展	1959 (昭和34)	オフセット、紙	103.0×72.7
88	亀倉雄策	ニコソ SP	1957 (昭和32)	オフセット、紙	103.0×72.7
89	アラン・フレッチャー	自動車100周年	1986	オフセット、紙	73.0×102.8
90	ブルーノ・モングッツィ	オスカー・シュレンマー、イーゴリ・ストラヴィンスキー「結婚」	1988	オフセット、紙	103.0×72.8
91	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	オフセット、紙	103.2×73.0
92	栗谷川健一	牧場の鐘	1952 (昭和27)	ポスターカラー、紙	102.7×72.5
93	栗谷川健一	真夏の夢	1958 (昭和33)	オフセット、紙	104.1×73.2
94	栗谷川健一	真夏の夢	1958 (昭和33)	ポスターカラー、紙	103.3×72.7
95	栗谷川健一	赤いヘイレキ	1961 (昭和36)	オフセット、紙	102.7×73.0
96	栗谷川健一	赤いヘイレキ	1961 (昭和36)	ポスターカラー、紙	103.0×72.5
97	栗谷川健一	家路	1963 (昭和38)	オフセット、紙	103.0×73.0
98	栗谷川健一	家路	1963 (昭和38)	ポスターカラー、紙	103.0×72.5
99	栗谷川健一	ムックリを鳴らすアイヌの娘	1953 (昭和28)	オフセット、紙	103.0×73.0
100	栗谷川健一	湖水の葦	1955 (昭和30)	オフセット、紙	102.3×71.9
101	栗谷川健一	伝説の湖	1956 (昭和31)	オフセット、紙	101.3×71.3
102	栗谷川健一	スキーの源流	1966 (昭和41)	オフセット、紙	103.0×72.6
103	横尾忠則	腰巻お仙ー忘却編	1966 (昭和41)	オフセット、紙	103.0×72.7
104	横尾忠則	第6回東京国際版画ビエンナーレ展	1968 (昭和43)	オフセット、紙	103.0×72.7
105	横尾忠則	GREETING	1973 (昭和48)	オフセット、紙	103.0×72.7
106	福田繁雄	VICTORY 1945	1975-1976 (昭和50-51)	オフセット、紙	103.0×72.7
107	永井一正	JAPAN	1988 (昭和63)	オフセット、紙	103.0×72.7
108	松永 真／安達洋次郎	資生堂サンオイル “人・人・人”	1971 (昭和46)	オフセット、紙	103.0×72.7
109	奥村靉正	S・F・X	1984 (昭和59)	オフセット、紙	103.0×72.7
110	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1987 (昭和62)	シルクスクリーン、紙	104.2×74.2
111	梅津恒見	地球、水の精。	1989 (平成元)	シルクスクリーン、紙	103.0×72.9
112	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985 (昭和60)	シルクスクリーン、紙	105.1×74.9
113	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000 (平成12)	インクジェットプリント、紙	102.9×72.4
114	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000 (平成12)	インクジェットプリント、紙	102.9×72.4

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



99 栗谷川健一「ムックリを鳴らすアイヌの娘」



113 梅津恒見「北海道を組む。四季を編む。」

美術講演会／アーティスト・トーク等

各分野の専門家を招いての講演会や、展覧会出品作家の方を
迎えてのトーク等を開催した。



アーティスト・トーク 藤沢レオ氏

平成27年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
7月5日(日) 午後2時～	トーク&デモンストレーション 「いけばなの歴史と草月」	平井敏明氏、鈴木泉晶氏 (草月会北海道支部)	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	当館講堂	45人
7月11日(土) 午後2時～	勅使河原蒼風 伝統に生き、現代をひらく	薬科英也氏 (千葉市美術館学芸課長代理)	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	当館講堂	20人
12月3日(木) 午前9時30分～	アーティスト・トーク	藤沢レオ氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館ロビー、主展示室	32人
12月5日(土) 午後1時～	アーティスト・トーク	戸張良彦氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館主展示室	32人
12月5日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	浅川 茂氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館主展示室	47人
12月19日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	松本早苗氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館主展示室	19人
1月9日(土) 午後2時～	デモンストレーション&トーク	八重柏冬雷氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館講堂、主展示室	75人
1月23日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	出店久夫氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館主展示室	20人
1月30日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	澁谷俊彦氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館ロビー、主展示室	41人
2月13日(土) 午後2時～	アーティスト・トーク	鳴海寛理氏 (展覧会出品作家)	思考するアート	当館主展示室	20人

平成28年度

開催日時	内容・演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
4月15日(金) 午後6時30分～	篠山紀信 アーティスト・トーク	篠山紀信氏 (写真家)	篠山紀信展	北海道ホテル	300人
7月16日(土) 午後2時～	デモンストレーション&トーク 「摺りの実演—浮世絵版画が出来るまで」	三田村 努氏 (江戸伝承浮世絵手摺木版画摺師)	歌麿とその時代	当館講堂	124人
10月2日(日) 午後2時～	スペシャル・ギャラリートーク 「街に美術館がやって来た！～帯広美術館の誘 致活動から現在まで～」	松井由孝氏 (前帯広百年記念館館長)	帯広美術館物語	当館主展示室	22人
10月9日(日) 午後2時～	スペシャル・ギャラリートーク 「美術がひらく地域の営み～十勝と美術・美術館」	松井由孝氏 (前帯広百年記念館館長)	帯広美術館物語	当館主展示室	28人
10月22日(土) 午後2時～	美術講演会 「美術館とコレクション」	松原龍一氏 (京都国立近代美術館学芸課長)	国立美術館・煌めく名作たち	当館講堂	43人

特別展セミナー

当館学芸員が、展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後 2 時～

会場＝当館講堂（聴講無料）

平成27年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
7月18日(土)、8月1日(土)	学芸員による見どころ解説	五十嵐聡美（当館学芸課長）	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	31人

平成28年度

開催日	内容・演題	講師	関連展覧会	聴講者数
9月10日(土)、10月8日(土)	地域と人と美術館一丘の上の感動美術館をめざして	藤原乃里子（当館主任学芸員）	帯広美術館物語	20人
11月19日(土)、11月26日(土)	日本近代名画と出会う	五十嵐聡美（当館学芸課長）	国立美術館・煌めく名作たち	40人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員や関連講師が、展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。また、「国立美術館・煌めく名作たち」展では「プレミアム鑑賞会 『私が選ぶこの1点』」と題し、十勝の美術家を中心とする方々に作品を解説いただいた。

時間＝午後2時～

会場＝当館主展示室（要観覧券）

平成27年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
4月11日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	バルビゾン—19世紀の絵画と写真	16人
5月30日(土)、6月13日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	みんなのための はじめて・あーと	19人
10月10日(土)、11月7日(土)	藤原乃里子（当館主任学芸員）	猫まみれ展	35人
2月20日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	思考するアート	7人
3月5日(土)	五十嵐聡美（当館学芸課長）	思考するアート	11人

平成28年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
4月24日(日)	栗谷昌宏氏（FM-JAGA DJ）	篠山紀信展	77人
5月28日(土)、6月4日(土)	藤原乃里子（当館主任学芸員）	篠山紀信展	80人
7月30日(土)、8月13日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	歌麿とその時代	37人
10月23日(日)	小笠原洋子氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、山岸温子氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	39人
10月30日(日)	近藤みどり氏、齊藤隆博氏、山中佳寿美氏、山岸温子氏、渡辺禎祥氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	27人
11月6日(日)	梅津美香氏、金谷 信氏、近藤みどり氏、佐藤美和子氏、中谷有逸氏、本間輝子氏、山中佳寿美氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	39人
11月13日(日)	池田 緑氏、梅津美香氏、小笠原洋子氏、山岸温子氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	37人
11月20日(日)	瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、渡辺禎祥氏、和田仁智義氏、山中佳寿美氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	70人
11月27日(日)	梅津美香氏、小笠原洋子氏、近藤みどり氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、浜中マサノリ氏、宮澤克忠氏、山中佳寿美氏（「国立美術館・煌めく名作たち」展を観る会実行委員会）	国立美術館・煌めく名作たち	87人
1月21日(土)、3月11日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	グラフィック・デザインの100年	6人

ミュージアム・カレッジ

当館学芸員による連続講座。連続講座としての特色を生かし、開催中の展覧会および美術館に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

平成27年度

美術館で語る猫の魅力

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室（参加料650円、応募制）



「猫好き必見！もっと猫まみれ講座」弘川治喜氏

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
10月17日(出)	浮世絵に登場する猫	野田佳奈子（当館学芸員）	猫まみれ展	14人
10月24日(出)	猫好き必見！もっと猫まみれ講座	弘川治喜氏（獣医師・にれの木動物病院院長）	猫まみれ展	47人
10月31日(出)*	名画に登場する猫と犬	五十嵐聡美（当館学芸課長）	猫まみれ展	13人

* 事前申込不要、聴講無料として実施。

トーク&ワーク

平成28年度よりミュージアム・カレッジに代わって開始した、当館学芸員や外部講師による2日間連続制の講座。1日目は講座を、2日目は講座を踏まえたワークショップを行い、開催中の展覧会に関連する内容について多角的かつ体系的に知識を深める機会とした。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。

平成28年度

ポスターの美術と技術

時間＝午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室（参加料 一般410円／高大生250円、応募制）



「技術に迫る！印刷って何だろう？現代を支えるプリントのワザ」岩間 康氏

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
2月18日(出)*	技術に迫る！印刷ってなんだろう？ 現代を支えるプリントのワザ	岩間 康氏（ソーゴ印刷株式会社管理課長）	グラフィック・デザインの100年	30人
2月19日(出)	美術に迫る！ 100年前のフランス・ポスター 鑑賞のススメ	野田佳奈子（当館学芸員）	グラフィック・デザインの100年	17人

* 事前申込不要、聴講無料として実施。

ミュージアム・ミステリー

コレクション・ギャラリーの関連事業として、小学1～6年生を対象に、美術に親しんでもらうためのワークショッププログラムを実施。自ら感じ、考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成27年度

ミュージアム・ミステリー2015サマー フラワーストーリー ～3こま絵本をつくろう！～

日 時＝8月9日(日) ①午前10時30分～11時30分
②午後2時～3時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー

参加者＝小学生およびその保護者 計22人

関連展覧会・事業＝花・彩る、よりどりみどりがおかフェスタ！

内 容

導入部として部分探しゲームを行い、出品作品を参加者全員で鑑賞。その後、お気に入りの作品を3点選んで、ストーリーを考える。作品図版を切り貼りし、文章を加えて絵本を作成した。作品は各自、記念として持ち帰ってもらった。



「フラワーストーリー」

平成28年度

ミュージアム・ミステリー2016サマー ビジュツの世界でフシギ発見！

日 時＝8月7日(日) 午後2時～3時

会 場＝当館コレクション・ギャラリー、ロビー

参加者＝小学生 計5人

関連展覧会・事業＝北の造形セクション、よりどりみどりがおかフェスタ！

内 容

出品作品をよくみてもらうため、たからさがしゲームとキーワードゲームを行い、参加者全員で鑑賞。その後、作品の世界に入ったりポーターとして、作品紹介を行った。具体的には、それぞれに好きな作品を選び、参加者が作品紹介のためのポーズを取る。作品図版とポーズを取った自分の写真を組み合わせ、文章を加えて紹介シートを作成した。



「ビジュツの世界でフシギ発見！」

キッズ・ツアー

各特別展の会期中に1回、小学生を主な対象としたギャラリー・ツアーを実施した。各回毎にクイズや対話、パペットの使用などにより、子どもたちの集中と自発的な鑑賞を促すよう工夫した。

時間＝午後2時～（約30分）
会場＝当館主展示室（要観覧券）



「みんなのための はじめて・あーと」展 キッズ・ツアー

平成27年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
5月16日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	みんなのための はじめて・あーと	16人
7月25日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	3人
11月14日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	猫まみれ展	22人
1月16日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	思考するアート	2人

平成28年度

開催日	講師	関連展覧会	参加者数
6月18日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	篠山紀信展	9人
8月6日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	歌麿とその時代	2人
10月1日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	帯広美術館物語	2人
11月12日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	国立美術館・煌めく名作たち	5人
1月14日(土)	野田佳奈子（当館学芸員）	グラフィック・デザインの100年	6人

キッズ・ミュージアム

親子、家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回、託児の日を設け、日常ゆっくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に、寛いだ鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちは工作遊びを楽しんでもらった。なお本事業は、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」との共催で実施。工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで「しらかばの会」ワークショップ部が中心となって運営した。

時間＝午後1時30分～3時30分（受付は3時まで）

会場＝当館講堂（託児無料）

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」



「ねんどニャンコ」

平成27年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
5月9日(土)	作って飛ばそう！紙ひこうき	みんなのための はじめて・あーと	22人
9月5日(土)	葉っぱでハンガを作ろう！	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	15人
11月7日(土)	ねんどニャンコ	猫まみれ展	21人
2月20日(土)	折り紙でひなかざり	思考するアート	7人

平成28年度

開催日	工作内容	関連展覧会	参加者数
5月21日(土)	おえかき（ヒ・ミ・ツ）	篠山紀信展	26人
7月23日(土)	海のなかまたち	歌麿とその時代	15人
9月17日(土)	描いて つないで 絵ほんづくり	帯広美術館物語	18人
10月29日(土)	おち葉でアート	国立美術館・煌めく名作たち	8人
2月25日(土)	とばして遊ぼう 紙ヒコーキ	グラフィック・デザインの100年	10人

ワークショップ等

開催中の展覧会に関連し、美術家や学芸員による造形や鑑賞のワークショップ、技法講座を実施した。また地域イベントと連携し、学芸員による造形遊びを主題としたワークショップを開催した。

会場＝当館講堂ほか



「四つの言葉の物語 Part II をつくろう」

平成27年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会・事業	参加者数
8月11日(火)、12(水) 午前10時～午後12時30分	ワークショップ「え！土と卵でゼンエイ？」 (作品鑑賞と絵画制作)	白濱雅也氏（アーティスト）	勅使河原蒼風の眼と美の潮流	50人
12月12日(土) 午後2時～4時	ワークショップ「四つの言葉の物語 Part II をつくろう」 (作品鑑賞と制作)	池田 緑氏（展覧会出品作家）	思考するアート	12人
2月6日(土)、7日(日) 午前10時～午後3時	ワークショップ「カラフルキャンドルをつくろう！」 (オリジナルキャンドル作り)	野田佳奈子（当館学芸員）	美術館 de 氷まつり2016	268人
2月27日(土)～28日(日)* 午前10時～午後3時	ワークショップ「いきなり！大人の油絵入門」 (作品鑑賞と自画像制作)	中谷有逸氏（美術家）	思考するアート	20人

* 帯広美術館振興会と共催。

平成28年度

開催日時	内容	講師	関連展覧会	参加者数
11月12日(土)～13日(日) 午前10時～午後3時	ワークショップ「いきなり！大人の油絵入門」 (作品鑑賞と自画像制作)	中谷有逸氏（美術家）	国立美術館・煌めく名作たち	17人
1月4日(火)～31日(火) 午前9時30分～午後5時	ワークショップ「おえかきランタンづくり」 (紙袋にイラストを描いてオリジナルランタンを作る。制作したランタンは、氷まつり会期中に館外に設置・点灯。)	—（セルフ形式）	美術館 de 氷まつり2017	192人

映写室

開催中の展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、ビデオ、DVD の上映を行った。

会場＝当館講堂（入場無料）

平成28年度

開催日時	内容	関連展覧会・事業	参加者数
6月5日(日)、6月19日(日) 午後1時～	「夏目雅子の時代」 〈ミニトーク〉講師：高橋寿美雄氏（釧路相米慎二研究会会員） 〈参考上映〉「魚影の群れ」（135分）	篠山紀信展	121人
11月3日(木祝) 午後2時～	ミュージアム・シアター「カリガリ博士」（67分）	芸術週間	8人
11月6日(日) 午後2時～	ミュージアム・シアター「メトロポリス」（94分）	芸術週間	12人
12月23日(金祝) 午前11時～、午後2時～	映写室「世界・美の旅 ロートレック～世紀末の目撃者～」(約30分)	グラフィック・デザインの100年	5人
2月5日(日) 午前10時～、午後2時～	ミュージアム・シアター「パブリカ」（90分）	美術館 de 氷まつり2017	26人

コンサート

より幅広い層の市民に美術館に親しんでもらうため、展覧会の内容等にあわせて他団体と連携し、美術館内でコンサートを開催した。



レクチャーコンサート「祝祭・モーツァルト in 北海道2016
煌めくモーツァルトの室内楽」

平成28年度

開催日時	内容	出演者	会場	主催	参加者数
5月27日(金) 午後6時30分～	ミュージアムコンサート「佐々木源市ジャズライブ」	佐々木源市氏（ベース）、 NANA氏（ピアノ）	当館主展示室 （要観覧券）	篠山紀信展実行委員会	84人
6月24日(金) 午後5時～、5時 30分～、6時～	イブニング・ミニコンサート（お出迎え演奏）	和光愛人氏（ヴァイオリン）	当館ロビー （入場無料）	篠山紀信展実行委員会	75人
6月25日(土) 午後5時～、5時 30分～、6時～	イブニング・ミニコンサート（お出迎え演奏）	井上美代志氏（フルート）	当館ロビー （入場無料）	篠山紀信展実行委員会	105人
11月5日(土) 午後5時～	レクチャーコンサート 「祝祭・モーツァルト in 北海道2016 煌めくモーツァルトの室内楽」	レクチャー：海老澤 敏氏（尚美学 園大学大学院名誉教授）、演奏：浜島 康子氏（ヴァイオリン）ほか	当館ロビー （入場無料、応募制）	北海道モーツァルト協 会、帯広美術館振興会 と共催	137人

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ機運を醸成すべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行うことで施設や事業の案内、周知に努めるとともに、一週間を通じて開館日とし、各種の教育普及事業を開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起し、利用の促進を図った。

平成27年度

月 日	実 施 内 容
11月 1 日(日)	○図録フェア
11月 2 日(月)	○臨時開館 ○図録フェア
11月 3 日(火・祝)	○図録フェア
11月 4 日(水)	○図録フェア
11月 5 日(木)	○図録フェア
11月 6 日(金)	○図録フェア
11月 7 日(土)	○キッズ・ミュージアム 「ねんどニャンコ」 ○「猫まみれ展」ギャラリー・ツアー ○図録フェア

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「羊、羊、牛、牛」／主展示室「猫まみれ展」

平成28年度

月 日	実 施 内 容
11月 1 日(火)	○図録フェア
11月 2 日(水)	○図録フェア
11月 3 日(木・祝)	○ミュージアム・シアター 「カリガリ博士」 ○図録フェア
11月 4 日(金)	○図録フェア
11月 5 日(土)	○図録フェア
11月 6 日(日)	○ミュージアム・シアター 「メトロポリス」 ○図録フェア
11月 7 日(月)	○臨時開館 ○図録フェア

期間中の開催展覧会
コレクション・ギャラリー「森に憩う／山を謳う」／主展示室「国立美術館・煌めく名作たち」

おびひろ氷まつり協賛事業

例年2月初めの週末には、帯広美術館が立地する帯広市緑ヶ丘公園を主会場のひとつに、「おびひろ氷まつり」が開催される。本事業は、「おびひろ氷まつり」の来場者に、美術館に親しんでもらうべく企画・実施したもの。ゲームやワークショップ、特設ロビーカフェの設置など多彩なプログラムを設け、美術館に足を運ぶきっかけ作りとした。なお本事業は、帯広美術館振興会、帯広美術館ボランティア「しらかばの会」と共同して実施した。

平成27年度

開催日＝2月5日(金)～7日(日)

会場＝当館ロビー、主展示室、講堂ほか

参加者＝計741人

開催展覧会＝思考するアート、時間のかたち

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲みものを提供した。

日時＝2月5日(金)、6日(土) 午後5時30分～8時

会場＝当館ロビー、廊下(飲みもの有料)

参加者数＝72人

・てんらんかい de たからさがしゲーム

特別展「思考するアート」に関連して、作品鑑賞に重点を置いた子ども向けクイズゲームを実施し、作品に親しんでもらうことを図った。

日時＝2月6日(土) 午前9時30分～午後8時

7日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝401人

・カラフルキャンドルをつくろう！

当館講堂にろうそくなどを用意し、自由参加型ワークショップを催した。

日時＝2月6日(土)～7日(日) 午前10時～午後3時

会場＝当館講堂(参加無料)

参加者数＝268人

平成28年度

開催日＝2月3日(金)～5日(日)

会 場＝当館ロビー、主展示室、講堂ほか

参加者＝計544人

開催展覧会＝グラフィック・デザインの100年、森に憩う／山を謳う

主 催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

協 力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

プログラム

・美術館 de 氷まつり2017プレ企画「おえかきランタンづくり」

「おびひろ氷まつり」の実施に先立ち、自由参加形式のワークショップとして、紙袋に絵を描いてもらい、オリジナルのランタンを作る事業を行った。制作したランタンは、「おびひろ氷まつり」の会期中、館外に設置・点灯した。

日 時＝1月4日(木)～31日(火) 午前9時30分～午後5時

会 場＝当館ロビー(参加無料)

参加者数＝192人

・ナイト・ミュージアムツアー

展示室やバックヤードを紹介し、美術館に親しんでもらうことを図った。

日 時＝2月3日(金) 午後6時～(約30分)

4日(日) 午後5時～(約30分)

会 場＝当館コレクション・ギャラリー、荷解室(要観覧券)

参加者数＝22人

・ロビーカフェ de 冬の花火

「おびひろ氷まつり」主会場で行われる花火の打ち上げにあわせ、当館ロビーに特設カフェを設営し、飲みものを提供した。

日 時＝2月3日(金)、4日(土) 午後5時30分～7時30分

会 場＝当館ロビー、廊下(飲みもの有料)

参加者数＝72人

・てんらんかい de たからさがしゲーム！

特別展「グラフィック・デザインの100年」に関連して、作品鑑賞に重点を置いた子ども向けクイズゲームを実施し、作品に親しんでもらうことを図った。

日 時＝2月4日(土) 午前9時30分～午後7時

5日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会 場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝232人

・ミュージアム・シアター「パプリカ」

日 時＝2月5日(日) 午前10時30分～、午後2時～(90分)

会 場＝当館講堂(入場無料)

参加者数＝26人



「おえかきランタン」点灯風景



「てんらんかい de たからさがしゲーム！」

団体オリエンテーション

団体観覧者のうち希望するグループに対し、講堂にて映像を使用しながら当館の概要と開催中の特別展およびコレクション・ギャラリーの内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂（無料、事前申込制）

平成27年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
バルビゾン—19世紀の絵画と写真	4月1日(水)～4月15日(水)	0回	0人
みんなのための はじめて・アート	4月24日(金)～6月21日(日)	25回	771人
勅使河原蒼風の眼と美の潮流	7月4日(土)～9月6日(日)	17回	658人
猫まみれ展	9月13日(日)～11月23日(月・祝)	17回	512人
思考するアート	12月3日(木)～3月16日(水)	7回	294人

平成28年度

関連展覧会	展覧会会期	実施回数	利用者数
篠山紀信展	4月16日(土)～6月26日(日)	12回	313人
歌麿とその時代	7月6日(水)～8月21日(日)	35回	1295人
帯広美術館物語	9月1日(木)～10月13日(木)	9回	344人
国立美術館・煌めく名作たち	10月22日(土)～11月27日(日)	13回	332人
グラフィック・デザインの100年	12月10日(土)～3月23日(木)	5回	120人

セルフガイド（クイズ）

コレクション・ギャラリーおよび主展示室で開催中の展覧会について、出品作品数点に関するクイズを作成し、希望する観覧者に配布した。それぞれの設問は、主として小学校中学年を対象とし、作品の主題や技法、造形要素等に注意を喚起することで、作品鑑賞の一助となるように努めた。

平成27年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
井田照一展	4月1日(木)～4月15日(木)	コレクション・ギャラリー	27人
バルビゾン—19世紀の絵画と写真	4月1日(木)～4月15日(木)	主展示室	54人
水の情景	4月24日(金)～6月21日(日)	コレクション・ギャラリー	518人
みんなのための はじめて・あーと	4月24日(金)～6月21日(日)	主展示室	588人
花・彩る	7月4日(土)～9月6日(日)	コレクション・ギャラリー	1401人
勅使河原蒼風の眼と美の潮流	7月4日(土)～9月6日(日)	主展示室	851人
羊、羊、牛、牛	9月13日(日)～11月23日(月・祝)	コレクション・ギャラリー	811人
猫まみれ展	9月13日(日)～11月23日(月・祝)	主展示室	1317人
時間のかたち	12月3日(木)～3月16日(木)	コレクション・ギャラリー	316人
思考するアート	12月3日(木)～3月16日(木)	主展示室	406人

平成28年度

関連展覧会	展覧会会期	会場	利用者数
身体力！	4月16日(土)～6月26日(日)	コレクション・ギャラリー	612人
北の造形セレクション	7月6日(木)～10月13日(木)	コレクション・ギャラリー	1204人
歌麿とその時代	7月6日(木)～8月21日(日)	主展示室	1250人
帯広美術館物語	9月1日(木)～10月13日(木)	主展示室	226人
森に憩う／山を謳う	10月22日(土)～3月23日(木)	コレクション・ギャラリー	654人
国立美術館・煌めく名作たち	10月22日(土)～11月27日(日)	主展示室	278人
グラフィック・デザインの100年	12月10日(土)～3月23日(木)	主展示室	312人

教員研修プログラム

小学校・中学校・高等学校等の教員に長期休業期間中の自己研修の機会を提供するとともに、美術館施設を活用した学習や美術の鑑賞事業についての実践的なヒントを提供するために、教員研修プログラムを実施した。

研修内容は、当館で展覧会ごとに作成・使用しているセルフガイド（クイズ）を参加者各自が作成し、相互に検証するグループワークを中心に据えた。併せて、館内諸施設の見学やボランティア活動の体験を行い、美術館活動全般について広く研修できるように留意した。

平成28年度

受入期間＝8月3日(水)～8月5日(金)

受入人数＝6人（北海道立帯広聾学校、芽室町立芽室南小学校、帯広市立緑丘小学校、帯広市立北栄小学校、帯広市立若葉小学校、帯広市立花園小学校）

月 日	午 前 (10:00～12:00)		昼休	午 前 (13:00～16:00)		
8月3日(水)	10:00～11:00 (60分) 開会、講義【帯広美術館の事業概要、展覧会運営】	11:00～12:00 (60分) 【施設見学】		13:00～14:00 (60分) 演習【来館者サービスについて～オリエンテーション体験】	14:00～15:00 (60分) 【展覧会見学】	15:00～16:00 (60分) まとめ
8月4日(木)	10:00～12:00 (120分) ワークショップⅠ【鑑賞ツール「セルフガイド」のための美術作品の選定、クイズ作成および発表】			13:00～15:00 (120分) ワークショップⅡ【ボランティア体験（ショップおよびティーラウンジで接客体験）】		15:00～16:00 (60分) まとめ
8月5日(金)	10:00～12:00 (120分) ワークショップⅢ【「ビジュツの世界でフシギ発見！」体験】			13:00～14:00 (60分) ワークショップⅣ【鑑賞ツール「アートカード」活用体験】	14:00～15:00 (60分) ディスカッション【美術館と学校連携について】	15:00～16:00 (60分) まとめ

出張アート教室

小学校、中学校、高等学校および特別支援学校の学校関係者に道立美術館等が学習の場として広く活用できることを認識してもらふこと、また美術館等の所蔵作品の有効利用を図ることを目的として、各道立美術館等が主催となって実施した事業。学芸員が学校に美術館の所蔵作品を持参して出向き、児童、生徒に実物を見せながらわかりやすく鑑賞の手ほどきを行った。



「美術のみ・か・たー3つの扉」
音更町立南中音更小学校

平成27年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
10月27日(火)	音更町立木野東小学校第5学年	版画による表現 (プリントアートに関連し、多賀新《魚 No.17 (シーラカンス)》、小林敬生《蘇生の刻一緑の星一》を紹介)	野田佳奈子(当館学芸員)	125人
11月13日(金)	北海道帯広養護学校第1学年	版画による表現 (プリントアートに関連し、多賀新《魚 No.17 (シーラカンス)》、小林敬生《蘇生の刻一緑の星一》を紹介)	藤原乃里子(当館主任学芸員)	18人

平成28年度

実施日	学校名・学年	授業名・内容	担当学芸員	人数
10月27日(木)	音更町立南中音更小学校第1～6学年	美術のみ・か・たー3つの扉 (能勢真美《自画像》、多賀新《夢神》、マリア・サッシ《イタリア航路、南アメリカ》を紹介しながら、3つの鑑賞法を実践。)	野田佳奈子(当館学芸員)	10人
11月10日(木)	中札内村立中札内中学校第1～3学年	美術のみ・か・たー3つの扉 (能勢真美《自画像》、多賀新《夢神》、マリア・サッシ《イタリア航路、南アメリカ》を紹介しながら、3つの鑑賞法を実践。)	五十嵐聡美(当館学芸課長)	87人

学校教育との連携

中学校や高校の「職場体験学習」などの授業を受け入れ、美術館教育と学校教育との連携を図った。各授業では美術館の施設や活動などについて、当館職員が適宜、説明や指導にあたり、とともに、美術館業務やボランティア活動の体験も行った。また、教員との意見交換も含めた研修の機会も設けた。

平成27年度

実施日	連携機関（学校名等）	事業名・内容	人数
4月1日(木)～平成28年3月31日(木)	帯広大谷短期大学、北海道教育大学	キャンパス・パートナーシップ制度	197人
5月1日(金)	帯広柏葉高等学校・帯広三条高等学校	展覧会鑑賞・施設見学	41人
5月30日(土)	帯広大谷短期大学	博物館実習「見学実習」	8人
7月9日(木)	音更町教育研究サークル 図工・美術サークル	研修	3人
7月28日(火)	国立科学博物館、(財)日本博物館協会、十勝管内博物館学芸員等協議会、帯広市教育委員会	教員のための博物館の日 美術館ガイドツアー「美術館の歩き方」	20人
7月28日(火)～8月23日(日)	帯広市立南町中学校3年生	夏季休業中における校外学習	171人
7月28日(火)～8月23日(日)	帯広市第五中学校2年生	夏季休業中における校外学習	109人
8月26日(木)～28日(金)	帯広農業高等学校2年生	インターンシップ	2人
9月15日(火)～17日(木)	帯広市立南町中学校3年生	「思考するアート」展との連携授業（制作）	199人
10月14日(木)～16日(金)、20日(火)	音更町立下音更中学校2年生	「思考するアート」展との連携授業（鑑賞）	144人
10月28日(木)	帯広市第五中学校	職場体験学習	2人
11月20日(金)～3月16日(木)	帯広大谷短期大学	インターンシップ	8人
12月5日(土)	帯広大谷短期大学	博物館展示論（学外授業）	12人
12月23日(木)～1月13日(木)	帯広市立南町中学校1、2年生	冬季休業中における校外学習	399人
2月17日(木)	帯広市立帯広小学校6年生	「みらい教室」（会場：帯広小学校）	30人
2月20日(土)	池田町立池田中学校美術部	展覧会鑑賞、施設見学	11人

平成28年度

実施日	連携機関（学校名等）	事業名・内容	人数
4月1日(金)～平成29年3月31日(金)	帯広大谷短期大学、北海道教育大学	キャンパス・パートナーシップ制度	182人
5月13日(金)	帯広市立帯広第八中学校2年生	展覧会鑑賞、施設見学	158人
6月5日(日)	北海道教育大学釧路校美術研究室	研修	15人
7月7日(木)	音更町教育研究サークル 図工・美術サークル	美術館を利用した鑑賞授業研修会	5人
7月20日(火)	帯広市立清川中学校	展覧会鑑賞、施設見学	37人
7月26日(火)	国立科学博物館、(財)日本博物館協会、十勝管内博物館学芸員等協議会、帯広市教育委員会	教員のための博物館の日 美術館ガイドツアー「美術館の歩き方」	15人
9月22日(木)～11月6日(日)	帯広大谷高等学校放送局	放送局インタビュー	1人
11月1日(火)、2日(木)	帯広市立南町中学校2年生	出前授業「浮世絵入門」（講師＝野田佳奈子・当館学芸員）	180人
11月19日(土)	北海道帯広緑陽高等学校3年生	職業インタビュー	1人
11月25日(金)	北海道教育大学釧路校日本文化講座	展覧会鑑賞、施設見学	5人
2月23日(木)	帯広市立帯広小学校6年生	「みらい教室」（会場：帯広小学校）	30人

他団体との連携

帯広美術館ボランティア「しらかばの会」や地元公共機関など他団体が主催する事業に会場提供や講師派遣など協力を行い、美術館活動の普及に努めた。

平成27年度

実施日	主催団体名	事業名・内容	人数
6月17日(木)	帯広市医師会十五日会	講演会「展覧会のウラ舞台～アートがほほえむまで」 (講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	50人
7月5日(日)	北海道新聞帯広支社、帯広美術館	トーク＆デモンストレーション「いけばなの歴史と草月」 (トーク＝平井敏明氏、デモンストレーション＝鈴木泉晶氏)	22人
7月11日(土)	北海道新聞帯広支社、帯広美術館	美術講演会「勅使河原蒼風 伝統に生き、現代をひらく」 (講師＝蘆科英也氏・千葉市美術館学芸課長代理)	20人
7月12日(日)	北海道新聞帯広支社、帯広美術館	道新ぶんぶんクラブ特別鑑賞会「草月流秘蔵コレクション展」 (講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	57人
7月25日(土)	北海道新聞帯広支社、帯広美術館	ワークショップ「おいしい、たのしい！お花でスイーツ」 (講師＝志村みづえ氏・いけばな作家、食花研究家)	20人
7月26日(日)	北海道新聞帯広支社、帯広美術館	ランチ＆トーク「夏の花からの贈り物」 (講師＝志村みづえ氏・いけばな作家、食花研究家)	20人
8月2日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座(講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	20人
8月8日(土)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズアートフェスタ ワークショップ「アレンジフラワー」と展覧会鑑賞	13人
8月9日(日)	帯広市教育委員会ほか	「よりどりみどりがおかフェスタ！」スタンプラリー参加、ミュージアム・ミステリー2015サマー「フラワーストーリー」の実施	72人
10月19日(月)	豊頃町教育委員会	豊寿大学一般教養講座「美術館の舞台裏」(講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	60人
10月25日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「まみれてみたい！猫になら。～招き猫コレクション 「猫まみれ展」への誘い～」(講師＝藤原乃里子・当館主任学芸員)	30人
2月14日(日)	浦幌町立博物館	博物館講座「アイヌ工芸品展〈木と生きる：アイヌのくらしと木の造形〉を振り返って」(講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	20人
2月27日(土)、28日(日)	帯広美術館振興会	ワークショップ「いきなり！大人の絵画入門」(講師＝中谷有逸氏・美術家)	20人

平成28年度

実施日	主催団体名	事業名・内容	人数
4月15日(金)	篠山紀信展実行委員会ほか	アーティスト・トーク(講師＝篠山紀信氏)	300人
4月15日(金)～5月22日(日)、 5月31日(火)～6月26日(日)	篠山紀信展実行委員会ほか	未来を担う10代のためのフォトコンテスト 「十勝の写真力～未来を見つめる視線の先に～」と特別展示	38人
4月24日(日)	篠山紀信展実行委員会ほか	ギャラリー・ツアー(講師＝栗谷昌宏氏・FM-JAGA DJ)	77人
5月6日(金)	篠山紀信展実行委員会ほか	デジカメ・スマホでも！夜桜撮影会 (講師＝塩原真氏・十勝毎日新聞社カメラマン)	21人
5月7日(土)	篠山紀信展実行委員会ほか	今度はあなたが被写体に！桜と記念写真撮影会 (撮影＝宮本昌幸氏・カメラマン)	5組
5月22日(日)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「GOD, STAR, SPECTACLE, BODY, ACCIDENTS ー篠山紀信展を楽しむための5つのキーワードー」 (講師＝藤原乃里子・当館主任学芸員)	35人
5月27日(金)	篠山紀信展実行委員会ほか	ミュージアム・コンサート「佐々木源市ジャズライブ」 (出演＝佐々木源市氏・ベース、NANA氏・ピアノ)	84人
6月5日(日)、19日(日)	篠山紀信展実行委員会ほか	「夏目雅子の時代」(ミニトーク、参考上映＝「魚影の群れ」) (講師＝高橋寿美雄氏・釧路相米慎二研究会員)	121人
6月12日(日)	篠山紀信展実行委員会ほか	今度はあなたが被写体に！美術館で記念写真撮影会 (撮影＝箕浦信雄氏・カメラマン)	16組
6月20日(月)	音更町教育委員会ほか	OOJCオープンカレッジ「カラー・パワー／暮らしの色、アートの色」 (講師＝五十嵐聡美・当館学芸課長)	27人

実施日	主催団体名	事業名・内容	人数
6月24日(金)、25日(土)	篠山紀信展実行委員会ほか	イヴニング・ポイントラリー	47人
6月24日(金)	篠山紀信展実行委員会ほか	イヴニング・ミニコンサート [お出迎え演奏] (出演=和光愛人氏・ヴァイオリン)	75人
6月25日(土)	篠山紀信展実行委員会ほか	イヴニング・ミニコンサート [お出迎え演奏] (出演=井上美代志氏・フルート)	105人
7月6日(水)～8月21日(日)	帯広美術館振興会ほか	浮世絵をもっと楽しもう！／記念撮影やぬり絵コーナーを設置	5,809人
7月10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)、 8月7日(日)、14日(日)、21日(日)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	ロビー茶屋／抹茶・煎茶などをお菓子付きで呈茶	140人
8月7日(日)	帯広市教育委員会ほか	「よりどりみどりがおかフェスタ！」スタンプラリー参加、ミュージアム・ミ ステリー2016サマー「ビジュツの世界でフシギ発見！」の実施	26人
8月9日(火)	道新文化センター	『歌麿とその時代』展を2倍楽しもう！(講師=野田佳奈子・当館学芸員)	14人
10月2日(日)	帯広美術館振興会ほか	スペシャル・ギャラリートーク「街に美術館がやってきた！～帯広美術館の 誘致活動から現在まで～」(講師=松井由孝氏・前帯広百年記念館長)	22人
10月2日(日)	帯広美術館振興会ほか	スペシャル・ギャラリートーク「美術がひらく地域の営み～十勝の美術・美 術館～」(講師=松井由孝氏・前帯広百年記念館長)	28人
10月23日(日)、30日(日)、11月6日 (日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)	「煌めく名作たちを観る会」実行委員会	〈プレミアム鑑賞会〉私が選ぶこの一点 講師=齊藤隆博氏、龍川秀敏氏、 中谷有逸氏、宮澤克忠氏、近藤みどり氏、小笠原洋子氏ほか	299人
11月5日(土)	帯広美術館振興会、北海道モーツァルト 協会ほか	レクチャーコンサート「祝祭・モーツァルト in 北海道2016 煌めくモーツァ ルトの室内楽」(講演=海老澤敏氏、演奏=浜島泰子氏、高杉奈梨子氏、前南 有氏、藤田淳子氏)	137人
11月19日(土)	音更町教育委員会	図書館芸術鑑賞講座「日本の名画と出会う」(講師：五十嵐聡美・当館学芸課長)	32人
12月17日(土)	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」	オビビ・キッズアートフェスタ ワークショップ「とび出す！アート」と展覧会鑑賞	9人
3月18日(土)	浦幌町立博物館	博物館講座「ポスター美術の歴史をひもとく」(講師：野田佳奈子・当館学芸員)	7人

その他

平成27年度

・能の手法で語る『吾輩は猫である』

特別展「猫まみれ展」に関連して、帯広美術館振興会との共催により、夏目漱石の小説『吾輩は猫である』の一場面を能の手法で公演する事業を実施した。

開催日＝11月22日(日) 午後5時30分～7時

会場＝当館ロビー（要観覧券、応募制）

参加者＝73人

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

出演＝安田 登氏(下掛宝生流ワキ方)、
槻宅 聡氏(森田流笛方)

平成28年度

・イヴニング・ポイントラリー

特別展「篠山紀信展 写真力」に関連して、来館者を対象にスタンプカードを発行。館内3カ所をめぐるポイントラリーを実施した。

開催日＝6月24日(金)～25日(土) 午後4時30分～6時30分

会場＝当館主展示室、ミュージアム・ショップ、ティー・ラウンジ

参加者数＝267人（うちポイント達成者47人）

・もっと浮世絵を楽しもう！

特別展「歌麿とその時代」に関連して、主展示室内に記念写真撮影やぬりえを楽しむコーナーを設けた。

開催日＝7月6日(水)～8月21日(日) 午前9時30分～午後5時

会場＝当館主展示室（要観覧券）

参加者数（観覧者数）＝5,809人

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

・アニバーサリー・ウィーク

特別展「帯広美術館物語」に関連して、開館記念日をはさむ8日間に、館内5カ所をめぐるポイントラリーを実施した。

開催日＝9月17日(土)～25日(日) 午前9時30分～午後4時30分

会場＝当館主展示室、コレクション・ギャラリー、ミュージアム・ショップ、ティー・ラウンジ、ロビー

参加者数＝532人（うちポイント達成者129人）

平成27年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			平成27年度末 所 蔵 点 数		受 託 作 品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成27年度	計		
油 彩	86	11.0%	0	0	0	86	11.0%	31	0	31	117	14.0%
日 本 画	8	1.0%	0	0	0	8	1.0%	1	0	1	9	1.1%
水 彩・素 描	35	4.5%	0	0	0	35	4.5%	10	0	10	45	5.4%
版 画	338	43.2%	0	0	0	338	43.1%	1	1	2	340	40.7%
彫 塑	15	1.9%	0	0	0	15	1.9%	2	0	2	17	2.0%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イ ン	255	32.6%	0	0	0	255	32.5%	0	0	0	255	30.6%
写 真	45	5.7%	0	2	2	47	6.0%	4	0	4	51	6.1%
合 計	783	100.0%	0	2	2	785	100.0%	49	1	50	835	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受 託 作 品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成27年度	計		
道 東 の 美 術	284	36.3%	0	0	0	284	36.2%	39	0	39	323	38.7%
プ リ ン ト ア ー ト	640	81.7%	0	2	2	642	81.8%	5	1	6	648	77.6%
西 洋 の 美 術	76	9.7%	0	0	0	76	9.7%	6	0	6	82	9.8%
区 分 外	12	1.5%	0	0	0	12	1.5%	4	0	4	16	1.9%

* 複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄贈者
2015001	写真	出店久夫	磯岩石遁走図 〈A Fugue from the Sea〉	2005 (平成17)	ゼラチンシルバープリント、寒冷紗、 パネル	155.0×624.0 (3点組、各155.0×208.0)	出店久夫氏
2015002	写真	出店久夫	地と母子像	2010～2011 (平成22～23)	ゼラチンシルバープリント、着彩、 パネル	182.0×182.0	出店久夫氏

受託

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	寄託者
2015K001	版画	歌川広重	東海道五十三次 (行書版)	1842 (天保13) 年頃	木版、紙	各19.5×31.5 (全55枚揃)	個人寄託

平成28年度 作品収集状況

【分野別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			平成28年度末 所 蔵 点 数		受 託 作 品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成28年度	計		
油 彩	86	11.0%	0	2	2	88	11.1%	31	0	31	119	14.1%
日 本 画	8	1.0%	0	2	2	10	1.3%	1	0	1	11	1.3%
水 彩・素 描	35	4.5%	0	0	0	35	4.4%	10	0	10	45	5.4%
版 画	338	43.1%	0	1	1	339	42.9%	2	0	2	341	40.5%
彫 塑	15	1.9%	0	0	0	15	1.9%	2	0	2	17	2.0%
工 芸	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%	0	0	0	1	0.1%
デ ザ イ ン	255	32.5%	0	0	0	255	32.3%	0	0	0	255	30.3%
写 真	47	6.0%	0	0	0	47	5.9%	4	2	6	53	6.3%
合 計	785	100.0%	0	5	5	790	100.0%	50	2	52	842	100.0%

【収集区分別】

区 分	前年度末 作品点数		本年度収集点数			所蔵 点数	比 率	受 託 作 品			作 品 総 数	
			購 入	受 贈	合 計			前年度末	平成27年度	計		
道 東 の 美 術	284	36.2%	0	5	5	289	36.6%	39	2	41	330	39.2%
プ リ ン ト ア ー ト	642	81.8%	0	1	1	643	81.4%	6	2	8	651	77.3%
西 洋 の 美 術	76	9.7%	0	0	0	76	9.6%	6	0	6	82	9.7%
区 分 外	12	1.5%	0	0	0	12	1.5%	4	0	4	16	1.9%

＊複数の収集区分に重複する作品があるため、構成比の合計は100%を超える。

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法（cm）	寄贈者
2016001	油彩	能勢真美	ゴルフを遊ぶ庭	1931（昭和6）	油彩、キャンバス	130.5×193.5	学校法人 中央工学校
2016002	油彩	矢柳 剛	柿	1981（昭和56）	油彩、アクリル絵具、 キャンバス	60.0×45.5	個人寄贈
2016003	版画	矢柳 剛	Universe	1974（昭和49）	シルクスクリーン、紙	52.0×37.5	個人寄贈
2016004	日本画	羽生 輝	晩照（悠々鉏路湿原）	2014（平成26）	岩絵具、板	181.5×227. 1	羽生 輝氏
2016005	日本画	八重柏冬雷	花鳥風月～寂韻の響き～	2012（平成24）	墨、白抜き剤、和紙	各180.0×90.0（4点組）	八重柏冬雷氏

受託

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法材質	寸法（cm）	寄託者
2016K001	写真	戸張良彦	143.121065,43.567846 96°	2013（平成25）	デジタルC プリント	100.0×150.0	戸張良彦氏
2016K002	写真	戸張良彦	143.618034,42.699446 107°	2015（平成27）	デジタルC プリント	100.0×150.0	戸張良彦氏

図版目録

凡例

1. この目録には、平成27年4月1日から平成29年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は、材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油彩
 2. 日本画
 3. 版画
 4. 写真
3. 作品は各分野ごとに作家の姓の50音順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は、制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は、次の通りである。
作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法材質、寸法、初出展覧会（開催年／会場／受賞等）、収集年度・収集の経緯、作品番号（収集区分）
5. 寸法はセンチメートルを単位とした（縦×横）。また、組作品は、主要な1点を選択し、寸法を記載した。
6. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道 東 の 美 術：十勝・釧路・根室・オホーツクの北海道東部4管内にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西 洋 の 美 術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
7. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

能勢真美

NOSE Masami
1897 (明治30) ~ 1982 (昭和57)

ゴルフを遊ぶ庭

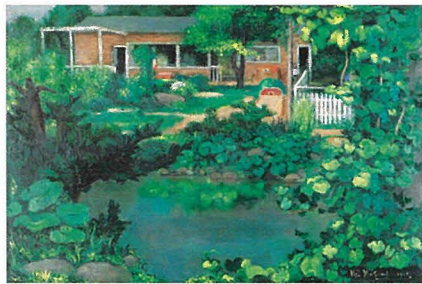
Garden for Playing Golf

1931 (昭和6)

油彩、キャンバス

130.5×193.5

平成28年度・学校法人 中央工学校寄贈
2016001 (道東の美術)



矢柳 剛

YAYANAGI Go
1933 (昭和8) ~

柿

Persimmons

1981 (昭和56)

油彩、アクリル絵具、キャンバス

60.0×45.5

平成28年度・個人寄贈
2016002 (道東の美術)



日本画

羽生 輝

HANYU Hikaru
1941（昭和16）～

晩照（悠々釧路湿原）

The Setting Sun-Calming Kushiro Marsh (*Kushiro Shitsugen*)

2014（平成26）

岩絵具、板

181.5×227.1

第41回創画展（2014／東京都美術館）

平成28年度・羽生輝氏寄贈

2016004（道東の美術）



八重柏冬雷

YAEGASHI Torai
1954（昭和29）～

花鳥風月～寂韻の響き～

The Beauty of Nature- Sound of Silence

2012（平成24）

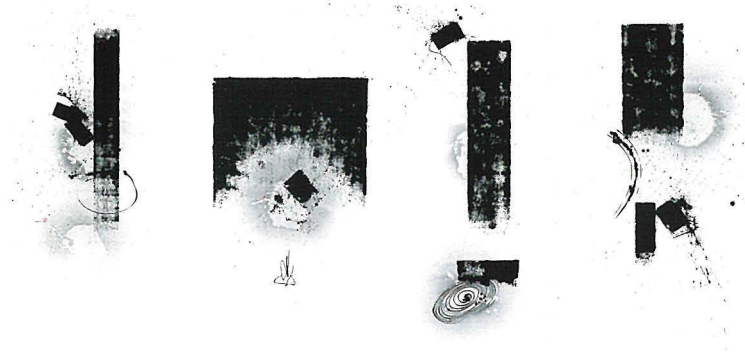
墨、白抜き剤、和紙

各180.0×90.0（4点組）

「The Sho あしたを書く」（2012／横浜赤レンガ倉庫）

平成28年度・八重柏冬雷氏寄贈

2016005（道東の美術）



版 画

歌川広重

UTAGAWA Hiroshige
1797(寛政9) ~ 1858 (安政5)

東海道五十三次 (行書版)

The Fifty-three Stages of the Tokaido, Gyosho Version

1842 (天保13) 年頃

木版、紙

各19.5×31.5 (全55枚揃)

平成27年度・個人寄託

2015K001 (プリントアート)



矢柳 剛

YAYANAGI Go
1933 (昭和8) ~

Universe

1974 (昭和49)

シルクスクリーン、紙

52.0×37.5

平成28年度・個人寄贈

2016003 (道東の美術／プリントアート)



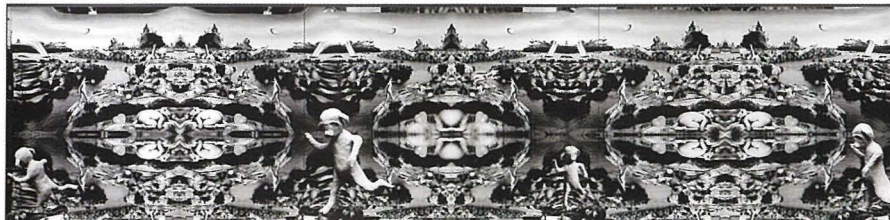
写真

出店久夫

DEMISE Hisao
1945（昭和20）～

磯岩石遁走図〈A Fugue from the Sea〉 A Fugue from the Sea

2005（平成17）
ゼラチンシルバープリント、寒冷紗、パネル
155.0×624.0（3点組、各155.0×208.0）
個展「さまざまな眼144 有象無象戯画」（2005／かわさき IBM 市民ギャラリー）
平成27年度・出店久夫氏寄贈
2015001（プリントアート）



出店久夫

DEMISE Hisao
1945（昭和20）～

地と母子像

Madonna and Child on the Earth
2010～2011（平成22～23）
ゼラチンシルバープリント、着彩、パネル
182.0×182.0
「思考するアート」（2015／北海道立帯広美術館）
平成27年度・出店久夫氏寄贈
2015002（プリントアート）



戸張良彦

TOBARI Yoshihiko
1955（昭和30）～

143.121065,43.567846 96°

2013（平成25）
デジタルCプリント
100.0×150.0
「道東アートフェイル2013」（2013／北海道立帯広美術館）
平成27年度・戸張良彦氏寄託
2016K001（道東の美術／プリントアート）



戸張良彦

TOBARI Yoshihiko
1955（昭和30）～

143.618034,42.699446 107°

2015（平成27）
デジタルCプリント
100.0×150.0
「思考するアート」（2015／北海道立帯広美術館）
平成27年度・戸張良彦氏寄託
2016K002（道東の美術／プリントアート）



美術作品の貸出

平成27年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティーヌ」	北海道立釧路芸術館	平成27年3月7日	「バリ・時間旅行―ポスターと
デザイン	レオネット・カビエッロ	食前酒「モーラン・キナ」		}	ガラスでたどる100年前の街角」
デザイン	ジュール・ドランシー (ジュール・イスナール) (原画)	細い瓶の高級酒「ニコラ」		平成27年7月10日	(平成27年4月10日～7月5日北 海道立釧路芸術館にて開催)
デザイン	ロビィ	食前酒「トニ=コーラ」			
デザイン	J. スプリング (アンドレ・ラブジェフスキー)	コニャック「ソラン」			
デザイン	ラコット	ペリエのりんご酒			
デザイン	ロジェ・ド・ヴァレリオ	チェリー酒「モーリス・シュヴァリエ」			
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ=キナ酒「ボナル」			
デザイン	ジョルジュ・ファーヴル	ビール「ティタン」			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」			
デザイン	ステファノー	タバコ「サファイア」			
デザイン	ジュール・ドランシー (ジュール・イスナール)	東洋のタバコ「ナジャ」			
デザイン	不詳	「ムニエ・チョコレート」			
デザイン	フィルマン・ブイセ	「プーラン・チョコレート」			
デザイン	レオネット・カビエッロ	フォワグラ・クリーム女王「金の鷺鳥」			
デザイン	レオネット・カビエッロ	甘草入りドロップ「カシュー・ラジョーニー」			
デザイン	ロベール・ファルキュッチ	服地「ベリー」			
デザイン	オルスキー	モッサン帽子			
デザイン	ジュール・シェレ	帽子の館			
デザイン	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」			
デザイン	G. ベルニ	最高級浄水機			
デザイン	フィリップ・シャブリエ	真の円形シャワー			
デザイン	レイモン・トゥルノン	理想の浴室			
デザイン	レオネット・カビエッロ	湿布綿「テルモジェーヌ」			
デザイン	不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジーヌ」			
デザイン	J. C.	野外コンロ			
デザイン	リュシアン・ルフエーヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」―赤と白			
デザイン	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」			
デザイン	レオネット・カビエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」			
デザイン	L. ビュジェット	ラジオ「グラモン」			
デザイン	ジャン・リュック	ラジオ「ミロマ」			
デザイン	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロスティル」			
デザイン	ジョルジュ・ド・フル (ジョゼフ・ヴァン・スリュイテール)	書籍「バリの暦」			
デザイン	レオネット・カビエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」			
デザイン	ロベール・ファルキュッチ	日刊紙「山(ラ・モンターニュ)」			
デザイン	パル(ジャン・ド・パレオローク)	雑誌「自由(ラ・リベルテ)」			
デザイン	アルベール・ベルジュヴァン	アヴランシュ=モン・サン・ミシェル湾			
デザイン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロート レック	ヴィクトル・ジョゼ著 「ドイツのパピロン」			
デザイン	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ―西部鉄道			
デザイン	アルフレッド・シュエブラク	ビアリッツのカジノ			
デザイン	アルフレッド・シュエブラク	トゥルーヴィルのカジノ、エデン・サロン			
デザイン	H. ララメ	カジノ、トゥルーヴィル=シュル=メール			
デザイン	ファリア(カンディード・アラゴ ネス・デ・ファリア)	カシャ=マジェスティック―シャモニー のウィンター・スポーツ			
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号―フランス北部鉄道			
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行―フランス北部鉄道			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道			
デザイン	カッサンドル (アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号 ートランザトランティク総合会社			
デザイン	里見宗次	コート・ダジュール			
デザイン	アルベール・ソロン	ファルマン航空			
デザイン	ラチャ	体育教室			
デザイン	ルイ・リュシアン・フォール	ザンドウ筋肉増強器			
デザイン	アロイス・カリジェ	アローザ			
デザイン	ピエール・ルイス	自動車「シトロエン」			
デザイン	ルネ・ヴァンサン (ルネ・マエル)	自動車「モトブロック」			
デザイン	ルネ・ヴァンサン (ルネ・マエル)	自動車「ビュイック」			
デザイン	シャルル・ティション	自転車「メトロポール」			
デザイン	オガロ (マリユス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」			
デザイン	ジョルジュ・ファーヴル	自転車「ディレクタ」			
デザイン	フリュージェ=ファン	最新型人間のオートバイ 「モネ=ゴワイヨン」			
デザイン	マックス・ボンティ	オートバイ「ブジョー」			
デザイン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロート レック	ディヴァン・ジャポネ			
デザイン	アンリ・ド・トゥールーズ=ロート レック	エグランティース嬢一座			
デザイン	テオフィル・アレクサンドル・ス タンラン	高名な「黒猫 (ル・シャ・ノワール)」 一座近日来演			
デザイン	テオフィル・アレクサンドル・ス タンラン	演劇「居酒屋」 ボルト=サン=マルタン劇 場			
デザイン	A. マンシオン	「肖像画・デッサン・宝石展」サル・デ・ ザール			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座			
デザイン	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座			
デザイン	ジュール・シュレ	新劇場—綱渡りとパントマイム			
デザイン	ルイ・ガリス	アルハンブラ—ヌイイの祭			
デザイン	ジョルジュ・ボワスリエ	「住宅展示会」グラン・パレ			
デザイン	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」—1900年の大望遠鏡			
デザイン	ルイ・ガリス	バロン・シネオラマ			
デザイン	エドゥアール・ジュレ	パノラマ館「世界旅行」 —1900年万国博覧会の呼び物			
デザイン	V. ギイエ	ギョーム人形劇場—1900年パリ万国博覧会			
油彩	神田日勝	画室D	神田日勝記念美術館	平成27年10月9日	「神田日勝と全道展」
油彩	寺島春雄	無題		}	(平成27年10月20日～12月6日
				平成27年12月16日	神田日勝記念美術館にて開催)

平成28年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	出品展覧会
油彩	神田日勝	画室E *	神田日勝記念美術館	平成28年4月28日	「神田日勝と北海道の独立美術」
油彩	寺島春雄	勲章の砦		}	(平成28年5月10日～7月3日
				平成28年7月7日	神田日勝記念美術館にて開催)

* は帯広市寄託作品。



特別観覧

平成27年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	1	0	0	1	3	0	5

平成28年度

内 訳	撮 影	複 写	熟 覧	原版使用	画像データ使用	その他	合 計
件 数	0	0	0	1	2	0	3



貸館事業

平成27年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
3月12日(土)	芸術講演会「伊福部昭の肖像」	柴橋伴夫	61人

名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿（平成29年 3月31日現在）

役職名	氏 名	現 職
会 長	後藤 秀彦	十勝管内博物館学芸職員協議会顧問
副会長	菅原 裕一	豊頃町教育委員会教育長
委 員	河端 則好	帯広市立帯広第五中学校校長
委 員	吉田 真弓	帯広大谷短期大学副学長
委 員	大河原茂美	帯広美術館ボランティア「しらかばの会」会長
委 員	鈴木順三郎	置戸町愛タウンふるさとづくり協議会顧問
委 員	原田 純子	根室市社会教育委員会委員長
委 員	島田 一恵	釧路市女性団体協議会役員
委 員	武田 光史	帯広商工会議所産業振興部中小企業相談所長
委 員	山本 健一	日本放送協会帯広放送局局長
委 員	石井 正子	（一般公募）
委 員	新津有輝子	（一般公募）

※委員の任期は平成27年 6月27日から平成29年 6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

平成27年度（平成28年 3月31日現在）

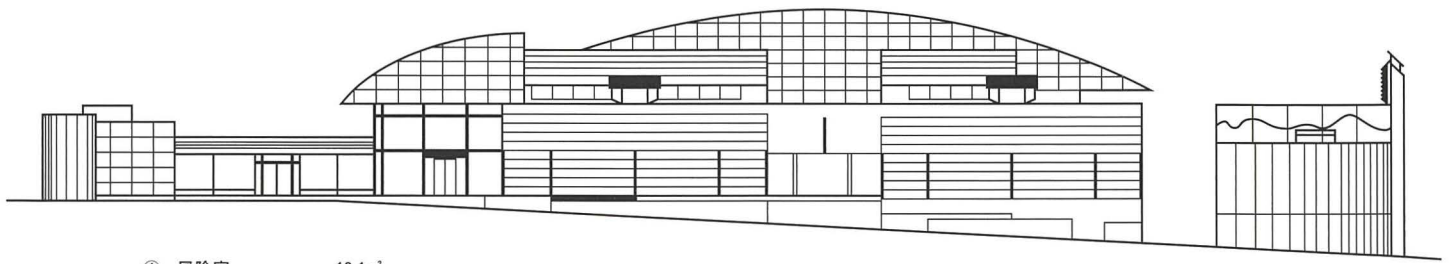
役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	角谷 浩司	平成27年 4月 1日
主査	益城 悟	平成26年 4月 1日
主任	黒沢 悟	平成27年 4月 1日
学芸課長	五十嵐聡美	平成26年 4月 1日
主任学芸員	藤原乃里子	平成24年 4月 1日
学芸員	野田佳奈子	平成26年 4月 1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主事（非常勤）	山崎 千里	平成14年 3月 1日
主事（非常勤）	中村 桂子	平成17年 4月 1日

平成28年度（平成29年 3月31日現在）

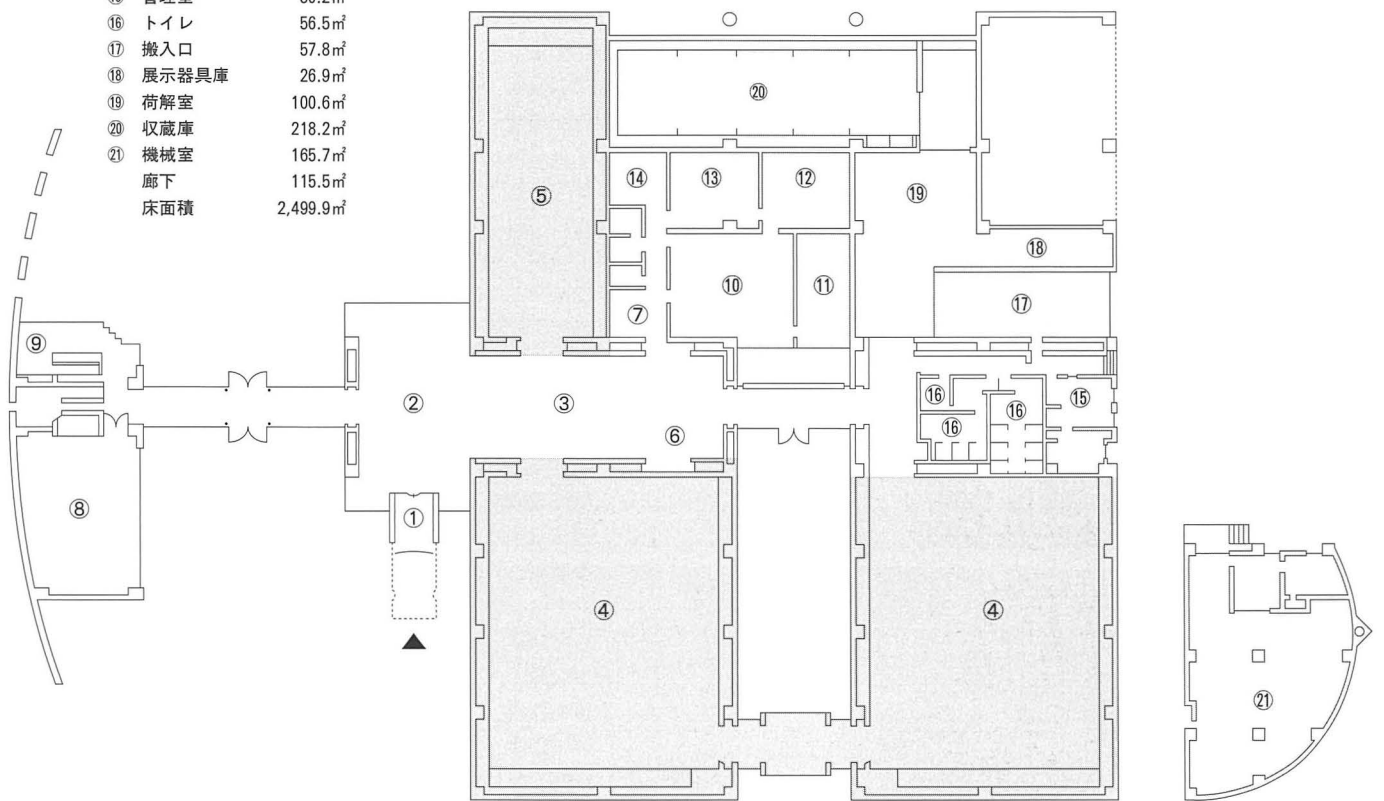
役職名	氏 名	発令年月日
館長（非常勤）	石堂 普之	平成25年 4月 1日
副館長兼総務課長	角谷 浩司	平成27年 4月 1日
主査	樋口 周子	平成28年 4月 1日
主任	黒沢 悟	平成27年 4月 1日
学芸課長	五十嵐聡美	平成26年 4月 1日
主任学芸員	藤原乃里子	平成24年 4月 1日
学芸員	野田佳奈子	平成26年 4月 1日
主事（非常勤）	高田 佳子	平成 9年11月 1日
主事（非常勤）	山崎 千里	平成14年 3月 1日
主事（非常勤）	辻倉 桂子	平成17年 4月 1日



館内案内図



①	風除室	12.1㎡
②	ロビー	123.1㎡
③	ホール	209.9㎡
④	主展示室	841.9㎡
⑤	常設展示室	209.5㎡
⑥	売店	
⑦	授乳コーナー	5.3㎡
⑧	講堂	98.4㎡
⑨	喫茶コーナー	36.7㎡
⑩	事務室	72.3㎡
⑪	館長室	32.9㎡
⑫	資料室	36.0㎡
⑬	会議室	35.7㎡
⑭	準備室	14.7㎡
⑮	管理室	30.2㎡
⑯	トイレ	56.5㎡
⑰	搬入口	57.8㎡
⑱	展示器具庫	26.9㎡
⑲	荷解室	100.6㎡
⑳	収蔵庫	218.2㎡
㉑	機械室	165.7㎡
	廊下	115.5㎡
	床面積	2,499.9㎡



展示部門 

管理・事務部門 

建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク（公開設計競技最優秀）
●基 本 設 計	アトリエアク・大洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 築	宮坂・萩原・曽根・市川・大道共同企業体（1、2期）
電気設備	相互電業㈱（1期）
空調調和衛生設備	森設備工業㈱（1期）
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体（2期）
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口企業共同体（2期）
衛生設備	フジ・梶山・中林 共同企業体（2期）
空気調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体（2期）
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
●仕 上	
〔外 装〕	
外 壁	大理石（ライムストーン） コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ鋼板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
〔内 装〕	
ロビー・ホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビー・ホール壁	大理石（ライムストーン） 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード、一部ラワン合板下地クロス EP 仕上
ロビー・ホール天井	合成樹脂系軽量骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板 EP 仕上

設備概要

●電 器 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関 123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW×3 消化ポンプ 5.5KW×3
電 灯 設 備	主展示室 LED 照明（調光式）、ハロゲンランプ 常設展示室 退色止蛍光灯（調光式）、ハロゲンランプ ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 LED 照明
電 話 設 備	電子ボタン電話
放 送 設 備	防災一般兼用アンテナ 160W
テレビ共聴設備	OCTV（帯広ケーブル TV）による共聴
火災報知設備	P1 級受信機
視聴覚設備	上降式スクリーン 1 式 音声・映像ラック 1 式 映写設備（16mmフィルム、35mmスライド） 1 式 液晶プロジェクター 1 式
●機 械 設 備	
空気調和設備	
設定温湿度	主展示室、特別展示室、収蔵庫、展示ケース 年間 22℃（20～24℃） 55%（50～60%） *（ ）内は可変調節範囲、設定精度は温度±2℃ 湿度±5%
熱源機器	
空冷チリングユニット	冷却能力 240,000Kcal/H
吸収式冷温水発生器	冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H
温 水 器	暖房能力 500,000Kcal/H
空気調和機	
主展示室	2 系統
常設展示室、荷解室	1 系統
展示ケース	1 系統
収蔵庫	1 系統
ロビー、ホール	1 系統
管理諸室	1 系統
衛生設備	
給水設備	市水道使用
排水設備	市下水道放流
給湯設備	電器温水器
消火設備	屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志 発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成・開館記念式 屋外彫刻除幕（平成 3 年 9 月21日）、一般公開（平成 3 年 9 月22日）
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞（平成 4 年 5 月21日授賞式）
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞（平成 4 年 6 月18日授賞式）
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞（建物）受賞（平成 4 年12月 4 日授賞式）
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部皎 発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞（平成 7 年12月 7 日授賞式）
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成（平成 8 年 6 月11日）
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式（平成 9 年 1 月17日）
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣 発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原修平 発令
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩 発令
平成13年10月	開館10周年記念式（平成13年10月31日）
平成16年 9 月	入館者100万人達成（平成16年 9 月26日）
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮 発令
平成23年11月	開館20周年記念式（平成23年11月21日）
平成25年 2 月	主展示室照明LED化工事（新エネルギー等率先導入推進事業）
平成25年 4 月	第 7 代館長 石堂普之 発令
平成25年11月	入館者150万人達成（平成25年11月30日）
平成28年 7 月	開館25周年記念展開催

観覧者数一覧

平成27年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待免除 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月1日 ゝ 3月16日 (267日)	17,002人 (64人)	755人 (94%)	44人 (6%)	/	799人	334人 (75%)	109人 (25%)	/	443人	/	/	/	/	3,415人 (95%)	178人 (5%)	3,593人	4,835人 (28%)	12,167人 (72%)
特 別 展	バルビゾン	4月1日 ゝ 4月15日 (13日)	762人 (59人)	112人 (96%)	5人 (4%)	/	117人	23人 (96%)	1人 (4%)	/	24人	133人 (99%)	2人 (1%)	/	135人	108人 (89%)	14人 (11%)	122人	398人 (52%)	364人 (48%)
	はじめて・あーと	4月24日 ゝ 6月21日 (51日)	2,800人 (55人)	119人 (98%)	2人 (2%)	/	121人	45人 (70%)	19人 (30%)	/	64人	113人 (97%)	3人 (3%)	/	116人	555人 (96%)	25人 (4%)	580人	881人 (31%)	1,919人 (69%)
	勅使河原蒼風の 眼と美の潮流	7月4日 ゝ 9月6日 (56日)	5,359人 (96人)	630人 (95%)	14人 (2%)	17人 (3%)	661人	778人 (94%)	11人 (1%)	39人 (5%)	828人	543人 (98%)	9人 (2%)	1人 (0%)	553人	621人 (95%)	32人 (5%)	653人	2,695人 (50%)	2,664人 (50%)
	猫まみれ展	9月13日 ゝ 11月23日 (63日)	9,704人 (154人)	961人 (96%)	28人 (3%)	9人 (1%)	998人	508人 (52%)	13人 (1%)	453人 (47%)	974人	3,167人 (95%)	128人 (4%)	24人 (1%)	3,319人	1,477人 (97%)	49人 (3%)	1,526人	6,817人 (70%)	2,887人 (30%)
	思考するアート	12月3日 ゝ 3月16日 (84日)	3,513人 (42人)	282人 (90%)	11人 (3%)	21人 (7%)	314人	148人 (25%)	77人 (13%)	358人 (62%)	583人	185人 (88%)	19人 (9%)	7人 (3%)	211人	657人 (92%)	59人 (8%)	716人	1,824人 (52%)	1,689人 (48%)
	計	5回 (267日)	22,138人 (405人)	2,104人 (95%)	60人 (3%)	47人 (2%)	2,211人	1,502人 (61%)	121人 (5%)	850人 (34%)	2,473人	4,141人 (95%)	161人 (4%)	32人 (1%)	4,334人	3,418人 (95%)	179人 (5%)	3,597人	12,615人 (57%)	9,523人 (43%)
合 計			39,140人 (469人)	2,859人 (95%)	104人 (3%)	47人 (2%)	3,010人	1,836人 (63%)	230人 (8%)	850人 (29%)	2,916人	4,141人 (95%)	161人 (4%)	32人 (1%)	4,334人	6,833人 (95%)	357人 (5%)	7,190人	17,450人 (45%)	21,690人 (55%)

平成28年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A=F+G (1日あたり)	個 人				団 体/前 売/リピーター				優 待 割 引				共 通 券			有料入館者計 F=B+C+D+E (/A)	無料招待免除 G (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C	一 般 (/D)	高大生 (/D)	小中生 (/D)	計 D	一 般 (/E)	高大生 (/E)	計 E		
コレクション・ギャラリー		4月16日 ～ 3月23日 (257日)	22,992人 (89人)	515人 (95%)	25人 (5%)		540人	342人 (79%)	93人 (21%)		435人					3,697人 (96%)	166人 (4%)	3,863人	4,838人 (21%)	18,154人 (79%)
特 別 展	篠山紀信展	4月16日 ～ 6月26日 (62日)	25,870人 (417人)	8,680人 (99%)	112人 (1%)		8,792人	4,690人 (99%)	42人 (1%)		4,732人	3,133人 (99%)	42人 (1%)		3,175人	1,677人 (98%)	36人 (2%)	1,713人	18,412人 (71%)	7,458人 (29%)
	歌麿とその時代	7月6日 ～ 8月21日 (41日)	5,878人 (143人)	742人 (90%)	27人 (3%)	52人 (6%)	821人	378人 (71%)	6人 (1%)	150人 (28%)	534人	687人 (93%)	33人 (4%)	21人 (3%)	741人	548人 (94%)	33人 (6%)	581人	2,677人 (46%)	3,201人 (54%)
	帯広美術館物語	9月1日 ～ 10月13日 (37日)	3,111人 (84人)	180人 (95%)	9人 (5%)		189人	105人 (95%)	5人 (5%)		110人	174人 (95%)	10人 (5%)		184人	440人 (94%)	28人 (6%)	468人	951人 (31%)	2,160人 (69%)
	国立美術館・ 煌めく名作たち	10月22日 ～ 11月27日 (33日)	4,757人 (144人)	628人 (98%)	11人 (2%)	1人 (0%)	640人	927人 (83%)	57人 (5%)	139人 (12%)	1,123人	688人 (99%)	6人 (1%)	0人 (0%)	694人	427人 (96%)	16人 (4%)	443人	2,900人 (61%)	1,857人 (39%)
	グラフィック・ デザインの100年	12月10日 ～ 3月23日 (84日)	2,960人 (35人)	410人 (94%)	28人 (6%)		438人	80人 (87%)	12人 (13%)		92人	377人 (93%)	29人 (7%)		406人	605人 (92%)	53人 (8%)	658人	1,594人 (54%)	1,366人 (46%)
	計	5回 (257日)	42,576人 (824人)	10,640人 (98%)	187人 (2%)	53人 (0%)	10,880人	6,180人 (94%)	122人 (2%)	289人 (4%)	6,591人	5,059人 (97%)	120人 (2%)	21人 (1%)	5,200人	3,697人 (96%)	166人 (4%)	3,863人	26,534人 (62%)	16,042人 (38%)
合 計			65,568人 (914人)	11,155人 (98%)	212人 (2%)	53人 (0%)	11,420人	6,522人 (93%)	215人 (3%)	289人 (4%)	7,026人	5,059人 (97%)	120人 (2%)	21人 (1%)	5,200人	7,394人 (96%)	332人 (4%)	7,726人	31,372人 (48%)	34,196人 (52%)

平成27年－28年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成30年2月27日

発行者 北海道立帯広美術館

〒080-0846

帯広市緑ヶ丘2番地

Tel. (0155)22-6963

印刷所 中西印刷株式会社

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 2018

